DENKO

経大人のための情報誌
澱江
2014年
49号

特集

大樟会総会開催、D館竣工式典開催

徳永光俊学長、２期目の抱負
「大阪経済大学の広報戦略」を聞く　他

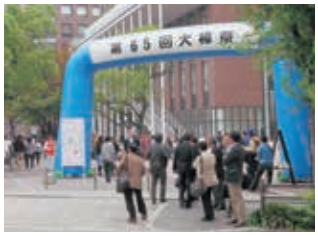
大阪経済大学大樟会

誇らしい歴史を90周年、100周年へ

平成25年度 大樟会総会 ホームカミングデー が盛大に開催

学生の祭典「大樟祭」が開催されている中、平成25年11月3日(日)午前11時より大樟会総会・ホームカミングデーが開催された。総会は、2013年9月に完成したばかりのD館を会場とし、北は北海道、南は鹿児島から約230名の同窓生らが参加。オープニングセレモニーに続いて感謝状の贈呈、記念講演会が行われた。午後はD館8階の80周年記念ホールで交流レセプションが行われ、1年ぶりに会った旧友との歓談が盛り上がるなど、和やかなひと時となった。

受付風景


当日は、大樟祭も開催

学歌斉唱(グリークラブ)

司会(小林真人常務理事)

会場風景

ごあいさつ(佐藤武司会長)

式辞(勝田泰久理事長)

式辞(徳永光俊学長)

CONTENTS

2 大樟会総会
6 D館竣工
8 創立80周年記念事業募金
10 徳永学長に聞く
12 大学広報活動
14 大学入試の現状
16 大学就職状況
18 飛躍するクラブ
20 体育会OBかわら版
21 摂津グラウンドに新クラブハウスを建設
22 パソコン教室
23 惜別 泉谷勝美先生
28 支部だより
42 OB・OGネットワーク
50 お世話になった先生からの元気なお便り
52 ゼミ短信
54 本部だより
57 大樟会支部長・各種部会会長一覧
58 ズームアップ経大人

前泉南支部長(代理=左)への感謝状贈呈

記念講演会風景

旧友との絆を深め、「来年も会おう」

記念講演、ホットなテーマを熱心に傾聴

総会は、午前11時に小林真人常務理事の司会で始まり、グリークラブの学歌斉唱に続いて、大樟会を代表して佐藤武司会長があいさつに立った。

佐藤会長は、80周年を記念して大学へ寄贈したモニュメントに込めた思いを紹介し、「80年の歴史と伝統は、同窓会としても誇らしい歴史」と称賛。図書館に掲げられた寄付者の氏名について、「卒業生や企業名を見ることで、大経大に行きたいと思ってもらえれば」と述べた。また、90周年、100周年を見据え、「少子化の中、皆様方のご支援ご協力をいただきながら大学とスクラムを組み、学生を増やしてさらに良い大学になるよう支援していきたい」と述べたほか、E館の同窓会事務局について「改修が決定しており、ホッと寛げる同窓会室にしたい」とし、今後さらに同窓会を盛り上げていきたいと意欲を示した。

続いて勝田泰久理事長は、80周年記念事業での寄付と募金に対する謝辞のあと、「募金で集まった2億6,000万円の一部は、学生の留学のための基金として有効に活用したい」とし、今後について「少子化により私立大学の運営はますます厳しくなる中、教職員の熱意と学生の元気、そして卒業生の活躍があってこそ大経大が発展していくと確信している。これは浪華高商、昭和高商、そして大経大と続いた81年の歴史をふまえ、次のステップに歩んでいきたい」と述べた。

引き続き、徳永光俊学長は「ZEMI-1グランプリや就活フレンドリーディスカッションを見て、大学も学生もどんどん変わってきているのをひしひしと感じる。大学と企業が一緒になって若者を育てることが大事で、この方向は間違っていない」としたうえで、「これからも一年一年積み重ね、2032年には経済、経営の私立大学としてナンバー1になるため、大学改革の王道を歩んでいく」と力強く宣言、さらなる支援と協力を呼びかけた。

このあと、永年にわたり泉南支部長として支部活動や同窓会の発展に尽力され、このたび退任された車野修三氏に、佐藤会長から感謝状が贈られた。

恒例の記念講演会は、「非関税障壁としての消費税～米公文書に見る消費税論議～」をテーマに、経済評論家の岩本沙弓氏(本学客員教授)が、日本の消費税について、アメリカなど海外からは非関税障壁と見られている状況とその背景について解説(別掲)。消費税率の引き上げされるホットな話題とあって、参加者は熱心に耳を傾けていた。

午後は会場をD館最上階の80周年記念ホールに移して交流レセプションがスタート。大勢の参加者の熱気に包まれる中、恒例の鏡開き、乾杯と続き、会場は和やかなひと時が流れた。各テーブルでは、思い出話やお互いの近況を語り合うOB・OGの皆さんの笑い声で盛り上がり、会場はすっかり打ち解けたムードに。またこの日は、北海道や熊本、静岡、愛知、岐阜、三重などの支部の皆さんも駆け付けたほか、各期の皆さんが同期会を開催。さらに16期以前の卒業生も参加するなど、旧交を温めた。そして、レセプションの終盤には全員で学歌、逍遥歌を大合唱。最後は万歳三唱で来年の再会を誓い合った。

パーティの司会(平田義行広報部長)

鏡割り(左から徳永学長、佐藤会長、勝田理事長)

乾杯(竹内通弘淡路島支部長・洲本市長)

和やかな会場内

学歌・逍遥歌の大合唱

万歳三唱(石橋隆夫福井支部長)

閉会の言葉
(崎田洋一本学事務局長)

大樟会総会
記念講演

『非関税障壁としての消費税
～米公文書に見る消費税論議～』

講 師／岩本沙弓先生　大阪経済大学客員教授（金融コンサルタント・経済評論家）

大樟会総会において、恒例の記念講演会行われた。テーマは「非関税障壁としての消費税～米公文書に見る消費税論議～」。講師は本学の客員教授・岩本沙弓氏で、日米などの金融機関で外国為替や短期金融市場取引を中心にトレーディング業務に従事した経験から、日本の消費税を非関税障壁と捉えるアメリカへの対応などについて分かりやすく解説していただいた。

消費税を増税しても財政再建は無理

消費税について様々な議論がありますが、海外から見た視点が欠如しているように思います。といいますのも、消費税を採用していないアメリカにすれば、日本で消費税を引き上げることは非関税障壁を高めるという見方をします。

消費税は、2014年4月に8%に、さらに2015年10月には10%に引き上げられる予定です。8%に上げてすぐに景気が低迷するわけではなく、2015年にもう一段引き上げがあるため景気的にはもつかもしれませんが、2016年以降、その反動による景気の落ち込みを私は懸念しています。

消費税を増税する必要性ついて、政府は財政の均衡を挙げています。しかし、それだけで財政再建ができないことは、過去20年の歴史が示しています。なぜなら、法人税や所得税の引き下げという合わせ技のため、消費税を上げても税収が上がらず、また景気低迷で税収が伸びないという複合的な要因もあったと思います。

米が問題視する輸出企業への還付

1949年にGHQの要請で作られた「シャウプ勧告」では間接税を引き下げ直接税の比率を高めることを勧告し、当時の経団連や財界はそれに敬意を表すると、賛成していました。しかし、現在の経団連は、消費税について欧州の20%水準を視野に入れているようで、間接税である消費税に前向きになっています。

1960年、GATT（ガット＝関税および貿易に関する一般協定）の条項に、フランスが輸出企業に還付を付けてもいいという例外規定を織り込みました。アメリカは反対しましたが、結果的にフランスの思惑通りのルールになってしまったのです。アメリカが何故これを問題にしたかというと、わかりやすくいうとこういうことです。例えばフランスで100万円の車をアメリカに輸出した場合、いまフランスは消費税が20%弱ですから100万円×消費税率20%＝20万円が還付され、20万円値引きすることができる。つまり、フランスの車をアメリカで売れば80万円なのに対し、アメリカで100万円の車をフランスで売れば120万円になります。この40万円の差は大きく、アメリカ上院の金融委員会が1970年に作成した報告書には、事の重大性をアメリカが認識し損なったことは失敗だったという記録が残っており、そのためアメリカは深刻な国際収支の悪化に陥ってしまったと指摘しています。

では、日本はどうなのか。消費税で年間約10兆円の税収があると言われていますが、本当の税収は12.5兆円で、輸出企業がアメリカに輸出すると消費税がかからず、2.5兆円が輸出企業に還付されるので、10兆円ということになります。

海外の視点を意識した対応が必要

現在、アメリカの通商代表部は毎年、貿易障壁にあたる各国の消費税の状況を記した報告書を発表しています。日本の消費税は今のところ5%と低く問題視されてはいませんが、8%、10%になれば、アメリカのプレッシャーが厳しくなると予想しています。

私が何故これほど消費税について問題だと言っているかと申しますと、1968年にフランス政府が給与税を廃止する代わりに消費税を引き上げたのに対し、アメリカは直ちに対抗すべきだと言いました。これは“報復措置”で、日本も報復対象になり得ます。

具体的にどういった報復措置があったのか。1989年に竹下内閣が消費税を導入した時に日米構造協議がスタートし、日本の構造を変えろと要望しました。また、1997年に橋本政権下で消費税が引き上げられた時も、年次改革要望書というのがスタートし、日本に構造改革が求められました。そして、2010年に菅さんが消費税は自民党案の10%を踏襲するという話をしたすぐ後に、日米経済調和対話の交渉が始まりました。

このように、とかく消費税は国内問題と見られますが、アメリカから見ると非関税障壁があるという意識があり、日本はそうした視点をもって日米交渉をしていくことが重要だと思います。

熱心に聴講する会員の皆さん

各支部・同期会の皆さん（交流レセプション会場にて・順不同）

～19期生の皆さん

23期生の皆さん

24・29期生の皆さん

26期生の皆さん

28期生の皆さん

30期生の皆さん

32期生の皆さん

34期生の皆さん

36・37・38期生の皆さん

北海道・静岡支部の皆さん

愛知・岐阜・三重支部の皆さん

京都支部の皆さん

和歌山支部の皆さん

北河内支部の皆さん

北大阪支部の皆さん

伊丹支部の皆さん

岩本沙弓先生を囲んで

豊中支部の皆さん

税理士大樟会の皆さん

大学院大樟会の皆さん

総会後別会場にて

大学院大樟会

人間科学部同窓会

24期同期会

29期生会（ひでよしにて）

30期同期会

32期生会

とりあえず34期会

スナックを借り切って北大阪支部

新講義棟（D館）は地域のランドマーク
スカイデッキが各校舎を結ぶ

創立80周年記念事業のシンボル校舎 新しい講義棟（D館）竣工！

創立80周年記念事業の集大成として、地上8階建ての新講義棟（D館）が完成し、2013年9月17日（火）に竣工式が開催された。大学および大樟会関係者、自治体関係者、工事関係者など約90人が出席し、定礎、陶板の除幕式、神事、直会（なおらい）が、厳粛かつ晴れやかに執り行われた。D館竣工で同事業のキャンパス整備は一段落し、今後、その成果が大きく開花しようとしている。

大樟会寄贈の陶板が D館エントランスを飾る

完成したD館は、2010年の学生会館・体育館、2012年の事務研究棟（J館）・図書館に次いで新設された4期棟。公道をまたぐスカイデッキ（2階）によって学生会館やJ館・E館、連絡通路でG館と接続された中核施設であり、高さも45mと学内一のシンボル的な存在だ。スカイデッキのほか、階段状の広場やカフェラウンジを設けるなど、出会いと交流を促す仕掛けが施されている。

竣工式に先立ち、午前11時からD館の定礎および大樟会寄贈による陶板の除幕式が行われ、初秋の快晴下、大きな拍手がわき起こった。陶板はD館1階のフォーラム教室の入口付近に設置。80周年記念事業のコンセプト「Jump Up! 80（飛翔）」をテーマとして、ジャンプする人のマークと「80」の文字をデザインし、母校の沿革と各年代の写真を組み込んでいる。大塚オーミ陶業（株）が手掛けた。すぐそばに、OBのアーティスト・倉貫徹さんと、同じくOBの切り絵作家・成田一徹さん（2012年没）が制作した寄贈作品も展示されている。

キャンパス整備終え、100周年に向けて飛翔

除幕式に続き、館内1階で地元・大隅神社の神職を斎主とする神事が始まった。勝田泰久理事長、徳永光俊学長をはじめ、金谷一郎東淀川区長、床田正勝大阪市議会議員、近隣各地域の町会長、設計・施工を請け負った大成建設（株）、（株）フジタの関係者など出席者一同が拝礼し、神事は厳かに、滞りなく進められた。

その後、正午過ぎに最上階の80周年記念ホールに会場を移し、直会（神事の供え物をいただく行事）が行われた。開会に際して勝田理事長は「創立80周年記念キャンパス整備事業の最後となる最も大きな工事が終わり、7年前に描いた全体計画がほぼ終了した。図書館建設などへのご寄付をいただいた大樟会の皆様ほか、多くの方々に感謝を述べたい。教職員一同『つながる力』をさらに向上させ、一層の発展を目指していく」と挨拶された。

施工者挨拶の後、陶板を寄贈した大樟会に感謝状が贈られ、佐藤武司会長が「この陶板によって、学生らが大学の歴史を認識し、誇りを持って社会に羽ばたいてもらいたい」とコメント。続いて、作品を寄贈した卒業生の倉貫徹さんと、故成田一徹さんの奥様・素子さんに感謝状が贈呈された。乾杯、歓談に続き、最後に徳永学長が「80年の歴史を大切に、100周年に向けて成長していきたい」と述べて中締めとなり、なごやかな雰囲気のなかでの閉会となった。

閉会後の内覧会では、出席者がD館内の各教室やゼミ室、南・西・東校地をつなぐスカイデッキなどを見学した。

大樟会が寄贈した陶板は、母校 80 年の歴史を伝えている

OB のアーティスト・倉貫徹さんの作品

OB の切り絵作家・故成田一徹さんの作品群

階段状のエントランスに人が集まる

カフェ・イタリコジャパン(2F)

セルフラーニング室

大小さまざまな講義室も完備された

定礎除幕式

竣工式の神事もつつがなく終了

直会での歓談風景

開会の挨拶を述べる勝田泰久理事長

勝田泰久理事長から佐藤武司大樟会会長へ
陶板寄贈への感謝状が贈られた

徳永光俊学長による中締めの挨拶

創立80周年記念事業募金にご協力ありがとうございました。

“ Jump up！80(飛翔！)”を合い言葉にスタートした記念事業募金も2013年3月末日をもちまして、終了となりました。この間、募金も着々と進み、一人ひとりの協力と支援の積み重ねが実現しました。皆さまの母校愛に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最終報告 2010年9月30日～2013年3月31日 （資料提供：創立80周年記念事業募金事務局）

90年、100年の母校の礎に活かされる

創立80周年記念募金のお礼

大阪経済大学大樟会会長
創立80周年記念事業募金委員長　佐藤　武司

わが大学は、平成24年10月に創立80周年を迎えました。「伝統」とはまさに一日一日の積み重ねで80年という歴史を刻み、今日の素晴らしい大阪経済大学に発展して参りました。

その80周年記念事業募金として皆さまにご寄付のご協力をお願い致しましたところ、多くの方々から暖かいご支援を賜り、募金総人数は3,000人を数え、総額2億6千万円の金額が集まりました。募金委員長としてありがたく厚くお礼申し上げます。

この母校愛に根ざした貴重なお金は、新図書館の建設に使わせて頂く事はもとより、その中の１億円につきましてはスポーツ・学術・芸術振興基金として活用すべく、その運用方法は現在、大学と鋭意検討中でございます。

これから、確実に少子化が進む時代に、わが大阪経済大学がさらなる発展をしていくためにも、勉学はもちろん、スポーツ・芸術・学術についても大いに活躍する事が、大学の将来に寄与するものとの思いから振興基金として活用させていただくことと致しました。

これからわが大学は90 年、100 年と歴史を重ねて参ります。将来入学してくる諸君にも、皆さま方の母校愛である「振興基金」が末永く有効に運用され、あわせて在学生諸君の一助として母校発展の礎に成らんことを信じましてお礼の言葉とさせて頂きます。誠にありがとうございました。

募金使途別集計表（2010.9.30 ～ 2013.3.31）

	新図書館		指定なし		振興基金		合計	
区分	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
役員・教職員	166	31,426,000	56	11,400,000	120	25,040,000	342	67,866,000
元役員・教職員	7	2,390,000	8	1,880,000	8	1,040,000	23	5,310,000
同窓生	757	30,216,000	503	16,320,000	317	10,944,000	1,577	57,480,000
同窓団体	31	4,827,130	56	22,937,119	33	2,831,000	120	30,595,249
同窓企業	18	3,920,000	26	16,390,000	15	5,300,000	59	25,610,000
後援会	352	4,509,500	200	2,181,000	168	2,560,500	720	9,251,000
一般企業	40	23,165,000	65	29,515,300	18	5,915,000	123	58,595,300
その他	12	168,602	17	5,638,402	5	85,700	34	5,892,704
合計	1,383	100,622,232	931	106,261,821	684	53,716,200	2,998	260,600,253

※振興基金：学生のための「学術・芸術・スポーツ振興基金の創設」
※同窓団体：同窓会支部、OB 会、同期会など
※同窓企業：同窓生が代表を務める企業
※その他：パソコン教室、地域の方（講座受講生）

「モノ」の向こうにある生活や変化を伝えたい。
より多くの人々の『快適ライフのパートナー』を目指して。

ジャパネットたかたは、通信販売の会社です。
しかし、ただのモノ売りにはなりたくないと思っています。

商品の向こうにある変化や生活を伝え、私たちがお奨めする商品がきっかけで
「生活が豊かになった」とより多くの方に感じていただけるような提案がしたい、
そんな想いで、メディアミックスと自前主義の事業方針のもと、
日々すべての工程に全力投球しています。

100年後も、世の中に必要とされる会社であるために、
皆様と少しでも多くの「感動」を共有できる会社であることを目指して。

自前主義

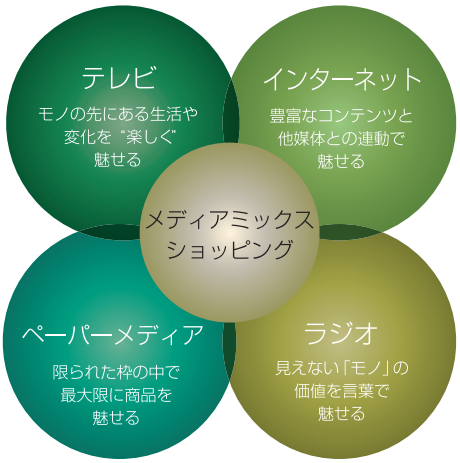
商品の仕入れからアフターフォローまで、全てに責任を持つ

商品の仕入れからアフターフォローまで、全工程において責任を持てるよう、自前主義の形式をとっています。商品の仕入れ、媒体制作、ご注文受付、発送、購入後のアフターフォローなど、社内にすべての部門を持つことにより、社員が責任と誠意を持った対応をし、各部門が連携して業務を進めます。スピードをもって業務を進め、お客様に最新情報と商品をいち早くお届します。

メディアミックス

いつでも買える、どこでも買える、快適ライフを目指して

テレビのみならず、ラジオ、インターネット、カタログ、チラシなどたくさんの入り口を用意することで、お客様の多様なライフスタイルに合った快適なショッピングをしていただけるよう、メディアミックスの形式をとっています。時代の流れをいち早く捉え、少しでも多くの皆様にとって身近な存在となることを目指しています。



ジャパネットたかた

〒857-1197　長崎県佐世保市日宇町2781
http://www.japanet.co.jp/corporate/

「大学」と「学生」の雰囲気が確実に変わってきている

再選2期目がスタート　徳永光俊学長に聞く

（聞き手＝広報部長　平田　義行）

■2期目の学長に再選されました。おめでとうございます。任期はいつまでですか

徳永学長　ありがとうございます。2016年10月末までの3年間です。

■1期目の総括として思われることは

徳永学長　創立80周年を軸に全学上げての3年間でした。この中で大きく感じたことは「大学改革の王道は徹底的に学生の目線に立つ」ということです。キャンパス整備計画の最終学舎D館の完成で、大学のイメージが質的にも変わり、まさに「最高学府にふさわしい学園」に生まれ変わりました。この動きに呼応するかのように全国大会で活躍するクラブ・サークルも増えました。昨年の学祭ではD館の1階エントランスで女子学生がファションショーをやっていました。これまででは考えられなかったことです。また4回目となる昨年の「ゼミ１グランプリ」では20ゼミ、55チームが参加、企画、進行など学生たちがすべて運営しており、30数名の企業の審査員の方からも大人しく堅実な経大生のイメージから前向きで積極的になってきたと評価されています。「ゼミの大経大」というキメ細かい教育が育ってきています。

■今の経大生を企業人にじかに見てもらうチャンスですね。

徳永学長　これからは大学と企業がつながりながら「若者」を育てていく。これが少子化時代に大切です。進路支援センターが「第1回就活フレンドリーディスカション」を昨秋行いました。昨年3月の卒業生から、社会人３～４年になる約30名の卒業生と在校生74名が一堂に集まり「就活」についてディスカッションを熱心にやりました。働いている先輩たちの経験談だけに、リアルで迫力がありましたという学生の感想です。このように在校生と卒業生の若い世代がつながってきていることで、学生の視点が確実に変化していることを実感しました。

「ゼミの大経大」をさらに強化

■2期目のスタート、目標と課題を聞かせてください

徳永学長　４点あります。１番目は教育の質的向上です。2015年には茨木市に立命館大学が経営学部、政策学部を開校します。さらに吹田市に大和大学が進出、競争が始まります。これに打ち勝つには教育力を強化することで、「ゼミの大経大」の特色を生かしたキメの細かい教育が必要です。2番目はグローバルな学生の育成です。英語、中国語など語学教育を強め国際感覚をもった学生を卒業させます。3つ目は大阪市内にある４年制大学ですから、地域の拠点としての基盤を整備し都市型複合大学という特徴を生かした社会貢献事業を進めます。最後は2016年に大学基準協会の評価を受けますので、内部質保証システムの確立を急ぎます。これにより内部機能を充実させ、学内外から高い信用と評価を得ます。

100周年は必ず来る

■2032年には経済・経営系の私立大学で全国№１になると呼びかけられました

徳永学長　それは無茶や、という人もいますが「№１になる」と誰かが言わないと何もできませんし、何も生まれません。今から約15年前、アメフトの旧松下電工のパナソニックインパルスで日本一になった時の主将が本学卒業生の白岩さんです。白岩さんが現役チームを励ましに大学に来られました。「大経大は今は3部で弱いが、一人一人が日本代表を目指してやらないと、チームは絶対に強くはならない。いつも試合のフォーメーションを頭に描き、スキルアップすることが大事だ」。部員たちは感動したそうです。

2013年「ゼミ1グランプリ」の企画、進行はすべて学生たちが運営した

■今のお話からすべての教職員に望まれることは

徳永学長　繰り返すことになりますが

一つ目は、常に学生目線に立つ

二つ目は、100周年の展望をもつ

教職員一人一人が今申し上げた目標を目指す姿勢と覚悟で、学生の教育、指導に当たって欲しい。2032年には創立100周年が確実にくるという長期的視野をもち、一年一年積み上げていけば「経済・経営系の私立大学として№１」は決して夢ではありません。もう一度、大経大の教職員となった日の「初心に帰ろう」ではありませんか。本学の建学者黒正巌初代学長の孫弟子として、「道理は天地を貫く」の教えを継承さらに実践し、私はこの大学に骨を埋める覚悟でこの3年間、学長としての仕事に全力で当たります。

■ありがとうございました。ご活躍を期待しています。

〈座談会〉　大阪経済大学の広報戦略

大学のイメージアップは広報が貢献

学内コミュニケーションができるかどうかがカギ

大学の知名度を上げ競争に打ち勝つには、広い意味での戦略としての「大学広報」が極めて重要になってきている。一方、全国に点在する同窓生からは、大学からの情報発信を期待するものの、知る機会が少ないという声も多い。ピンからキリまで大学情報が渦巻く今日、大阪経済大学の広報の現状と取り組みを広報委員長、広報課長、入試課長に聞いてみた。

（聞き手＝広報部長　平田　義行）

ご出席者

広報委員長　草薙　信照氏（情報社会学部教授）
広 報 課 長　河村　衣子氏
入 試 課 長　前田　貴史氏

メディアへの掲載が重要

― 今の広報体制からお聞かせください

草薙委員長　大学全般の広報を担う「大学広報」と「学内広報」、それに受験生、保護者、高等学校、企業・団体等を対象とする「特定目的広報」の3つに分けています。この3つはその目的とターゲットが違いますから、広報内容や利用媒体をそれぞれの目的に合わせ最適化せねばなりません。そのため受験者、保護者、高等学校を対象として入試部が担当する「入試広報」として位置づけ、それ以外のすべてを総務部広報課が「大学広報」として幅広く担当しています。しかし内容が重なるケースが多々あり、大学案内冊子やwebサイトの制作、看板の掲出など企画段階から緊密な協力体制をとっています。

― 大学広報の戦略なり最近の方針といいますと

河村課長　06年度に「ブランディグ・プロジェクト」をスタートした頃から、大学全体の広報戦略が検討されだしました。08年に新しいシンボルマーク、ロゴタイプとともにネコのキャラクター、現在の「はてにゃん。」が登場し、今では定着しています。ここ5～6年の広報媒体は新聞、雑誌、テレビ・ラジオ、大学webサイトです。本学の「地味ながら真面目」というイメージから「都市型の大学」「親しみやすい大学」へのイメージ転換という点で、ロゴマークやキャラクターは大いに貢献していると思っています。また12年度には大学本来の力である「教育力」「研究力」を訴求する一方、パブリシティへの積極的なリリース（ニュース提供）を始めました。

― プレスリリースによってメディアへの掲載は増えましたか

河村課長　従来型の広告掲載を大幅に削減したにもかかわらず、ニュース掲載は、11年度では新聞18件、雑誌11件でしたが、12年度では新聞113件、雑誌34件、Web23件、テレビ・ラジオ8件へと増えました。この手法は今後も続けていく方針です。

■ロゴマーク　　シンボルマーク

つながる力。
大阪経済大学
OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

■広報キャラクター「はてにゃん。」

受験生や高校へ直接訴える

― 一方、入試広報についてどういう取り組みを

前田課長　入試広報の対象は高校生、高校教員と保護者の3点に絞られます。したがって、直接訴えかける機会を優先した広報を心がけているため、高校生の意識や高校教員、予備校、塾などから意見をよく聞いた上で戦略を立てています。広報エリアについては、効果的に認知度

を上げることを狙い、受験生獲得の可能性が高いエリアに絞って、京阪神、中国、四国、北陸方面を中心に行っています。

— 同窓生からは新聞広告で「大経大」の名前を最近は見たことがない、とよく聞きます

草薙委員長　私たちは早くから、高校生は新聞や雑誌などから大学情報を得ることがほとんどないことを知り、ここ数年は受験生募集の連合広告には載せていません。事実、載せたとしてもその中で目立たせることは非常に難しい。大阪の大学へ行こうか、となっても「関関同立」しか知らない。「大阪経済大学」という名前がなかなか出てこない、という印象ですね。また大阪には「大阪○○大学」という名前がつく大学が多いため勘違いをされることも多いのが現実です。

前田課長　地方のローカル鉄道には受験生が通学に利用しているため受験期など限定的にポスターなどで告知することがあります。

— なるほど、地方の同窓生からはたまに見たという報告もあります。入試広報の媒体としては

前田課長　力を入れているのが受験生が直接手に取るような受験雑誌への広告で入試予算の半分、次いでインターネットの19%、新聞は3年前の9.3%から1.5%に減っています。高校生からは直接入試サイトへのアクセスが多くなってきておりwebシフトがこれからも続くことになるでしょう。

入試広報は高校現場の意見から

— ほかに力を入れられているのは

前田課長　高校・予備校訪問で進路指導の先生方を訪問し、本学の特徴や入試情報の提供をしていることです。入試部員13人で1人20校以上の高校に予備校、塾を訪問し、年間で約250 ~ 300校を回ります。同窓生の中には「出身校に声をかけようか」とおっしゃる方もおられますが、高校の先生はどうしたら「大経大」に合格するのか、またどのような対策が必要かを真剣に聞いてこられるので入試部員でないと対応は難しいと思います。

— オープンキャンパスはよく人が集まっていると聞きます。

前田課長　今年は1回で約1600人超が来ました。3回行いましたので約5000人、これまでの最高です。広報の手段としては案内ポスターを高校の校内に貼っていただいています。

草薙委員長　オープンキャンパスのこれまでのやり方は決して間違ってはいません。他大学と日程が重なる時もありますが「流れ」がありますので現状がいいと思います。受験業界や高校の先生方からは大経大の入試はきっちりやっているという評価をいただいております。

—入試広報の手ごたえは

前田課長　広報の効果は単純に計れるものではなく、本学の取り組みや教育方針等を理解していただいたり、あらゆることの積み重ねであると考えています。

— 大学広報は大学の勢いそのものを表します。それだけに同じ方向を向くという学内のコミュニケーションが大切です

草薙委員長　教職員に対し積極的に情報を提供し学内コミュニケーションを活性化することで、大学広報の役割を認識していただき情報収集に協力していただける体制が必要です。先生方には“営業”としての広報ではなく、主にそれぞれの研究分野や教育内容を広報する役割をお願いしたいと思っています。

河村課長　社会に広く本学を知ってもらうための広報へ変化しつつあることが結果的に過去の大経大のイメージを少しずつ変えているのかもしれません。

前田課長　本学のような大学は規模の大きさよりも個性のある強い大学である方がいい。時代のニーズを知りながら高校生は「大経大」に何を求めているかを捉えながら、入試広報の役割を果たしていきたいと考えています。

—ありがとうございました。

左から草薙広報委員長、河村広報課長、前田入試課長

〝実直で堅実な大学〟として地元で評価
～勝ち残る大学を目指して～

入学試験の現状について

入試部部長　斉藤裕士さん

みなさんは大学を受験されて何年になりますか？どのような試験を受験されましたか？

大学入試は、1990年代後半から各大学が趣向を凝らし、年々仕組みが変化しています。常識が非常識に、非常識が常識に。受験から年数がたてばたつほど、こうした感覚に捉われると思います。

最近、国の大学入試改革についての報道が新聞紙面を賑わわせています。大学の入試は今どうなっているのかご紹介したいと思います。

大学の置かれた状況

「少子化」とよく耳にしますが、現状はどうなのでしょう。1992年の18才人口は205万人。2014年は118万人。この20年で40％も減少しています。その一方、大学の数は1992年が523校、2012年が783校と1.5倍に増えています。1978年には433校でしたので、35年で２倍近くに増えたことになります。大学進学率が上昇したとはいえ、受験生を大学間で奪い合う状態にあることがお分かり頂けるでしょう。

こうした状況から、一つの大学の推薦入試、一般入試を複数回受験できるような制度を各大学が導入するようになりました。

受験生の変化

世の中の変化に伴って世代間の価値観の違いが昔以上に広がっているように感じます。私の世代では、大学受験にかこつけて「いかにして家から抜け出るか」ばかりを考えていましたが、今は全く逆です。「どうやって家に残るか」を考えている受験生が大半です。心配で目の届く範囲に子を置きたい親と、ご飯、掃除、洗濯など自分でしなくても済む上、親は友達感覚の子。こうした親子間の変化から、通学できる範囲の大学を選ぶことが主流になりました。また、経済状況により、お家に一人暮らしをさせる余裕がなくなったことも言えると思います。よほど意中の大学があるか、通学範囲に大学がない限り、一人暮らしをして大学に通うことがなくなりました。これは全国的な流れで、私立大学では、関西に限らず、関東の超難関大学でも「ローカル化」が進んでいます。

また、少子化、ゆとり教育の影響で競争する機会が減ったことで、不合格を極端に恐れ、確実に合格できる大学を探す志向も強まっています。

受験産業はこうした志向を「安・近・無難」(学費が安い、近い、無難に合格)と呼んでいます。

では、大阪経済大学は？　入試の目的、あり方

第一の目的は入学者を確保することです。しかし、ただ人数を確保するだけではなく、質を求めなければなりません。と、なると多くの志願者を集め、その上位層を確保する必要があります。よって志願者数の多い大学＝いい大学というイメージが出来上がっているのです。

質のいい受験生＝学力の高い受験生、やる気のある受験生となりますが、やる気を測ることは一気にできません。そのため、学力試験を重視することとなります。学力試験に立ち向かうことは、社会人となって必要になる「工夫、努力、挫折、達成」といったことを経験するいい機会であると考えています。

本学では、「①志願者の質・量の確保、②透明・公正な入試制度、③受験生に分かりやすい入試制度であること」を意識して入試制度を組み立てています。

マーケットと広報

前述のとおり、受験生の大半は近畿の通学できる範囲に住む高校生です。一人暮らしが減ったとはいえ、近畿、中四国、北陸を中心に受験、入学があります。これらの地域の学力層が上～中位の高校生が、本学の主なマーケットです。

彼らに本学を認知してもらうために広報・渉外活動を

行っています。当然、ターゲットは高校生ですので、本学ホームページ、高校内での説明会、教室に配置される受験雑誌への広告掲載を中心に展開しています。特にホームページでは、大学の今をリアルタイムにお伝えするコンテンツを充実させています。中でも学生が普段の生活を書き込んでいる「つながるブログ」が好評です。

志願者状況

2000年度前後に総志願者数10,000名を割り込み、先行きを不安視する声が聞かれましたが、ダウンサイジングしながら学部・学科数を増やし、また入試制度改革の効果もあって2002年度入試以降志願者数を着実に回復させてきました。１万人台前半で推移してきた志願者数も、2007年度以降は15,000名前後で推移しています。

2013年度入試では、この15年間で最高となる16,451名の志願がありました。2014年度入試においても、11月に実施した公募推薦までは前年と同程度の志願者数で推移しています。過去10年の状況は下の表、グラフをご覧ください。

ポジションと評価

一般入試の志願者数は、日本の私立大学約600校の中で55位前後です。規模の小さい大学、受験難易度で中レベルと思われがちですが、総合大学を除けば、手前味噌ですがかなり立派な水準と言えます。受験産業から成功事例として紹介され、他大学からヒアリングを受けることも多々あります。

本学は、教育現場、保護者、社会人などの口コミに支えられていることが、入学者へのアンケート調査などから分かっています。派手ではなくても、実直で堅実な大学として評価されています。こうした世評に加え、大阪市内に立地、地下鉄の開通、校舎の更新など、受験生の志向にあった環境が、少子化の今にあっても好調を維持できている原因だと考えています。

今後に向けて

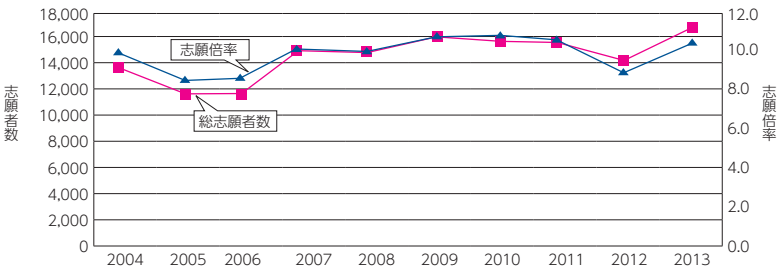
本学周辺では大学の新設、郊外から都心・近隣への移転、また競合学部の新設など、他大学のプロジェクトが進められています。今のところ一定の水準を保っているからといって、安閑としてはいられません。また、現在、政府の教育再生会議から中央教育審議会に議論が移されている大学入試制度改革は、これまでの大学入試を根本的に変えることになるかもしれません。こうした環境変化に対応すべく、情報収集、検討をしっかり行いたいと考えています。

伝統、立地、施設に加え、教育の充実に向けた取り組みの成果がさらに表れてくれば、一層の飛躍が期待できると思います。学生募集の成否は、募集戦略、入試制度によると思われがちですが、あくまでも大学トータルの評価です。大学間競争の「勝ち残り組」となることができるよう、しっかりサポートしてきたいと思います。

志願状況の推移（過去10年）

年度	募集人数	総志願者数	志願倍率	昼間部		夜間部		
				学部数	学科数	学部数	学科数	
2004	1,425	13,583	9.5	4	6	2	2	経営学部ビジネス法学科新設
2005	1,425	11,711	8.2	4	7	2	2	経営情報学部改組（ビジネス情報学科・ファイナンス学科開設）
2006	1,425	11,763	8.3	4	7	2	2	経済学部で昼夜開講制を実施
2007	1,490	14,793	9.9	4	7	2	2	経営学部第１部定員増
2008	1,490	14,607	9.8	4	7	2	2	
2009	1,490	16,046	10.8	4	7	2	2	経済学部昼間部で学部一括募集を実施
2010	1,480	15,930	10.8	4	7	1	1	経済学部夜間部募集停止（昼間部に組み入れ）
2011	1,480	15,759	10.6	4	7	1	1	
2012	1,565	13,888	8.9	4	6	1	1	情報社会学部新設　経営学部第１部経営学科定員増
2013	1,565	16,451	10.5	4	6	1	1	

志願者数と志願倍率の推移



オープンキャンパスで説明を熱心に聞く受験生

学内での就職説明会が最大の武器に

大卒の就職環境と本学の就職状況・支援のとりくみ

進路支援部部長　黒正洋史さん

求人倍率は、依然として厳しい

文部科学省の学校基本調査によると、2012年度(2013年3月卒業)の大卒者の就職率は67.3％と発表がありました。大卒者の就職率は2010年度を底として、ゆるやかな上昇に転じましたが、依然として楽観できる状況ではありません。私が就職活動を行っていた1990年(1991年卒)はバブルの全盛期で、学生一人当たりの大卒求人数をあらわす「大卒求人倍率」も2.86倍と最高倍率でしたが、昨今では、リーマンショック前でも2.14倍、2014年卒の求人倍率は雇用状況が良くなったとはいえ、1.28倍と依然として厳しい状況です。バブルが崩壊してから大学への進学率は高くなり、24.6％（1990年)から50.8％（2012年)と増えており、学生の親世代である年代と比べて学生数が増加していることに加え、景気の影響による求人数の減少により、大卒の就職環境は厳しさが増しています。

「就活サイト」が大きく変化

また、インターネットの普及などにより、インターネットでの会社説明会の申し込み(エントリー)に変化した結果、企業の採用プロセスは大きな変化が起きています。いわゆるリクナビ、マイナビに代表される「就活サイト」ができたことで、人気企業へ大量の学生がエントリーをしています。企業はコストをかけずに合理的に選考するので、エントリーシート(自己ＰＲや志望理由などを記入)による書類審査やＳＰＩと呼ばれる筆記試験(言語、非言語、適正検査)があり、面接に至るまでに過酷な予選となっているのが現状です。

ここへきて役割の大きい進路支援部

企業は早期に優秀な学生を確保したいという観点から、採用活動の早期化や厳選採用となっている事から、学生に就活を乗り越える力をつける事やメンタル面のサポート体制の充実など、進路支援部では多面的なサポートに取り組んでおり、就職活動に対する進路支援部の役割は大きくなっています。このような状況をうけ、進路支援部就職課において、学生相談員として金融機関出身のアドバイザーや臨床心理士を配置したり、学生への就職活動への早期意識づけとして様々なガイダンスを新規に開設したり、毎年、これまでにないサポートを打ち出してきました。特に4年生になってからの就職活動を3年生の春学期に疑似体験することができる「ヴァーチャルリクルート」や、3年生の夏休みに実施している「合宿型セミナー」では、大手企業の採用担当者や人材開発担当者を講師として招聘し、就職活動を早期に体験することや、また新入社員研修を受講することで社会人意識を持たせ、就活において自分に足らないものを気付けるような取り組みなど、講義形式から体験・実習型に変更したことで、意欲的な就職活動につながり、学生の課題発見力にもいい影響が出ています。

卒業生と在校生が就活で交流会

さらに、若手社員として活躍中のＯＢ・ＯＧ36名と在学生80名との交流会を学園祭に合せて行いました。先輩が所属する会社の概要や仕事内容を聞いて、イキイキとして働いている姿を見る事で、学生たちは業界に対する理解と働くことの意欲を高めることができたと思っています。進路支援部ではゼミナールと連携し、先生方の協力のもと、

インターンシップ(企業実習)をはじめ、学生に様々な体験や知識など、就職活動の準備をしっかりとしたうえで、本番の採用選考に挑めるよう、就職支援の強化に取り組んでいます。

早くから学内で企業説明会

就職活動のスケジュールは、経団連「採用選考に関する企業の倫理憲章」により、3年生の12月から会社説明会などが解禁、4年生の4月から選考開始(2016年卒から変更になります)となっておりますが、3年生の2月頃から選考している会社も多く、4月中下旬には大手企業中心に内々定という形で学生に通知され、その後、中堅・中小企業の採用活動が活発化してきます。

本学でも3年生の2月より第1回学内合同企業説明会を開始し、学生と企業とが出合う機会の提供や大学に寄せられる求人を増やすことにも注力してきました。企業はリクナビなど就職情報サイトへの広報を強化する事で、大学への求人票等のやりとりを縮小するなか、本学では学内で会社説明会を実施していただける企業が増えました。有難いことに、卒業生が社長や役員をされている会社からの積極的な採用や、採用担当者として母校で力の入る説明会を実施してくれる卒業生。また、「大阪経済大学の学生を採用して良かった」という声も多く、力強い卒業生の応援があり、そのような企業も含め825社(2012年度)の方々に学内で会社説明会を実施していただき、多くの学生へのマッチング機会への提供となりました。

しかし、残念ながら在学中に就職先が決まらなかった卒業生についても、在学中同様の就職支援を続け、昨春より卒業生のための就職支援サイト(求人サイト)や就職相談を学外でも受けられる体制が整い、卒業生支援にも力を入れています。

「就職に強い大経大」の復活へ

昨今の厳しい経済環境と大学進学率が上昇するなか、キャリア教育の必要性は受験生の保護者や企業社会から求められています。本学のキャリア教育の取り組みは、1998年度より他大学に先駆けて、学生が大学在学中に実際の企業で就業体験ができる「インターンシップ」に取り組み、2004年度から「キャリアデザイン」という授業科目を開講し、学科の科目の専門性を深めることをメインにしながら、社会が求めるコミュニケーション能力が高まるような双方向授業も取り入れ、1年生より段階的に学べるよう就業力育成に取り組んでいます。今後も「就職に強い大経大」を目指し、同窓生の方々のご協力のもと、世の中で活躍し貢献する多彩な職業人の育成に取り組んで行きます。

就活にキメ細かい指導や相談にのる

5 年間の就職状況

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
大卒・求人倍率	2.14	1.62	1.28	1.23	1.27
学校基本調査（文科省）・就職率	76.2%	68.5%	68.5%	63.9%	67.3%
本学・就職率Ａ	90.7%	81.6%	80.4%	80.5%	85.1%
本学・就職率Ｂ	79.6%	66.6%	66.6%	67.9%	75.6%

※学校基本調査（文科省）・就職率：全卒業者数のうち就職者総数の占める比率
※本学・就職率Ａ（就職者÷希望者）　本学・就職率Ｂ（就職者÷（卒業者－大学院進学））

飛躍するクラブ

ソチ五輪出場、惜敗

2014年冬季オリンピック“ロシア・ソチ”に有力候補だった上村大輔選手（アイススケート部OB・大阪経済大学職員）

スピードスケート・ショートトラックのロシア・ソチ五輪日本代表最終選考競技会が、2013年12月13,14,15日の3日間、大阪市の大阪プールアイススケート場で行われた。最終日の男子500メートル決勝戦で上村大輔選手（大経大氷友会）は、42秒609で1位と健闘したが、2位の坂下里士選手（トヨタ自動車）が、種目別ポイントで上位を占め、惜しくも五輪出場を逸した。

大会初日から徳永光俊学長はじめ大学関係者、アイススケート部OBなど多数が、会場となった大阪プールに駆け付け「大阪経済大学」ののぼりを振っての声援を送った。

代表選考レースは過酷なもので、1日目から500メートル、1,000メートル、1,500メートルの予選、準々決勝、準決勝、決勝と勝ち抜かなければならない。強靭な体力と俊敏さと緻密な判断力、それに加えてファイティングスピリットが要求される。まさに氷上の格闘技といえるスポーツだ。

これを戦い抜いた上村大輔選手の成績は、500メートル、1回目・3位、2回目・優勝、1000メートル、1回目・準々決勝で敗退、2回目・3位、1500メートル、1回目・3位、2回目・5位と、堂々たるものであったが、このポイントと2013年9月に行われた距離別選手権大会のポイントと合算して、今回のオリンピック出場選手男子3名が選考された。

総合3位に入るも補欠ということで、ソチ・オリンピックの日本代表には選出されませんでしたが、「2014年世界ショートトラック選手権大会」への出場が決定した。上村大輔選手の世界への道は閉ざされたわけではなく、五輪出場で果たせなかった悔しさをこの世界大会にぶっつけ、大輪の花を咲かせてもらいたいものだ。

500メートル決勝で優勝した上村選手

カナダ・モントリオールで開催の「世界ショートトラックスピードスケート選手権大会」へ向けて

上村 大輔 選手（談）

3日間の大会では、いつも中日が悪いのですが、今回もそれにはまってしまいました。初日はトップを狙いましたが、接触されてしまいました。しかし最終日は100点満点の出来です。とくに500メートルは快心のレース、全日本で初優勝でき、自信となりました。最後の1000メートルは、少し焦り過ぎました。とにかく3日間走ることができ満足しています。オリンピック出場は出来ませんでしたが、3月14日から16日までカナダのモントリオールで開催される「世界ショートトラックスピードスケート選手権大会」に派遣されますので、最後の国際大会、悔いのないよう頑張ります。今回、地元開催でお世話いただいた母校のOBや現役部員の皆さんに深く感謝申し上げます。

男子・総合ポイント（上位5位）

順位	氏名	所属	総合ポイント
1	高御堂雄三	（トヨタ自動車）	7030点
2	坂爪　亮介	（タカショー）	6051点
3	上村　大輔	（大経大氷友会）	5634点
4	坂下　里士	（トヨタ自動車）	4687点
5	小黒　義明	（神奈川大）	4250点

上村大輔選手をスタンドから応援

最終1500メートルで激走する選手たち

500メートルでトップを滑走する上村大輔選手

陸上競技部

全日本大学駅伝で17位、関西学生駅伝で関西3強に

名古屋市の熱田神宮から三重県伊勢市の伊勢神宮まで8区間106,8キロで競う、第45回全日本大学駅伝対校選手権に、前年に引き続いて出場した陸上競技部は、総合で17位、5時間38分59秒という結果でした。関東地区とのレベルの差を痛感し、関西地区からの出場4校中、4番目という結果に選手一同納得のいく結果ではありませんでした。その悔しさをバネに、その後行われた関西学生駅伝で、京産大、立命大に次ぐ3位になり、関西3強に割って入る健闘ぶりを発揮しました。2014年度は全日本だけでなく出雲駅伝出場、関西駅伝優勝を目標にします。

関西学生駅伝で激走する本学陸上競技部の選手

ソフトボール部

初の全国大会出場

2013年9月7日から9日までの3日間、大阪市の舞洲運動公園において第48回全日本大学ソフトボール選手権大会が開催された。この全国大会出場は、本学ソフトボール部にとって勿論初めての快挙であり、全国32チームの中で、唯一の初出場校であった。結果は初戦で九州産業大学に6対9で残念ながら敗れてしまったが、大経大ソフトボール部の歴史に新たな1ページを刻むことができた。今後の活躍に期待される。

全国大会出場を決めて喜ぶソフトボール部の選手たち

ゴルフ部

十数年ぶりに2部に返り咲き

2013年8月20日21日の両日、滋賀県の日野ゴルフ倶楽部において関西学生男子秋季2,3部学校対抗戦が開催された。戦績は参加14校の中で5位となり、3部から2部への昇格を決めた。昇格は十数年ぶりということで、4回生を中心に昇格を目指して練習に取り組んできた成果が実ったものと喜んでいる。2014年度は。主力の4回生がいなくなることでもあり、2部存続を目標に練習に取り組みたいとしている。

2部存続を目指して練習に取り組むゴルフ部の選手たち

サッカー部

1部昇格をめざす

2013年度関西学生サッカーリーグは、前期4月7日～7月30日、後期9月22日～11月27日の２つの長い期間を通じて行ってきた。

昨年は、２部リーグ５位という結果に終わってしまい、その悔しさをバネにして挑んだ前期リーグは、２位という好成績で通過し、後期リーグは優勝し、１部昇格を目標に勝ちにこだわった。

その結果、最終戦の大阪教育大に勝てば１部昇格、引き分けでも入れ替え戦出場という中、前半を２対０で勝っていながら、後半３点を失って敗退、１部昇格の夢は叶えず、結局２部リーグ３位という成績でリーグ戦の幕を閉じた。

摂津グランドにそろったサッカー部員たち

体育会OBかわら版

新調のユニフォームで スーパーエイジサッカー大会に挑む

サッカー部

毎年秋に愛知県刈谷市で60歳以上の高齢者が全国から集まってサッカーを楽しむ「スーパーエイジサッカー大会in刈谷」が開催されている。前年に引き続いて、この大会に白地・赤袖の「伝統の奴」ユニフォームに、赤字で胸に大きく「大経大」と書かれた選手が躍動した。

往年のOB選手各個人別に、永久欠番の背番号と自己申告制で現役時代のニックネームを含む様々なオリジナルの選手名が書かれている。(希望があれば新規登録と同じデザインでの製作は可能)
対戦成績は初参加の24年9月、19回大会は1勝2敗、翌年の20回大会は2勝1敗だったが、勝敗もさることながら、参加各チームとの親睦・交流と大経大OBとしての[一体感と絆]をモットーにして、サッカーをエンジョイしている。

この大会参加の世話人を勤める山本修・杉原恭一両氏(共に昭和46年37回卒)は「この大会に参加するため60歳以上のOBに参加を募ると同時に現役時代憧れの「伝統の奴」のユニフォームを、もう一度作ろうと呼び掛けたところ、なんと36名の方から同意を戴き、中には不幸にしてサッカーができない身体にありながらユニフォームだけでもと申し込まれた方もおられ、そのお気持に感動しました」という。

同部はかつて関西学生サッカーリーグ1部で2度の優勝を遂げ、昭和45年の全国大学サッカー選手権では、強豪の早稲田大学を破って3位に、その年の第50回天皇杯、全日本サッカー選手権準々決勝で、当時メキシコオリンピックの銅メダリスト6人を擁する三菱重工業と対戦(0-4で敗戦)するなど輝かしい戦績を残してきた。

現在やや低迷の域を脱しきれないが、川渕三郎JFA最高顧問(元チエアマン)の先輩に当たる元日本代表選手の福田克己氏(昭和30年21回卒、天皇杯出場当時の監督)をはじめ日本リーグやJリーグにも数多くの著名なOBを輩出している。それだけに「この刈谷大会は60歳以上でないと出場できませんが、40代、50代のOB諸君も、もう一度あのユニフォームを着てピッチに立てるという思いで是非続いて欲しい」と、山本さんは後輩への思いを語る。

編集委員　森川義一

創部60周年記念誌を創刊

硬式庭球部

硬式庭球部が創部60周年を記念して記念誌を創刊した。A4版、36ページのフルカラーで、表紙には玄関前の噴水に本館を背景とする、創部当時の懐かしい写真を採用した。

戦後の荒廃からようやく立ち直り、経済を中心に急成長を遂げようとする昭和27年に創部、4年後の同31年、体育会に入会を認められ、それと同時に関西学生庭球連盟に加入した。当時の同連盟加入校は、甲南、関学などわずか15校であったが、現在それが60校にも増加したと聞いて、60年という時の流れを改めて感じさせられる。

この間、2部に3度も昇格し、1部入りを窺がった時もあったが、現在4部と5部を往復するという現状に、OBならずとも、いささか悔しい思いをさせられているが、この記念誌創刊を機に現役諸君の奮起を期待したい。

ともあれ、人生でいえば還暦を迎えたわけだ。これまで培ってきた現役とOBとの絆をより強固なものにし、未来へ向けての一里塚となるようにと考え、この記念誌の発行に踏み切ったのであり、これが新しい硬式庭球部の力強い第一歩となることを願ってやみません。

編集委員　森川義一(硬式庭球部OB)

クラブハウス外観予想イメージ

弓道場イメージ

摂津グランドに新クラブハウスを建設

創立80周年を記念して進められてきた本学の校舎改築工事もD館の竣工でほぼ終了することになるが、一方各方面から要望のあったクラブハウスの建設が平成26年2月末の完成を目指して現在摂津グランドで工事中だ。場所は、グランドのほぼ中央で、先輩諸氏には懐かしいかつて「江口寮」があった付近。

建物は、コンクリート造(一部鉄骨造) 3階建て。延べ床面積は1,680,73㎡。この建物の特徴は、3階に中核機能となる弓道場を新設したことだ。弓道部は全国大会でも常に上位入賞を果たしている大活躍のクラブの一つ。これまで市内の高校などの施設を借りて練習をしていたが、「全国規模で活躍しているクラブにふさわしい練習場を」、との関係者の悲願が実ってやっと実現したもので一度に6名が競技出来る本格的な施設。

そして、これまで第2体育館などへ分散していたクラブ部室をこの建物に集約したことだ。

建物全体では、本学のシンボルカラーである「マゼンダ」のアーチを屋上に配するなど躍動感あふれるモダンな仕上げになっており、前面には15台の駐車場と分散して自転車100台、バイク30台分のスペースも確保されている。(※台数はすべて計画段階の予定台数)

また、今回の摂津グラウンドの整備事業でもう一つ、体育授業のほかに主にサッカー・ラグビー・準硬式野球の各クラブのグランドとして利用されている南校地の人工芝を張り替える工事も行われる。

平成25年7月から続いた一連の体育施設工事も間もなく完成し、この施設を使用する各クラブの練習環境は一層充実することになる。

編集委員　小林真人

受講者さんと食事をともに、次のテーマを発見

2013年度パソコン教室を終えて

実行委員長　山口侑希（経済学部経済学科）

皆さまのご協力をいただき、2013年度パソコン教室を開催させていただくことができました。スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。

パソコン教室は学生が運営し、同窓会員並びに後援会員の皆さまにパソコンの習熟知識を提供する場です。2013年のパソコン教室のテーマは「向上」とし、受講者数の増加、パソコン教室の質の向上を目標に一年間活動して参りました。パソコン教室をもっと多くの方に知っていただくために大学側にも協力していただき、コース内容もより身近で普段の生活に活かすことができるものを取り入れました。そして今年新たな取り組みとして、パソコンスキルの習熟だけでなく、受講者の皆さまと私達学生スタッフとの学内食堂での昼食会や学内ツアーを企画致しました。受講者の方々とスタッフとの距離を縮めることで、ご意見、ご感想をお聞かせいただき、午後の講義の課題や来年へのテーマを発見することができました。至らない点も多々あったとは思いますが、このパソコン教室が皆さまにとって楽しい時間、そしてパソコンスキルの向上につながれば幸いです。来年度も多くの方々のご参加をお待ちしております。

久保社会保険労務士法人

久保社会保険労務士法人
所長　久保　太郎

プロフィール

平成25年秋の叙勲 旭日小綬章 受賞

1941年 岡山県倉敷市生まれ。

40年間人事労務の業務に携わり、企業労務コンサルタントとして70業種1000社を超す企業の労務改善、業績アップの指導に従事。

2009年2月厚生労働大臣賞受賞。

厚生労働大臣認可 労働保険事務組合関西労働保険協会 代表

関西労働保険事務組合 会長

社団法人 全国労働保険事務組合連合会 副会長

社団法人兵庫県労働保険事務組合連合会 会長

〒660-0881
兵庫県尼崎市昭和通2-7-1ホテルニューアルカイックビル1階
TEL　06-6482-6312　　FAX　06-6487-3960
MAIL　info@sr-kubo.jp　　HP　http://sr-kubo.biz/index

お気軽にお問合せ下さい。

惜別　泉谷（いずたに）　勝美（かつみ）　先生

在りし日の泉谷先生

（略歴）昭和4年5月22日大阪府堺市に誕生。大阪商科大学（現大阪市立大学）を卒業後、昭和28年4月大阪経済大学に着任。経営学部長代行、学生部長を歴任後、昭和50年6月評議員ならびに理事。昭和46年大阪市立大学商学博士、昭和56年税理士試験委員。
代表的な著書として『中世イタリア簿記史論』（1964・学位論文）、『複式簿記生成史論』（1980・日本会計研究学会太田賞）、『現代簿記精説』（1988）、『スンマへの径』（1997・日本会計史学会賞）他多数。

泉谷先生と出会ったのは大学の先生のゼミであった。不肖のゼミ生で数々の失礼、ご無礼を先生にはかけた。永く奉職させていただいた阪南大学への道も多くの方々のお陰であったが、中でも泉谷先生の尽力によること大であった。

泉谷先生にお会いに行くといつも「元気か？　N君はどうしている？ H君は？　」と言って私の同僚や私の近況を訪ねてくださっていた。平成24年12月に会いに行ったときは「……」何も先生の方からお言葉はなかった。この時、先生とお会いしたことが最後になるとは考えもしなかった。

泉谷先生が「大学に奉職することになれば、その大学(阪南大学)の学生さんを大事にして学問に励みなさい」と言われた言葉は今でも私の心の底に焼き付いて忘れられない。イタリアの簿記の史的研究からはじまる多くの著書は、先生の膨大な学問的研究業績を示すものであり、私には多くの示唆を頂いた。私が大阪経済大学で非常勤講師を、そして旧大蔵省（現、財務省）造幣局大阪本局の高等研修所、中等研修所の講師を10年間(1989~1999)勤めさせていただいたのも先生のおことばによるものであった。

過日（2013.7.）、私用で私は堺市のある農協支部へ車で行く途中、泉谷先生の自宅を道路から見た。庭や近くの畑は綺麗で良く整理されていた。しかし、自宅家屋の入り口や窓などは全て閉めきられていました。

「フェリーチェ 三国ヶ丘」へ移られてからも時々、自宅へ帰られていたが、お元気な頃の泉谷先生の姿を思い出して、せつないものを感じました。

泉谷先生の冥福をお祈りする次第です。

松岡俊三氏（32回）

私は、平成15年3月に泉谷ゼミ卒の久保田真行と申します。昨年6月上旬に恩師の訃報に接し、深い悲しみを覚えました。泉谷先生には、1年生の時から講義で、また、3年生からは先生の在職50年最後のゼミ生としてお世話になりました。

「会計は信用である」この言葉は、私が初めて簿記・会計に出会った「会計基礎論」の講義で泉谷先生がおっしゃった第一声です。大教室で意味も分からず学生の一人として聞いた言葉を昨日のことのように思い出します。

先生のこの言葉がきっかけで、簿記の勉強を始め、税理士をめざすようになり、3年生から先生のゼミでご指導を受けることとなりました。大学卒業後の進路についても親身に相談に乗ってくださり、大学院へ進学し、渡邉泉先生のご指導のもと、さらに会計の勉強を深めていくことができました。

大学を卒業してからも年に1度は堺の先生のご自宅にうかがわせていただきました。いつも先生は快く迎えてくださり、よいアドバイスをくださいました。

平成21年の冬に、先生は、奥様とともに堺の有料老人ホームに入居されました。その約1年半後、平成23年5月に先生から「紹介したい人がいる」とお電話をいただき、後日、先生もお越しいただいてお見合いをしました。先生のお墨付きなら間違いないと思い、交際7ヵ月でゴールイン。泉谷先生の紹介で結婚した夫婦は円満で男の子を授かるそうですが、私もその通り、男の子を授かり、家族で先生のもとへご挨拶にうかがいました。

簿記に出会うきっかけをいただき、大学院への進学・税理士資格の取得から家庭円満の秘訣まで、泉谷先生から多くのことを教わり、また、公私ともたいへんお世話になりました。

泉谷先生、本当にありがとうございました。心からご冥福をお祈りいたします。

久保田真行氏（69回・平成17・19年院修了）

泉谷ゼミで２年間、ご指導をいただきました。大学を卒業後、大阪経済大学に就職して間もない頃、新しい環境に不安を感じていた私に、「山より大きな猪は出ぬ。心配しすぎずに頑張れ。」とよく励ましていただきました。2011年10月、泉谷先生が本学へお越しになった際、泉谷先生と一緒に写った１枚の写真が私の宝物です。合掌

川崎 章氏（55回）

大きな声と分厚い眼鏡。「今の趣味はハウスキーピングや。」と奥様の介助を笑顔で話され、奥様を愛して止まない心優しい先生でした。ご冥福をお祈りします。

今村憲史氏（63回）

私は泉谷先生の最後のゼミ生でした。以前から興味を持っていた簿記をもっと詳しく学びたいと思い専攻しました。先生の講義はとても穏やかで、簿記はもちろん、就職活動についても多大なるご指導をいただき感謝に堪えません。泉谷先生のご功績に深甚なる敬意を表し，心からご冥福をお祈りいたします。

守永美紀氏（69回）

株式会社エーアイティー

(http://www.ait-jp.com/)

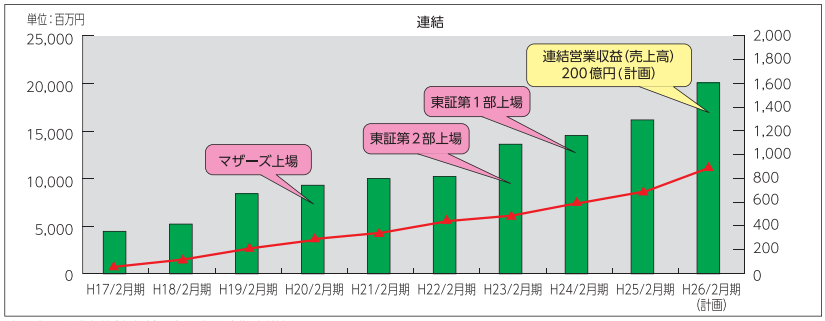
東証第一部上場
【証券コード：9381】

■ 国際物流をデザインするエーアイティー ■

特徴

・・・日中間の海上輸入貨物輸送に強い・・・
・・・国際輸送、通関、配送までの一貫輸送を提案・・・

【営業収益（売上高）、当期純利益の推移】



○大阪経済大学卒業生４名在籍（平成25年10月現在）
○平成24年・平成25年と２年連続し、大阪経済大学のインターンシップを実施
（内、外国人１名 長期のインターンシップ）

代表取締役　矢倉　英一
（昭和48年卒業）

＜本社＞
大阪市中央区本町二丁目１番６号
TEL:06-6260-3450（代表）
＜東京支社＞
東京都港区芝五丁目26番24号
TEL:03-5427-6510（代表）
○名古屋営業所　TEL:052-963-0260
○福岡営業所　TEL:092-433-7560
○成田営業所　TEL:0476-33-1090

社労士大樟会

社会保険労務士は企業の健全な発展と働く人々の幸福を目指します !!

育児介護休業法・労働者派遣法・労働契約法・高年齢者雇用安定法が改正されました。「雇用」をめぐる情勢は大きく変化しようとしています。「社労士」は雇用管理のエキスパートとしてこれらの法改正を企業の現場にソフトランディングさせる「コンサルテーションを行う実務家」です。

社労士大樟会　会長　久保　太郎（31期）
【2013年11月3日　旭日小綬章　受勲】

社労士大樟会は2008年7月に誕生した大阪経済大学同窓会の職域支部です。学術の研究、講演会の開催等会員の資質向上及び社会的貢献につながる事業と会員相互の親睦をはかる事業を行っています。社労士資格をお持ちの同窓生の皆さん！ぜひご参加ください。「つながる力」を結集しましょう。

お問合せ先：事務局長　西平　綾太（48期）
TEL 072（472）2297　FAX 072（471）7226

Iwatani

富士の湧水
バナジウムの恵み

世界遺産 富士山

ゆっくり、ゆっくり、丁寧に育まれた
自然の恵み豊かな天然水 富士の湧水

富士山が育んだ良質な原水を最新の製造設備と徹底した品質管理の下で作られる天然水。
毎日飲むものだから、飲む方のことを考えこだわりました。

冷・温両用
ウォーターサーバー
（レンタル制）

モンドセレクション2012
金賞受賞

「富士の湧水」
D-パック
12ℓ入り

「富士の湧水」
D-パック
8ℓ入り

富士の湧水（ふじのゆうすい）のお問い合わせは
フリーダイヤル 0120-552-223
受付時間／午前9:00～午後8:00（年末年始は除く）

富士の湧水 検索

指揮者 西本智実出演 テレビCM放映中

Takasho

やすらぎのある空間づくり

私たちはよりよい庭での暮らしを提案いたします。

わたしたち、タカショーグループは和歌山から日本へ、そして世界へ「ガーデニング文化創造企業」として発展しつづけています。

株式会社タカショー
本　　社：和歌山県海南市南赤坂20-1
〒642-0017 TEL.073-482-4128
東京本部：東京都千代田区三崎町3-2-14
〒101-0061 TEL.03-3238-0532
他、国内14支店・営業所　海外7支店

インターネット・ホームページ
http://takasho.co.jp
JASDAQ
（証券コード7590）

<タカショーグループ22社>
国内11社（タカショー含む）
海外11社
タカショーグループ22社が
私たちの仲間です

NC LEASE CORPOLATION

資源の有効利用と環境に配慮した事業に取り組みます

防音パネル・採光パネル

クサビ足場

橋梁足場

仮設機材レンタル　AF事業

エヌシーリース株式会社
〒550-0011
大阪府大阪市西区阿波座1丁目6番13号
カーニープレイス本町 8階
tel : 06-6578-1081　web : http://www.nclease.jp

よきものづくりに支えられた健全な社会の発展に貢献する

東京駅LED照明（当社納入事例）
照明デザイン：株式会社ライティング プランナーズ アソシエーツ

まっすぐチャレンジ ひたむきにイノベーション
KANADEN
www.kanaden.co.jp　カナデン　検索

カナデンは、情報通信・映像機器、半導体・デバイス、FA機器、ビル用電気設備機器、冷熱住設機器、工場計装等のシステムエンジニアリングなど 幅広い分野で事業を展開しております。
また、スマート社会実現のため、安全・安心をキーワードに省エネ、再生可能エネルギー、快適環境型製品を積極的に取り扱っております。

思いを守る、明日へつなぐ

当時の製本作業（昭和30年代後半）

製本の代表作　ウキリアム・ブレイク書誌（昭和4年）

市販手帳販売の足がかり
東京オリンピック公認手帳（昭和38年）

フエルアルバム（昭和43年発売）は、
より高機能の100年台紙アルバムへ進化（平成14年）

外部給電機能付きシュレッダ搭載車エコポリスバン（平成24年）

大正12年に製本業で創業しました。
昭和26年に株式会社を設立、
手帳やアルバムの製造・販売を経て
現在は、環境関連市場、介護福祉市場など
技術力を活かした事業展開を続けています。
これからもお客様のお役に立つ企業を目指し、
新たな価値を創造してまいります。

ナカバヤシ株式会社

製本から手帳・アルバムへ、そして新しい価値の創造へ

http://www.nakabayashi.co.jp/

支部だより

北海道支部

年に一度のお楽しみ

平成25年度の支部総会・懇親会は、大学より勝田泰久理事長、同窓会より田村正晴副会長にお越しいただいて、8名の支部会員と楽しい時間を共にしました。

親睦会では、最近の各大学の都心部回帰の流れの中、立地の優位性など経大の将来性について頼もしいお話を聴かせていただきました。

今回は数年ぶりに初参加の支部会員も仲間となり、次回からご出席いただけることとなりました。一方、出席を希望されながらご体調などを理由に出席を見送られた会員もおられました。

今後の検討課題ですが、ご家族の同伴など、安心してご出席いただけるような懇親会を考えていきたいと思います。　鵜飼泰正(51回)

東京支部

母校の将来に大きな期待、先輩と会える楽しい場

東京支部総会が平成25年9月12日に開催されました。今回で2回目の参加になりますが、私にとって大変有意義な時間を過ごせる場となっています。

支部総会では卒業してからあまり気にすることのなかった現在の大阪経済大学の新しい校舎や、学生についてのお話を伺うことができ、これからどんな大学になっていくのだろうと毎回期待が膨らみます。

私が関東へ引っ越してきたのは平成23年東日本大震災の直後だったのですが、しばらくは大阪に帰りたいとずっと思っていました。が、初めて支部総会へ参加してからは、こんなにたくさんの先輩方が東京でご活躍されており、年に1度ではありますが学生時代のことや、今のお仕事のこと、プライベートのことなどを懐かしい関西弁でお話しさせていただいているうちに、私も頑張らなければと元気をいただいて帰ったのを覚えています。これから大阪経済大学を卒業する学生たちにとっても先輩方との意見交換やアドバイスを受けることができるような場であり続けて欲しいと思います。　柴田優子(72回)

富山支部

新支部長に安田秀雄さんを選出

富山支部総会は、7月7日(日)富山県高岡市の割烹「千鳥」で開催いたしました。本年度は会員の皆様から要望のありました富山県西部での開催を企画しました。高岡市は市内には古い町並みや歴史ある建物が多く、市内の繁華街に店を構える「千鳥」は本校OBの中村勝治さん(38回)が経営される老舗割烹です。当日は、20名の皆様が参加されました。

同窓会からは佐藤武司会長、大学からは髙塚邦夫常務理事に、ご多用中にもかかわらずご臨席いただきました。

総会では、小泉俊夫支部長(30回)のお身体の都合が思わしくないため、新たな支部長として、安田秀雄さん(31回)が満場一致で選出されました。

参加者一同、今後新支部長を盛り立てて同窓会活動の一層の活性化を目指すことを誓いました。　事務局　野田 満(48回)

石川支部

一人ひとりの近況報告で、親睦がさらに深まる

平成25年度大樟会石川支部臨時総会が、11月17日(金)午後５時から、小松市の「ホテルサンルート小松」で開催されました。大学本部からご来賓として、人間科学部長の土居充夫教授及び大樟会本部から平田義行広報部長、近隣支部から福井県支部の石橋隆夫支部長のご臨席を賜り、鍛治一英石川支部長はじめ２５名が参加し開催されました。

総会は、県内を三分割し各地区の持ち回りで毎年開催しており、今回は「南加賀部会」が担当し開催しました。

支部長の挨拶に始まり、来賓の先生方から母校が益々充実発展している様子を伺い力強く感じました。支部活動報告では、平成２４年度会計報告(収支決算報告)と会計監査報告がなされ、満場一致で承認されました。

その後、懇親会をへと移り、参加者一人ひとりから近況報告や母校への期待などが述べられるなど、情報交換を通じて親睦が深められました。

最後に恒例となった出席者全員による円陣を組んでの学歌・逍遙歌を高らかに歌い、母校の発展を願うと共に同窓生の絆を一層深めて、来年の再会を誓い合いました。宴会は午後８時、盛会裏に終了しました。

支部長　鍛治一英(36回)
記録:監査　寺井明夫(39回)

福井支部

2年後に支部創立50周年、全員で準備を

平成25年6月22日、来賓として大学から 勝田泰久理事長、大樟会から佐藤武司会長、竹中亨事務局長、石川支部から 鍛冶一英支部長をお迎えし、ホテルフジタ福井で支部総会を開催しました。勝田理事長、佐藤会長から大学および大樟会の近況をお聞きするとともに24年度の収支決算を承認し、滞りなく総会を終了しました。

恒例のアトラクションとして今年は平岡愛子さんの軽快なマリンバ演奏で幕を開け、懇親会は鍛冶石川支部長の乾杯で始まりました。一年ぶりに顔を合わせ、楽しい会話で大いに盛り上がり、最後は全員が円陣になって肩を組み、逍遥歌を歌って締めくくりました。

また、今年の支部総会では当支部創立50周年を2年後に控え、記念事業の開催など参加者全員が50周年を迎える準備を始める年として意識を新たにしました。

今年は支部総会に来賓として初めて石川支部長を迎えたほか、7月6日には2回目となる伊丹支部とのゴルフ交流を行うなど、交流を積極的に進め、互いの支部活動の活性化を図っていきます。

支部長　石橋隆夫(32回)

岐阜支部

和気あいあいの総会に、ぜひ来年はご参加を

平成25年11月10日、昨年に続き岐阜駅前の、岐阜キャッスルインホテルにおいて平成25年度岐阜支部総会を開催いたしました。当日は大学から理事の髙塚 邦夫様、大樟会からは、事務局長の竹中 亨様、隣接支部から愛知支部長の五十棲 保彦様にお越しいただきました。出席を希望しながら体調不良などの理由により、出席を見送られた会員もおり、残念ながら前回よりは参加者は少なくなりました。しかし、出席者全員がそれぞれ近況報告などする中、とても和気あいあいとした空気が流れました。

岐阜県はたいへん広く、かなりの地域差があります。そんな中でも少なくとも180名の同窓生が活躍しています。現役の学生も、今年、岐阜県から3名入学したという嬉しい知らせもありました。青春時代の一時期、同じキャンパスで学んだという縁を大切にしながら、次回はより多くの仲間に参加いただくことを祈念しつつお開きとなりました。

副支部長　山根一男(46回)

静岡支部

年代を越えた交流の場

平成25年8月25日、静岡駅南口のホテルセンチュリー静岡にて、大学より斉藤入試部長、大樟会より上田常務理事のご出席を頂き、支部総会を開催致しました。

今年は、体調を崩されていた橋本理事(31回)が久し振りに出席され、26回から51回の8名の顔ぶれとなりました。

第一部総会は、斉藤部長より大学の現状や新キャンパスの説明を、上田常務理事より80周年募金の御礼と大樟会の現状の説明を頂きました。続いて、24年度事業報告・決算報告及び25年度計画案の審議に移り満場一致で承認されました。第二部の懇親会では、出席者全員の近況報告・情報交換で大いに盛り上がり、あっという間の楽しい時間を過し、大塩支部長(40回)の閉会の辞と磯田前支部長(26回)の三本締めでお開きとなりました。

年代を越えた、色々な職業・人生観を聞ける交流の場です。会員の皆さま、ぜひ支部総会にお気軽にご出席下さい。26年は8月24日開催予定です。

理事　河本陽介(51回)

愛知支部

近隣支部からも多数ご臨席

平成25年9月29日、名鉄ニューグランドホテルにて開催いたしました。当日大学本部からは、情報社会学部長難波孝志様、大樟会本部からは、副会長田村正晴様、事務局長竹中亨様をお迎えし、近隣支部からは、京都支部長田中伸治様、岐阜支部長浅野四郎様、同副支部長山根一男様、また三重県からは、復活三重支部の原動力として活動されている田村茂樹様、池山英典様のご出席をいただきました。

情報社会学部長の難波先生から『情報社会学部』というのは、全国に一つしかない学部であること、経済学、経営学を学びながら、大学のキーワードでもある、「人と人とのつながる力、つながり方」をどう創っていくかを学ぶ場とお聴きしました。

愛知支部では、年一回の大樟会ではありますが、同窓の方々との繋がりをどう広げていくかを課題として、支部長以下知恵をしぼっております。

平成25年では、新しいD館も完成しほぼお色直しが終わったようです。愛知支部にも新しい顔ぶれがつどい、親交を深める機会が増える事を願い今年のご報告とさせていただきます。　支部幹事　西川雅美(38回)

支部だより

三重支部

会員34名が支部総会に参加　9年ぶりに活動を再開

平成25年度、大阪経済大学大樟会三重支部総会を10月20日(日)松阪市内の「和田金」において開催しました。

当日、大学より経済学部長の山本先生、大樟会本部より平田広報部長、竹中事務局長、愛知支部より五十棲支部長、鴨下副支部長のご出席を賜りました。

三重支部はご存じのとおり、平成16年度の支部総会から、長く休眠支部となっており、今回、9年ぶりの支部総会となりました。

再興支部総会には、会員34名の出席があり来賓の方を合わせ39名での開催となりました。

私は20年以上前から支部総会に参加していますが、これほどの人数は、今までの三重支部ではかつて記憶がなく、支部活動再開元年として、最高のスタートをきることが出来たのではないかと思います。総会では再開に向けて、新役員候補がすべて承認され、支部長には微力ながら私、池山が選出されました。今後支部の先頭に立ち、頑張る所存でございます。

総会の議事終了後、懇親会の中での自己紹介の場において、ここ何年も総会の案内状の送付がない中で大学から送られてくる広報誌を見る度に「他県の支部の活動状況が掲載されているのに、三重支部はどうなっているのか」と今まで心配していたとの声を聞き、何人もの人が自分と同じ考えだと分かり、これから支部活動を継続していく上での力を頂いた気がしました。

最後に今回の支部活動再開にあたり、総会開催までの間、大樟会本部の方々には多大な御協力を賜りましたことに深くお礼を述べたいと思います。今後ともよろしくお願いします。　　支部長　池山英典(57回)

京都支部

女性が8名、平成卒業者12名が出席で新記録

平成25年11月16日(土)、京都新阪急ホテルにて京都支部総会を開催致しました。来賓として、徳永学長、佐藤会長、平田常務理事、五十棲愛知支部長、髙本但馬支部長、杢保同副支部長、馬場滋賀支部長代理の各位に御臨席賜りました。本年は出席者総数が62名で昨年より3名減りましたが、女性の出席が８名、平成卒が12名と2つの新記録が生まれました。また、留学生の方や北浜キャンパスの卒業生にも参加頂きました。食事のメニューは田岡総支配人(49回卒)のご配慮か、とても豪華な内容でした。美味しい食事とお酒が進むにつれ、あちこちで歓談の輪ができ、年齢を超え母校の想い出話で盛り上がりました。そして、残念ながらお開きの時間となってしまいました。その後地階のバーで二次会を開きましたところ、予想を上回るご参加を頂き感激致しました。「来年は必ず同期の友を誘って参加します」と何人もの方から、力強いお言葉も頂きました。役員一同、より魅力的な京都支部総会にすべく努力致しますので、次回もご参加の程宜しくお願い申し上げます。

乾杯の発声をされる
阿部淑子さん(13回)

支部長　田中伸治(45回)

北大阪支部

ガーデニングのトップメーカー「タカショー」さんを見学

本学の卒業生が経営されている企業訪問バスツアーを昨年9月14日(土)、28名の参加者で行いました。今回は和歌山県海南市に本社をおく株式会社タカショーさん。社長の高岡伸夫さんは(41回)、同窓会の経営者らで組織している春秋会の中心メンバーです。同社は800種に及ぶインドア・アウトドア庭園の緑化用品、ガーデンニング用品の輸出入販売を手掛け、ヨーロッパ、東アジアにも拠点を持ち日本のガーデニング産業のパイオニア企業。1998年にはJASDAQに上場した。

ドイツから前日に帰国された高岡さん、和洋取り混ぜた庭園の雰囲気を持つ本社玄関前で出迎えていただいた。高岡さんの母校を思う気持ちは、大学で働く一部教職員以上の情熱と目標と夢を持たれ、懇談の席では社の紹介のあと「9万人近くの卒業生がおられるが、それぞれ立派に人生を送っておられる。どうか“隠れ経大”ではなく“表”に出られ、大経大をもっと有名にしよう。ここ数年、経大の社会的評価も上がってきています。徳永学長が言われる地域ナンバー１の大学を目指し、同窓生も積極的に協力をしましょう」。

懇談後はショールームを見学しながらガーデニングセンターへ回る。土、日には県外からのお客さんも多いという。また時間をかけじっくり見たいものだ。高岡社長の温かいおもてなしを受けた後、昼食は和歌山市内でも人気のがんこ六三園へ。食後は一路和歌山城へ。徳川御三家の名城だけに当時の城閣の大きさに圧倒される。

会社見学、贅を尽くした食事会にお城見物、晩夏を惜しむにふさわしい一日でした。　　支部長　平田義行(31回)

北摂支部

春一番の総会

2月16日に第7回支部総会を開催致しました。ご来賓に前重森学長、学校法人常務理事髙塚様、本部より平田広報部長、近隣支部より北大阪の湯村事務局長、北河内の花岡副支部長の出席を賜りました。お礼申し上げます。

総会は春一番、全国支部の先陣を切り高槻市民会館の錦松閣で、議事は横山幹事を議長として第1号議案前年度事業及び収支決算報告、第2号議案役員増員、第3号議案本年度事業計画及び収支予算の提案と恙無く決議いたしました。役員はこれで20名体制となりました。大学80周年記念事業募金は5年間の積み立てで201,080円、同窓生の志として寄付させていただきました。

昨年の支部行事は高槻シティマラソンへのボランティアでの参加を皮切りに春の観桜、市内の古墳、史跡、藤原鎌足の古墓巡りなど4回実施、初めてバスをチャータして加西の一乗寺、姫路の円教寺への一日旅行の敢行等ほぼ2ヶ月に1回のペースとなりました。

懇親会では「カラオケ」での同窓生の美声、森乃福郎師匠の落語で再び笑いの懇親となりました。最後は遙かな青春時代の母校を想い「学歌」・「逍遥歌」をグリークラブ出身の和気氏のリードと大西氏の演舞で蛮声を張り上げて明日の活力を頂きました。

今年の方針のひとつ「北摂読書の会」を計画し時事問題、三島地方の歴史、テキストの読み合わせ等活動の幅を広げます。

支部長　大門壽郎(29回)

箕面・豊能支部

ステップからジャンプへ

小雪の舞う2月24日、第2回支部総会を箕面の滝にほど近い音羽山荘で開催した。

来賓として、大学側から井形経営学部長、大樟会から下垣常務理事、梶村事務局次長、近隣支部より3支部の支部長のご臨席を賜りました。

私達の支部は、昨年2月に発足したばかりで、あっと言う間の1年でしたが、総会では1年間の取組みの報告と、今後の活動方針として各行事への参加者を増やすため、広報活動を充実させていくことが承認された。

総会後、梶村事務局次長に講師をお願いし、「卒業生から見た大阪経済大学の魅力」と題して、大学の財務状況は健全なこと、地域に根差した大学に成長していること、大学の格付けも非常に高く評価されていること等をお聞かせ頂き、参加者全員が卒業生であることに意を強くした。

また、懇親会では和やかに進行する中、3支部長から支部運営の苦労話や今後の参考になるアドバイスを頂き、最後に学歌と逍遥歌を合唱し、楽しい一日を締めくくった。

今回は、前回に比し、4名の新らしい参加者があった。次回は更に多くの方の出席を期待しています。

副支部長　服部 健(32回)

北河内支部

アットホームな雰囲気で盛り上がる

平成25年5月26日(日)午前11時から寝屋川市のがんこ寝屋川店で第6回支部総会を開催した。当日は大学側から髙塚邦夫常務理事、同窓会から平田義行常務理事・北大阪支部長、大門壽郎北摂支部長、西野博子北大阪支部会計部長の来賓をお迎えし、24年度事業・会計報告を、25年度事業計画・予算案をそれぞれ満場一致で承認し、無事総会を終了。

今回は来賓を含めて23名と過去最低の参加者となったが、13回卒のひとみ会の西田さん、赤木さん、それに32回卒の折口さんご夫婦、さらに大学時代同期生で男子学生からマドンナともてはやされた来賓の西野博子さんと35年ぶりに再会したという会員もいて、アットホームな雰囲気の中で懇親会は大いに盛り上がり、最後は学歌、逍遥歌を声高らかに歌って総会を終えた。

支部長　森川義一(25回)

阪神支部

次回は出席者増をめざす

平成25年10月19日(土)ノボテル甲子園にて阪神支部の総会を開催いたしました。大学から人間科学部長土居充夫教授、大樟会佐藤武司会長、廣野義直組織部長らのご臨席を賜り無事終了いたしました。有難うございました。

今回は出席者が非常に少なく事務局と致しまして深く反省いたしております。時期的に各地域でお祭りや自治会の運動会・文化祭等行事があり、ボランティアや家族参加などで少なかったです。

事務局　北野 信一郎(26回)

支部だより

豊中支部

豊中支部第29回総会

6月22日母校大阪経済大学同窓会ホールにおいて第29回支部総会をとり行いました。総会前に、本学経済学部教授高橋亘先生に「日本経済とアベノミクスについて」講演をしていただき、その後総会では、本学常務理事髙塚邦夫様より大学のキャンパス及び80周年記念事業の説明などをしていただき、大樟会広報部長平田義行様より80周年の寄付金報告と使用について説明がございました。

議案審議については、例年通り支部活動報告、会計並びに監査報告が満場一致で可決いたしました。また豊中支部会則の一部変更等説明し承認いただき、無事終了致しました。今回の総会は従来の10月総会を6月に変更して最初のスタートでした。原点にもどり開催場所も母校の同窓会ホールにしました。あわせて80周年記念事業の新築校舎を見ていただく目的もありました。

その後の懇親会も出席者全員で話も盛り上がり、楽しく出来たと思ってます。11時より始まり約4時間でしたが、皆さん最後までありがとうございました。　　支部長　植田富雄(38回)

池田支部

池田市長を迎え定期総会開催
記念講演「資産運用とマネープラン」を聴く

平成25年6月30日(日)池田の老舗「太郎兵衛寿司」にて支部総会を開催しました。紫陽花の色鮮やかに咲く梅雨晴れの中、大学より髙塚邦夫常務理事、大樟会から竹中亨事務局長(伊丹支部長)、内田敏雄常務理事(伊丹支部事務局長)、木谷正雄箕面･豊能支部長、吉仲美智子同支部会計のご臨席を賜わり総勢26名がご出席。髙塚常務理事からは創立80周年記念行事が成功裡に終了したことと大学の施設刷新の状況等について、大樟会からは80周年記念募金のお礼、「jump up 80」記念陶板の大学への寄贈等についてのお話がありました。

また、小南修身池田市長が地域からの来賓として駆けつけてくださり、80周年を迎えた大阪経済大学が100周年を目指してますます発展していくことと、当支部の弥栄を祈念するご挨拶を頂戴し、感激いたしました。

総会は松田今朝男副支部長の司会で始まり、中一正支部長から大変元気の出る挨拶をいただくなか活動報告、会計報告の各議案がいずれも満場一致で承認され、無事に終了しました。

引き続き、野村證券株式会社豊中支店後藤義裕支店長による「資産運用の基礎とマネープラン」という、アベノミクスに関心の集まる昨今、時宜にかなったテーマでのご講演があり、資産運用の肝を押さえた丁寧かつ気持ちのこもったお話を頂戴しました。その後の懇親会では支店長を囲み熱心に質問する参加者が絶えませんでした。

懇親会は山形武相談役の乾杯の発声で始まり、参加者全員の自己紹介には軽妙なお話、愉快なお話が続出し、何度も会場が沸きました。ビンゴゲームでは支部長自ら進行を務め、番号が選ばれるたびに歓声が上がる盛況振りでありました。また、当支部ではゴルフクラブ、囲碁クラブが活動しており、山形輝三副支部長から活動報告が行われました。内容は別途投稿の「池田支部のクラブ活動報告」をご覧下さい。

楽しい懇親会は山形副支部長の中締めに次いで、応援団OB中三吉先輩の先導による学歌の斉唱、大学・大樟会・参加者へのエールが送られる中、次回の再会を約し、お開きとなりました。　　監事　今村武司(43回)

泉南支部

支部長交代で初の総会

泉南支部の立ち上げから30年以上支部運営に貢献されてこられた車野修三支部長(27回)が所期の事業を全うされ、平成25年5月18日、関西エアーポートワシントンホテルの総会で晴れて退任されました。後任として私、塩谷善一郎(39回)が皆さまのご支持をいただき、就任いたしました。総会参加の皆さんから、長年の労をねぎらう感謝の気持ちが会場いっぱいにみなぎり、時の流れを感じます。本当にありがとうございました。前支部長には今後、支部相談役としてさらなるご指導をお願いすることとなりました。

来賓としてお越しいただいた勝田泰久理事長から、最近の経済情勢の分析を含むお話をいただき、佐藤武司大樟会会長からは80周年記念事業募金のお礼をはじめ同窓会の取り組みの説明がありました。近隣支部から堺の堀本支部長、和歌山の新田支部長がお越しいただき、あいさつをいただきました。

懇親会は時間の経つのを忘れ和気あいあいと話が弾み、皆さんあったかい気持ちに満たされとようで、次回の再会を約しお開きとなりました。

支部長　塩谷善一郎(39回)

「澱江」購読料のお願い…「自らの購読料で『澱江』を育てよう!」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。編集子一同は、このご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。※ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。

堺支部

10年を経て新しい気持で新役員も選出

第11回総会は、平成25年11月16日(土)午前11時より　ホテル・アゴーラリージェンシー堺(旧・リーガーロイヤルホテル堺)にて開催されました。大学から理事・事務局長の崎田洋一様、大樟会から常務理事の上田敬二郎様、近隣支部からは奈良支部長の西本集一様と泉南支部長の塩谷善一郎様にご出席を頂きました。

開催に先立ち、記念写真を撮り、学歌と逍遥歌の斉唱から始りました。最初に堀本修支部長から、第10回記念総会以降の一年を振り返り、新しく気持を入れ替えて支部の活性化を計りたいとあいさつ。次いで、来賓の崎田事務局長から、「昨年の80周年を前後して大学は大きく変った、これからは厳しい環境の中で生き残るだけでなく勝ち進んでいく大学でありたい」と述べられました。引き続き大樟会の上田常務理事からは先般の総会への出席のお礼と「同窓会の組織の強化に力を注いでいる」旨のお話があり、近隣支部からご参加頂いた泉南支部や奈良支部長様より「今年はオモテナシと言う用語が話題になっているが、意味するところは信頼関係であり、同窓会にあっても人と人のふれあいを大切にしたいものだと思っている」などのご挨拶がありました。

中坪健治事務局長よりこの一年間の活動報告、会計報告、村越憲治会計監査委員の監査報告があった後、堀本支部長より新役員候補の提案があり、満場一致で承認されました。

引き続いて行われた懇親会では、乾杯後に座が寛ぎ、中でも今総会の最高齢者で90歳の岡本二郎さん(10回卒)のゴルフ談議や、最若年者の加藤貴仁さん(62回卒)の同窓会への思いなど大いに話が盛り上がりました。最後は新しく選任された佐藤事務局長の閉会の辞と一本締めで、和やかな中にも有意義な懇親会は終了しました。

副支部長(総会担当)　中尾義宏(30回)

尼崎支部

声を掛け合い支部総会に参加を

尼崎支部は平成25年度支部総会を4月26日に尼崎商工会議所に於いて開催しました。来賓として崎田洋一事務局長、佐藤武司大樟会会長、進木伸次郎大樟会総務部長、伊丹支部から奥田征彦様の御出席と会員23名の参加がありました。

久保支部長の挨拶の後崎田洋一事務局長、佐藤大樟会会長より御祝辞をいただき、会計報告を行いました。

懇親会は三反田忠昭様(昭和32年卒)の乾杯にて始まり、途中毎年恒例となっておりますビンゴゲームをしたりするなど楽しい時間を過ごしました。最後に学歌を熱唱して常深俊昭様(昭和32年卒)に締めの挨拶と万歳三唱をしていただき今後の同窓会の発展を願いながら散会しました。

尼崎支部は若手の参加者も多く、幅広い年代での交流の場としてどの年代の方々も気軽に来ていただければありがたく思います。近年参加者が減少している傾向にありますので是非お知り合いの方に声を掛け参加をお願いします。

支部長　久保太郎(31回)

伊丹支部

“卆寿”の大先輩も初参加

６月１日(土)午後５時から伊丹シティホテル「寿の間」において、平成25年度大樟会伊丹支部総会を開催しました。

総会には、佐藤武司大樟会会長、草福弘樹大学理事・財務部長をはじめ５名のご来賓にご参加いただきました。水納敏也伊丹支部長の挨拶に続き、佐藤会長からご祝辞、草福部長から大学の近況報告をいただいた後、議事に入り、平成２４年度の事業報告・会計報告、役員改選、平成25年度の事業計画案・予算案等が上程され、それぞれ原案どおり承認されました。なお、本総会終結の時をもって、水納支部長が退任し、新たに竹中亨副支部長が支部長に就任しました。今回の総会には、支部会員28名のほか、現役学生１名も参加、これまでの総会で最多の参加者数となりました。特に、本学第10回(昭和18年)卒業で、今年、“卆寿”(90歳)を迎えられる川崎清澄先輩も初参加されたことは特筆すべきことです。

総会終了後、懇親会に移り、賑やかに会話が進むなか、締めくくりは全員が肩を組んで、学歌斉唱を行い、同窓生の“絆”を確認しました。

事務局長　内田敏雄(39回)

神戸支部

若い会員と女性の参加を進める

平成25年度神戸支部総会は、平成25年9月29日(日)12時より、神戸・元町駅北側の「パレス神戸」に於いて開催いたしました。総会には、大学から崎田洋一事務局長、大樟会から佐藤武司会長、進木伸次郎常務理事、淡路島支部・赤松慶久副支部長にご臨席を賜り、来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況や卒業生の就職状況、大樟会の活動状況などの報告と今後の大樟会の在り方、そして大樟会員の活躍情報等心温まるご挨拶をいただきまして、出席者56名で支部総会の幕が開かれました。

昨年は台風が神戸市内を直撃するという予報が入ったため、参加予定者の安全を第一と考えて、やむなく前日に中止を決定したしましたが、

支部だより

今年は天候にも恵まれて、無事に総会を開くことができましたことと同時に、ご来賓の皆様が遠方にもかかわらずご臨席を賜ったことが、支部長として本当にありがたく思いました。

また、総会中ほどで、会員であり、神戸・新長田鉄人プロジェクトの主要メンバーの上野栄一氏(47回生)による神戸長田のお好み焼きを題材にした歌などを披露していただき、その後、恒例の抽選会を今年もビンゴゲームで行い、盛りあがったところで予定の2時間半も、あっと言う間に過ぎ、最後に逍遙歌を全員で斉唱して閉会といたしました。

神戸支部総会は、女性や新卒者にもたくさん出席していただくことを目標に、実行委員会を立上げ、開催日も日曜日の昼に設定し、今回の総会に至りました。

そのため、次回の目標は「参加年齢層の幅の広さと充実、そして多くの女性会員の参加」として掲げ、既に総会開催日を平成26年9月28日(日曜日)正午開会に決めましたので、この「澱江」を読まれた方はもちろんのこと、近くの大樟会員にお知らせいただき、何とか目標を達成したいと思います。

支部長　下土井康晴(25回)

丹有支部

次回は大学で総会を考える

平成25年度大樟会丹有支部総会を、11月16日篠山市のささやま荘で開催しました。

この4月より、丹有支部長の大役を受けての初めての総会であります。大学から髙塚邦夫理事、同窓会から進木伸次郎総務部長の御出席をいただきました。折しも王地山公園のささやま荘は、紅葉の真っ盛りで、篠山の自然のおもてなしの雰囲気の中、年に一回の再会の集いであります。「お元気でしたか」と交わす挨拶や、自然と握手し、総会を開きました。大学の学内状況や、80周年事業などの学舎の変貌の様子を聞かされ、来年は大学で支部総会を計画したらと思いました。懇親会では、お一人、お一人の近況の報告があり、和気あいあいの、あっと言う間に、お開きとなりました。来年は丹波地区の当番です。再会を約束して、終了しました。縁あって大阪経済大学で、学んだ同窓生であります。先輩や、後輩との絆や繋りを大事に、大切にして歴史ある丹有支部を、盛り上げていきたく思っております。

支部長　足立徳太郎(36回)

北播磨支部

支部創設7年目、母校の発展をさらに期待

北播磨支部も創立7年目となりました。

少し遅くなりましたが、平成25年度支部総会を10月5日(土)、小野市内の「雅いのうえ」で開催しました。出席者は14名です。

当日は、大学より池島真策教授(経営学部長)と同窓会本部から廣野義直様(大樟会組織部長)にご出席いただき、最近の大学の様子や同窓会活動などをご報告頂きました。

母校も、受験者数も順調に増加しており、80周年を機に次々と施設のリニューアルに取り組まれキャンパス整備もほとんどが完了したとのことで、たいへん羨ましく力強い報告でありました。健全な大学運営ではすでに有名ではありますが、われわれ同窓生にとりましても今後ますます母校の隆盛を期待する次第であります。

また、この日は第5回懇親ゴルフコンペを小野グランドカントリークラブで開催し、12名のエントリーで楽しくラウンドをしました。

25年度支部事業では、昨年に続いて関西大学・関西学院大学はじめ他の小野支部同窓会とのゴルフ交流戦も予定しています。

支部長　伊藤俊博(32回)

東播磨支部

総会を母校で開催
支部長が交代しました

平成25年11月24日(日)に母校E館にて東播磨支部総会を開催いたしました。

ご来賓に大学より元副学長中尾美喜夫特任教授、本部より下垣常務理事、梶村事務局次長の出席を賜りました。お忙しいところご出席いただき誠にありがとうございました。総会に先立ち、梶村事務局次長に校内を案内していただき、様変わりした立派な施設を見学させていただきました。

総会では西川支部長の挨拶の後、平成24年度の支部活動報告及び会計報告が承認され、平成25年度活動計画案、役員改選も承認されました。

中尾美喜夫先生の講演では「健康と運動について」をテーマに日常の運動の大切さがよくわかりました。

懇親会では、ご来賓の皆さまより、ご祝辞をいただき和気あいあいとしたなごやかな雰囲気の中、学生時代を思い出しながら親交を深めることができました。

再興後3回目の支部総会は、関係者の方々に協力いただき大学で開催することができ、感謝しております。西川支部長よりバトンを渡していただき、今後も役員の方々に協力していただき支部活動をすすめてまいります。今後とも、東播磨支部をよろしくお願いいたします。

支部長　山本憲章(35回)

姫路支部

バンカラで、ヨーイヤサーの武骨な姫路支部に瑞兆豪華絢爛女神降臨!!

秋たけなわの10月26日(日)、第65回総会を、姫路キャッスルホテルにて、大学より勝田理事長、竹中大樟会事務局長他計6名のご来賓をお迎えし、総勢45名にて盛会に開催しました。司会の芦田副支部長の開会宣言の後、祝辞として理事長よりトップマネジメントの一端をご披露頂きました。

今年は役員改選で、林前支部長から永井新支部長の紹介をはじめ、大幅若返りについて、各年代層の後輩の積極的な運営に期待しますとのとのコメントがあり、満場一致で承諾されました。上野幹事長の会計報告の後、記念撮影。和やかなOB会ならではの懇親会となり、各テーブルごとに往事を偲び話題の華が咲きました。そして何と言っても会場で紅一点、李容淑教授のスピーチが始まり、会場が緊張感でMAX状態となりました。

最後は恒例の学歌、逍遥歌の大合唱で来年の再会を約し、無事お開きとなりました。　副支部長　稲積哲也(38回)

淡路島支部

洲本市古茂江で第23回支部総会

9月28日、大阪湾から友ヶ島までが一望できるホテル・ザ・サンプラザで来賓を含めて36名が集い、盛大かつ和やかに支部総会を開催した。

洲本市長でもある竹内支部長より出席者へ心からお礼の挨拶で開会、ご来賓として大学の崎田洋一事務局長と大樟会の佐藤武司会長が祝辞とともに学校や大樟会の現状報告も頂いた。

議案審議では実績報告及び決算と監査報告、同窓会が大樟会へと改称したのに伴う支部会則変更並びに事業計画・予算案は全て承認され、赤松副支部長が議事を締めくくる挨拶を行った。

記念撮影のあと親睦会。ご来賓の大樟会梶村事務局次長が乾杯の発声、この中で毎年の支部総会出席者が会員総数の1割超であることを称賛、今後もこの記録の維持・更新に大きな期待を寄せた。また初出席の2氏から自己紹介があり、全員が歓迎の盛大な拍手。賑やかな歓談の後、新調された大樟会旗のもと全員で学歌・逍遥歌を斉唱、小堀副支部長から明年の再会を誓う挨拶で閉会した。今回会えなかった皆さん！次回はぜひご参加を！　事務局長　喜田憲康(40回)

奈良支部

吹きはじめた若い風

「わが町ながら、奈良公園はいつ来てもいい所ですねえ。大仏さんを拝んできましたが、外国の方々が目立ちました」。開会の挨拶に立った西本集一支部長はニコニコ顔。11月17日に開かれた25年度支部総会には支部員35人、それに堀本修堺支部長、山本正経済学部長、内田敏雄大樟会常務理事らの参加をいただいた。堀本支部長は昨年の堺支部創立10周年記念式典に西本支部長が出席したご縁から。

中野洋さん(78回)吉田実緒さん(同)樋口清二郎さん(79回)は初参加、税理士の保田まち子さん(77回)は数年前からの連続参加で会場の東大寺門前「夢風ひろば」ホールが華やいだ。

事務報告に続いて本学79回卒の上原典恵さんと京子さん母子が奄美民謡を披露。会場を揺るがすような音色と、どこか懐かしさを覚える母子の声が喝さいを浴びた。懇親会はひろば内の日本料理「志まづ」。心尽くしの「大和のご馳走」に加え、目に飛び込んでくるのは姿たおやかな若草山。時間がたつにつれ炬燵席は入り乱れ、若い支部員の将来の夢や功成った「我が人生」の自慢話に酔い、再会を誓い合った。　山本長彦(32回)

岡山支部

チンドン屋と浪曲の披ろうで最高潮に

6月29日(土)、岡山プラザホテルで、23期から77期までの同窓生50名が集まり支部総会を行いました。今年は例年以上に初参加の方が多く、うれしい会となりました。

大学からは徳永学長、大樟会本部からは田村副会長、津山支部からは竹本支部長様はじめ多くの御来賓の出席をいただきました。

総会では徳永学長から創立100周年に向けて、経済、経営系で「日本一の大学を目指す」という未来を語っていただき、同窓生一同大変心強い思いをいたしました。

その後懇親会に移りましたが、乾杯の発生と同時にあちこちで話が弾み大変盛り上がっている最中、35期の岡田先輩(元岡山県立津山商業校長)によるチンドン屋と浪曲のパフォーマンスがあり、さらに盛り上がり非常に楽しい会となりました。

最後に全員で声高らかに学歌・逍遥歌を歌い会を終えました。

来年ももっと多くの参加者を募りさらに楽しい会にしたいと思います。皆さん、また来年元気でお会いしましょう！！　支部長 松永清彦(41回)

支部だより

津山支部

支部の活性化をさらに進める　津山支部総会

8月24日、大学から髙塚常務理事、大樟会より梶村・内田両常務理事、岡山支部より松永支部長、塩尻前副支部長さんらのご来賓を始め多くの会員の参加を得て、総会を盛会裏に開催しました。今回は、初参加の46期田口さん、48期森廣さんを始め26名の参加でした。初参加のお二人とも、もっと早く参加をしておけばよかったとの感想をいただきました。

前回、40名を集めた真庭地域の先輩から3年に一度くらいは真庭で総会を開催するとか、美作の地域も開拓する必要があるなど力強発展的な意見を頂き、これを機に支部の更なる活性化を図りたいと考えます。

懇親会では、アトラクションとして地元出身で7月3日にCDデビューした「人美」さんのミニ歌謡ショーで、デュエットもあり、楽しくなごやかなひと時を過ごしました。

なお、真庭地域では、平成25年中に、一度集まりを計画しており、関係の皆さんには案内をいたします。ぜひご参加を！　支部長　竹本 巧(37回)

広島支部

28回卒の先輩から79回卒の新入生まで

6月15日(土)、本大学から池島経営学部長様大樟会から田村副会長様をお招きして、第71回大樟会広島支部総会を、リーガロイヤルホテル広島にて開催しました。26名の会員が出席、最年長の28回卒の清水義弘先輩から新人の79回卒長谷川順哉君まで、50年の歴史を感じさせる総会となりました。また、初参加者4名をお迎えし、新しい雰囲気がみなぎりました。

36回前垣吉男先輩の酒蔵賀茂泉のお酒で乾杯。大学の近況、大樟会の報告、支部の24年度年間行事の振り返り、そして自己紹介。各会員の楽しいお話で、時間オーバーに。最後に校歌・逍遙歌を大合唱して、総会を閉会しました。

今回の初参加の方は、仲間との出会いがあり、お声かけして実現したこともあり、出会いの場を大切にして、また「声かけ」の重要さを再確認したことが、役員の気づきとなりました。　支部長　陰山秀明(44回)

備後支部

大樟会旗を総会で披露

10回目となります備後支部総会は同じ福山ニューキャスルでも、従来の16階の『ふじの間』から2階の『松の間』へと会場を移動しました。昨年80周年を記念して各支部に配布された、大樟会旗を始めて披露いたしました。

晴天の下、近年では久し振りに大樟会佐藤会長、上田常務理事、大学よりは崎田事務局長をお迎えして開催しました。出席者は前回より14名減少し、18名でした。前回、前々回と出席者が増加していただけに、残念でした。支部長挨拶、来賓挨拶の後は、顔なじみのメンバーばかりで、大学の在学中の話題等で大いに盛り上がりました。今回長らく、副支部長を務めてこられた、畠輝雄氏(36回)が体調不良の為副支部長を辞され、欠席されました、早く全快されん事を、心からお祈りいたします。　副支部長　岡崎正広(37回)

香川支部

熱気溢れる支部総会

この夏の大猛暑を彷彿させる茹だるような暑さの中、平成25年6月29日18時より大樟会香川支部総会をルポール讃岐にて開催しました。

大学側より土井充夫教授ほか4名、大樟会側より廣野義直組織部長のご臨席をいただき、総勢30名の会員参加のなか、恒例の母校の近況報告や支部の会務及び決算報告等が発表された。出来上がったばかりの真新しい大樟会旗をバックに全員で記念撮影の後、愉しみの酒宴が開幕。

今回、初参加の西河均さん(48回)の奏でるアコースティックギターの名曲を聴きながら飲む酒は格別であった。酒宴が盛況になるにつれ、西河さんのギター演奏をカラオケ代わりにマイク片手に歌う人も続出する有様。そこかしこで会話が弾み、宴もたけなわになったところで、恒例の大奥雅彦さん(46回)の威勢の良い閉めの音頭によりお開き。あっと言う間の2時間(酒宴)であった。

いつも思うことだが、なんとか1名でも多くの参加者を増やし支部会員同志の交流を図り、香川支部の発展と飛躍を願うものです。

支部長　鈴木澄夫(36回)

山口支部

前知事出席で盛り上がる

山口支部総会は11月23日(土)午後3時から山陽路最大の湯量を誇る山口市湯田温泉の「ホテルかめ福」で開催。当日は新経済学部長に就任された山本正教授をはじめ、大樟会本部からは田村正晴副会長、毎回参加していただく近隣の濱忍熊本支部長、北九州支部の植田達三支部長もかけつけていただきました。

会員の参加者は毎年大きな差はありませんが、少しずつ新旧入れ替わりはあるものの全国平均の参加率の目安５％は一応クリアー出来ているかなという感じです。

まず、山本正経済学部長から大学受験人口が減っている中、本学は確実に志願者を増やしていることなどの近況報告がありました。

今回の目玉は本学客員教授に就任された二井関成前知事に出席頂いたことです。山口県民にとっては、知事時代は雲上の人で普段会話をする機会はまずないだけに超有名人の出席に大いに盛り上がり、それぞれ近況をかわしながら杯を傾けていました。

山口県内からの受験者は55名、合格者は11名、そのうちの入学者は4名という現状です。幸い母校は、現在は勝ち組に入っていますが、今後は地方からの応募者も増やして行く方策をとらないといつまでも近畿圏だけを視野にいれているだけでは衰退の一途をたどる一地方支部として将来を危惧しているものです。　　支部長　小林真人(32回)

徳島支部

南国徳島に雪の舞う支部総会

平成25年1月26日、大学より勝田泰久理事長、井形浩治経営学部長、また同窓会本部より佐藤武司会長をお迎えし、一年ぶりに24名の仲間が集い徳島支部総会をおこないました。

勝田理事長、井形部長から、学校の現状や在校生の父母、入学志願者の方々からの本学への信頼感等の話を拝聴しました。さらに本学の次のステップへの展望を聞かせていただき、目の前に浮かぶ半世紀前の母校の姿からは、今の景色は想像すらできません。

宴盛り上がったところで恒例のお楽し懇親会へと。 会場のあちこちで車座も現れ、約3時間余りのにぎやかな時間を楽しむことが出来ました。また来年の再会を確かめ合いながら、冷たい北風のなか小雪の舞う夜の町へと皆さん消えてゆきました。　　事務局　山口勝敏(32回)

愛媛支部

支部創立30周年を迎えて
第1回大樟会四国サミットを開催

第30回支部総会を7月14日(日)四国中央市のホテル・グランフォーレにて開催しました。(参加者41名)今回は支部創立30周年を記念して、「第1回大樟会四国サミット」を開催し、県外の同窓生からも多数ご出席頂きました。また大学からは、徳永光俊学長、大樟会からは田村正晴副会長、竹中亨事務局長らが出席され、大学の近況や、80周年記念事業、大学の目指すべき将来像等について拝聴いたしました。

私自身、平成25年2月から松山市に赴任したこともあり、総会は初めての参加でしたが、アットホームな雰囲気に加え、参加者の大学に対する「熱い思い」を数多く拝聴することができ、大変有意義な時間を過ごしました。

今回の「支部総会、大樟会四国サミット」で培った「絆」で持って、引続き愛媛支部活動に加え、四国各支部との連携強化に携わっていきたいと思います。　　中本修一(79回)

高知支部

愛媛支部から3名がご出席、支部間交流が深まる

幾分暑さが弱まり、時折すずしく感じられる気候のもと、9月7日(土)三翠園にて平成25年度大樟会高知支部総会を開催しました。

来賓として大学からは藤原総務部長、大樟会からは平田広報部長そして愛媛支部からは眞鍋支部長、宮崎事務局長、安藤様にご出席いただきました。今まで他支部とは交流はしておりませんでしたが、2013年の7月14日に愛媛支部総会に御招待いただいたのをきっかけに支部交流をしていく方向で実現しました。

総会では支部長、来賓の挨拶、会計報告さらに2013年春に他界されました当支部の島崎善夫様のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

当日はJC（青年会議所）の60周年事業が三翠園周辺で行われており、ちょうど14階の総会会場から晩夏の花火を観ることができました。次回もこのようにラッキーなタイミングで総会が開ければよいのですが。ひきつづき和気藹々と行っていきたいと思います。皆様の支部会へのさらなる御参加をお待ちしております。　　幹事　南 宏道(52回)

支部だより

熊本支部

支部創設25年周年、大阪にて支部総会を開催

平成25年11月2日(土)午前6時8分熊本駅を九州新幹線さくらにて出発。途中新玉名駅、博多駅にて合流、新大阪駅9時44分到着後、食品偽装の渦中の大阪新阪急ホテルへ到着。自由行動観光を各々済ませて午後5時より、阪急グランドビル27階グランド白楽天にて支部総会スタート。勝田理事長、佐藤会長、福地常務理事、近隣支部より小林山口支部長、植田北九州支部長らがご出席。勝田理事長より、大学の近況報告等を頂き支部会員は熱心に拝聴しておりました。総会には私と同期の35期会から5名、熊本出身の故八木田恭輔先生の奥様もご参加いただき厚くお礼申し上げます。和気藹々と温い雰囲気で進み、学歌・逍遥歌を声高らかに斉唱、総勢20名での支部総会を終了。翌3日は大樟会総会へ出席、卒業後初めて母校を訪れた会員の中には、今昔を思いしばし茫然と佇んでいました。思えば長いようで短かった25年、今日までご縁を頂いた皆々様に感謝の念で一杯です。今後共ご指導頂きながら少人数の支部ではありますが歩みを続けてまいります。

支部長　濵 忍(35回)

宮崎支部

「継続は力なり」で前進しよう

11月16日(土)、宮崎支部総会をホテルメリュージュ宮崎で開催した。今年は会場を変更したため種々手配に苦労したが、会員の協力により遂行することが出来た。大学から草福弘樹理事、大樟会から竹中亨事務局長らが臨席、大学及び同窓会の報告を拝聴すると共に、なごやかな懇親の場へと遅くまで賑わった。特に持参された、キャンパスガイドを見て大学の変貌に驚き、時代の流れを痛感しながら自分達の学生時代にタイムスリップし、授業やアルバイト、生活環境等で話は大いに盛り上った。さらに、やがて卒業生が10万人に達すること、全国には50支部や各種部会があり日々活動していることに、巨大化した大学・同窓会を改めて感じた次第である。

一方、宮崎県からの在校生が少数であり、地元会員の高齢化を考えると今後の支部運営がきびしくなると感じた。お二人の報告から、当支部の今後を考えた場合、南九州支部から独立して11年が経過した中、今日まで小規模ながら毎年数回(総会を含む)堅実に支部活動を続けてきており「継続は力なり」をモットーに今後も従来どおりの運営で行こうと出席メンバー全員で確認した。

最後の終宴時に「学歌を歌おう」となったが、音がとれないというか、出だしが分からず竹中事務局長に音頭を取っていただいた。次回からは練習して臨みたいと思います。

支部長　福田俊彦(32回)

南九州支部

早ければ今年、沖縄で支部総会を

11月9日鹿児島市内のホテルにて、支部総会を開催しました。3組のご夫人同伴もあり、にぎやかに会が出来ましたことをご報告いたします。同窓会本部から小林真人さん、大学から崎田さんの参加をいただき大学の現状や未来への志向を語って貰い、参加者一同納得のいく様子がみられ、嬉しい一時でした。残念なのは、奥間先輩がお亡くなりになられたことと、新内先輩の令夫人の旅立ちを報告しなければならないことでした。今回欠席者の中には、難病を患い闘っている方もあり、お互いに健康に留意すべしとの話題しきりでした。会員の一人の熱血漢は、県知事のリコールにたぎる思いを訴えていました。薩摩隼人の心意気を久々に感じたものです。支部総会は来年か近いうちに沖縄で開催できればと考えています。全国に活躍中の南九州支部の出身者の皆様の参加をお願いします。大阪経済大学同窓会万才。

支部長　前薗博隆(34回)

部会

大樟春秋会

会長に矢倉英一氏、副会長ポストも新設
大阪・東京2都市で活動

平成25年度春秋会(西部)が3月19日、大阪新阪急ホテルで開かれた。勝田理事長、徳永学長を迎え19名が出席した。春秋会は西部(大阪)、東部(東京)の2拠点で活動しており、今後全国的組織としてつながるため会則の一本化を図っていく。西部で出された会則案に沿って東部でも検討

をしていくことを確認した。

総会では田中夏木前会長の後任に株式会社エーアイティ代表取締役矢倉英一氏(39回)を、新設ポストの副会長に株式会社京都西川の代表取締役大河内徹心氏(39回)、株式会社タカショーの代表取締役高岡伸夫氏(41回)の2名を選出した。

来賓の勝田理事長、徳永学長から大学の現状として●平成25年は本学受験性が大幅に増えた●アベノミクスの影響で財政が好転した●摂津グランドを整備し弓道場を新設する●「ゼミ１グランプリ」でも経大の活躍が目立った等の報告があった。

一方、東部の会では平成25年12月5日、本学卒業生・高田明氏が経営されている「株式会社ジャパネットたかた」東京オフィスの見学会を実施、12名の会員が参加した。ご子息の高田副社長から会社概要として資本金1億円、社員数600人、内経大ＯＢ3名、売上高1400億円などの説明を聞き、スタジオも拝見させていただいた。折しも生放送中の場面もあり、東京オフィス150名の熱烈歓迎を受けた。見学は夕方までさせていただき、同社の躍進する原動力を見たような感動を覚えた。

懇親会は会場をホテルオークラニホンバシに移し、勝田理事長も来られ賑やかに始まった。会員からは当会の将来に大いに期待しているが、大学との一体感をもっと発揮すべきだ、学生の語学力を高めることが急がれるなど大学に対する建設的な意見が続出。内容のある懇親会であった。　事務局長　志水利通(23回)

(写真は、東部春秋会の皆さん)

大樟体育会

「会の方向性が問われている」…下垣会長

2012年4月から2013年3月までをまとめた「第13回大樟体育会総会」が2013年4月20日、同窓会ホールで開かれた。出席クラブは22、12クラブが欠席。

会に先立ち、2012年度体育会クラブの成績優秀者特別表彰があり、アイススケート部、準硬式野球部、卓球部が団体受賞。個人は弓道１、硬式野球３、自転車２、柔道１、準硬式野球３、水泳１、ハンドボール２、ボクシング１、陸上競技２の計16選手が表彰された。

下垣恒彦会長は「昨年は各クラブともそこそこ活躍してくれました。全国で全クラブが勝つことは難しいが、本学でぜひ勝って欲しいクラブについて言えばもう少し頑張って欲しい。今、本学のスポーツクラブのあり方として本気で強くしていくのか、あるいはサークル活動に毛が生えた程度に和気あいあいといくのか、が問われています。そのためにも大樟体育会がどう関わり全体を引っ張っていくのか、引っ張れるのか、ここ数年が勝負だと思います。

大学とは「我々との話し合いを通じ改善するところは改善していますが、スポーツＡＯ入試で入った75名を各クラブに単にバラまいても強化はできません。各クラブが本気で全国の強豪と伍していくならその戦略を考えて欲しい。指導体制も今の“サンデー監督”では限界があるようです」と4年間の会長歴を総括する感想と危惧を述べた。

来賓の佐藤武司大樟会会長は「この会も近年ずいぶん組織がしっかりしました。あと数クラブが入っていないようですが、大学との協議は組織の数が大事です。摂津グランドに弓道場ができますが、大学の運動部に対する認知も着実に上がってきており、一つでも全国レベルで戦える部に成長して欲しい。大樟体育会は卒業生の核として一番団結力がありこれからもがんばって頂きたい。またマナーアップキャンペーンでは、運動部の皆さんへは大学へ来られた方への“会釈をする習慣”を部員に指導して欲しい。マナーの良い学生は就職でもいい印象を与えます」と激励した。

議事では2012年度活動報告と決算報告があり、すべて了承された。クラブ競技会では大学からの応援が増え、6月の準硬式野球部(名古屋)をはじめ11月の陸上競技部の全日本大学駅伝(名古屋～三重県)では大学から応援バスが出ました、など報告された。

2013年度活動方針では下垣会長が主要課題として①2016年度スポーツＡＯ入試80名枠確保の要請。将来的には100名まで努力する②スポーツ文化振興室との協力体制の確立。各クラブとも指導室とのタイアップを強化し推薦学生の指導を深める③指定強化種目(現15クラブ)の指導者体制の強化を図る。現行では陸上競技部が有額で専門的指導を受けているが、同じ条件でこれを他部にも広げたい。また専門トレーナーが週2回、体育館で選手を指導されており各クラブもぜひ活用して欲しい。これらを残りの任期間で当たっていきたい。 さらに大樟体育会へ全クラブの参加、大学との定期的打合わせ(理事長、学長、学生委員長)、クラブの対外試合の応援、マナーアップキャンペーンへの参加要請、大樟体育会の親睦会の実施など提案されすべて承認された。次いで2013年度算案も満場一致で承認された。

引き続き質疑応答が行われた。主な内容は以下の通り。

・スポーツ推薦ワク75名は採用されているのか＝全部は採れていない。強化クラブ67名、活性化クラブ8名で75名だが、実際は強化クラブは63名で合計71名であった。強化クラブのどこに入ったかは各クラブで把握して欲しい。

・推薦ワクの満たないクラブから他クラブへ回せないのか＝譲り合いについて大学は一切認めません。

・推薦ワクの人数の増減はどこが決めており、その基準はどうなっているのか＝人数は教授会で、推薦ワクの増減はクラブの成績次第。しかし不透明なので基本的スタンスを聞いてみます。その上で推薦ワクについて大学と改めて協議を申し入れします。

・活性化クラブは17クラブあるのに推薦ワクが8名というのはおかしい。17名は最低限だ。有望な選手がいても推薦が採れるのか分からない＝活性化クラブは来年10名になる。

・成績が悪い選手への大学の対応は＝学生部が個人を呼び出し面接や補習を積極的にやっている。クラブの指導者も学生の成績は知っておいてほしい。

・試合日程が授業を妨げている場合もある＝試合日程は必ず学生部に出してほしい。大学はそれがなければ何もできない。また強化クラブの収支管理など厳しくチェックされているのでその報告を監督者は必ず見てほしい。

・公式試合で貰うカップの保管はどうするのか。クラブか大学か＝「同窓会長」として至急に聞いてみます。

質疑応答はこの後の懇親会でも熱心に続いた。　広報部長　平田義行

支部だより

税理士大樟会

第22回定期総会を終えて

平成25年7月12日(金)、第22回定期総会が無事終了いたしました。ご来賓いただいた勝田泰久理事長様のご挨拶の中で、大学の校舎建て替え工事もあと一棟、ND館(仮称)を完成で一巡し、すでに摂津グランドに「クラブハウス建設」を着工しています。

大学の環境(箱)作りが整い、これから学生の更なる資質(中身)の向上に向けての条件整備、教育内容の充実の段階に仕懸かっていく旨をおっしゃっておられました。

昨年、今年と在学生の中から国税専門官の合格の声を聞いております。

幾年後、我々の後輩が生まれるということは、税理士大樟会もそこまで存続させることが大切になってきます。

最後に大阪経済大学税理士大樟会が益々隆盛と並びに会員各位のご事業発展とご健康を祈念いたします。　　総務部長　中村吉伸(37回)

日立大樟会

母校と日立グループのつながりをより深く

平成25年10月11日、「ガーデンシテイクラブ大阪」(大阪市北区)にて、大学側から勝田理事長様、徳永学長様、大樟会より竹中事務局長様をお迎えし、新しくなりました同窓会旗のもとで総会を開催しました。

総会では平成26年より、新会長に山下徹男氏(37回卒)を出席者全員で選出、承認されました。

懇親会に先立ち、勝田理事長様より「18社の企業が大学内にブースを設け企業説明会を実施した。平成25年の5月にはハノイ(ベトナム)で大学生の募集ＰＲ活動を実施。また、スポーツ振興にも力を入れる」など学内情報を報告された。徳永学長様からは、「大経大もＢＩＧな著名人を呼べるネームバリューになった」さらに「学生達にもっと自信を持たせるために学生改革を行い、5年後には日立グループへの入社を目指す」などの力強いお言葉をいただきました。また、竹中事務局長様からは「80周年の寄付金のお礼」などのご挨拶を頂戴しました。

現在、大経大と日立グループとは新卒採用が9年間のブランクがありますが、5年と言わず、3年以内の実現に向けてご支援をお願いします。最後に、本日お元気な出席者全員の近況報告を行い、次回は新しくなった大学の新館で総会を行うなどの確認をしました。　会長　角脇忠行(34回)

池田泉州銀行経友会

和気あいあいとした雰囲気

平成25年度経友会総会を7月19日(金)に中津の「ラマダホテル大阪」にて開催致しました。当日は、本学から勝田理事長、大樟会から平田常務理事、当行の服部相談役・藤田頭取を来賓としてお招きし、70名(会員数136名)の参加を得て、盛会となりました。

午後7時より、服部相談役・藤田頭取・平田常務理事の各来賓のスピーチで始まり、はなむけの言葉を頂戴しました。引き続き田中会長の音頭で乾杯の後、懇親会がはじまり、かけつけてくださった勝田理事長から、コミュニケーションの重要性について、メッセージをいただきました。

その後、新入会員の紹介・結婚祝いの贈呈・会計報告・来年度幹事の紹介の後、恒例のビンゴゲームで盛り上がりました。

グリークラブOBの里谷君を中心として、学歌・逍遥歌を斉唱し、しばし学生にもどった気分になりました。懐かしく、楽しい時間は、すぐにたち、河瀬副会長の閉会の挨拶でお開きとなり、記念撮影のあと、二次会へ繰りだしました。　　事務局長　長岡克浩(48回)

大学院大樟会

大樟会との統合経過を報告

ホームカミングデーの終了後、大学院同窓会を開きました。最初に、川口会長から大阪経済大学大樟会と大学院同窓会の統合についての経過報告がありました。その後、出席者の自己紹介、今後の同窓会のあり方について熱心な議論が交わされました。

同窓会をより魅力あるものにする方法について多くの提案がなされました。また、大学の学部卒業生、留学生、社会人と大きく三つに分かれている大学院入学者をなお一層、支援する方法やさらに地域や社会貢献についても多くの意見が出され、盛会のうちに終了しました。

会長　川口正義(41回)

社労士大樟会

地に足をつけた会の発展を目指して行こう！

2013年7月6日、社労士大樟会第6回定期総会を大学で開催いたしました。当日は和歌山県や岡山県からも会員の方々に駆けつけていただき、大変充実した総会を開催することができました。

ご来賓として大学より、勝田泰久理事長・徳永光俊学長、同窓会本部より中坪健治財務部長・秋山治信常務理事、税理士大樟会より檜垣典仁副会長・中村吉伸総務部長のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

総会に先立ち社労士大樟会久保太郎会長より、飯田政信事務局長の大阪府社会保険労務士会会長就任の紹介があり、飯田事務局長のみならず和歌山県会の政治連盟会長である坂口育生理事をはじめとする発信力の強い現メンバーを中心に、地に足をつけた会の発展を目指して行こうという挨拶がありました。

総会は議長に久保太郎会長を、議事録署名人に湊義朋氏を指名し、審議を開始いたしました。そして、第1号議案：平成24年度事業報告並びに平成24年度収支決算及び監査報告承認に関する件、第2号議案：役員の一部改選(西平綾太事務局長・飯田政信理事)に関する件、 第3号議案：平成25年度事業計画(案)並びに平成25年度収支予算(案)承認に関する件、第4号議案：会則の一部改正(入会資格に社労士有資格者を加える)がそれぞれ審議され、満場一致で承認されました。

引き続き行われた記念講演では、大和リース株式会社　代表取締役社長　森田俊作氏(45期)より「モチベーションアップ戦略のポイントと仕掛け」と題してご講義いただきました。「意欲を意図的に引き出すより、下からの発信を上が挫かない仕組みが、モチベーションアップのポイントになっていくと考えるようになった。」と実践に基づく貴重な見識をご教示頂き、大いに感服するところがございました。

記念講演終了後に懇親会が開かれました。ご来賓の勝田理事長より、創立80周年記念行事が成功裡に終了したことと、100周年を視野に入れた次のステップアップに向けた取組みについてお話を頂戴しました。徳永学長からは、創立100周年に向けて、経済、経営系で「日本一の大学を目指す」という強い決意を語っていただきました。その後、税理士大樟会の檜垣副会長にご挨拶を頂戴し、飯田前事務局長(理事)の大阪会会長就任挨拶があり、次いで同窓会本部の中坪財務部長の高らかな乾杯の御発声でスタートです。懇親会には税理士大樟会の大山伸之専務理事も駆けつけていただき、貴重な発泡性の日本酒と焼酎をご恵贈いただきました。時の経つのも忘れる和気藹々の懇親会で、同窓の絆がいよいよ深まり、大いに盛り上がりました。締めくくりには坂口育生理事による中締めが行われ、税理士大樟会の檜垣副会長と社労士大樟会オブザーバー参加の浅香忠彦氏の両グリークラブOBによる先導で、学歌が斉唱される中、お開きを迎えました。

社労士大樟会では引き続き会員の募集を行っております。入会ご希望の方は、下記までご連絡下さい。　　事務局長　西平綾太(48回)

〒599-0212　大阪府阪南市自然田1915-37　西平労務事務所
TEL 072(472)2297　FAX 072(471)7226
mail:ayata@silver.ocn.ne.jp

大樟教育研究会

池川準人先生(61回卒)の講演に感銘を受ける

第13回大樟教育研究会を終えて

晩秋の青空のもと、新装なったD館を中心に、平成25年度も研究会が盛大に開かれました。北は北海道、南は鹿児島から57名のOB教職員、さらには学生諸君約50名が参加。広い会場は、ほぼ満席状態となり熱気にあふれていました。

開会行事のあと、全体会では多くの方々より要望のあった、滋賀県立八幡商業高等学校の池川準人先生(61回卒)をお迎えし、「夢を追い続けて」のテーマで講話を拝聴することができました。幼少のころから始めた野球を通して、中学・高校・大学までの数々のエピソードや人生観、先生の教育観が熱く語られました。その間に三度の挫折を経験され、高校時代に出会った恩師により人生を支えてもらい、大学でも魅力ある先生との出会いにより、野球の他にも学問の魅力や将来の目標であった教員志望の実現に向けての努力など、いくつもの高いハードルを乗り越え、現在は母校で野球の指導はもちろん、本来の勉強面でも手を抜くことなく「文武両道」のすばらしい指導ぶりに、参加者一同深い感銘を受けました。

私たち、教職に携わる者は、生徒(児童)の将来に大きな影響を与えることが多く、出会いを大切にすることはもちろん、つねに真剣に向き合う必要を痛感します。また、徳永学長のお話にもあった、「学生目線」での指導の大切さも肝に銘じておくべきでしょう。

三つの分科会でも学生諸君の活発な意見・質問に対し、OBならではの助言・体験談など、本学独自の有意義な交流がもてたものと思います。現役４名の合格者が出たものの、まだまだ努力不足の感もあり、今後ともOBとして出来る限りの後押しを続け"つながる力"を強力に推進していきたいものです。

会長　眞鍋一美(32回)

39年間の“表・裏”をご講演 ＝渡邉泉先生ご夫妻を囲んで＝ 第6回白水会総会・懇親会

白水会

平成25年1月26日（土）、大阪経済大学E館において、第6回白水会総会・懇親会が東京や九州など遠方からの参加を含め総勢74名が集い、3年ぶりに開催されました。

白水会は、39年間にわたり本学で教鞭をとられた渡邉泉教授のゼミと、先生が顧問をされていた税理研究会卒業生の合同の同窓会であり、2001年に結成され今回で6回目の開催となりました。

今回は渡邉先生が本年3月で定年退職を迎えられるにあたり、本学で先生と出会い、様々な場面でご指導いただいたことに感謝するとともに、渡邉先生ご夫妻を囲んで懐かしく語り合おうと企画されました。

総会は、溝内さん（40回生）の司会で始まり、市原会長（40回生）のご挨拶、ならびに現在は休会となっている税理研究会の剰余金の取扱いについて、母校の創立80周年記念募金への寄付等の提案があり、承認されました。

次いで大学職員（事務長室）の坂口達也さんより、大学の近況として、80周年記念事業、キャンパス整備計画、入試志願状況、就職状況、クラブ活躍等の報告がなされ、学生時代の校舎が建て変わる寂しさを感じつつも、大学の発展や後輩の活躍をうれしく思いました。

恒例の渡邉先生の講演に入りましたが、講演内容は、3月には大経大を定年退職されたということもあり、大経大勤務の39年間を振り返り、本学にご勤務されるに至った経緯や、先生が会計学、特に会計史に興味を持たれた背景、また学者として論文に取り組む姿勢や先生の会計史論の特徴のほか、ご結婚直後の新居探しの裏話など多岐にわたりました。

大学紛争が盛んであった大学院生時代の、全共闘委員長との気骨ある（極めて大胆で責任感あふれる）逸話や、友人の単位取得試験のために自腹で東京まで出かけて、2日間徹夜したエピソード。また、最初のころに渡邉先生が出版された本の表紙には実は奥様の“絵更紗”を取り入れられており、当初の奥様の原画には著者名や出版社名がなく、出版社からクレームがあったこと。

さらには小島男佐夫教授、泉谷勝美教授、辻厚生教授をはじめとする恩師・諸先輩との出会いやその先生方との学会出張時の夜行列車やホテルでの交流。昼の出前を取りながら教官室で先輩教授と会計史論の議論に明け暮れた日々。論文に対する先輩教授からの批評と激論の数々。新婚時代にはご自宅で、大先輩の高寺貞男教授と長時間に亘る緊張感の高い議論の結果、知恵熱が出てしまった話など、ユーモアを交えたお話の中にも先生の研究に対する情熱を強く感じるものでした。

また勤務時代の特に印象深いお話として、学長時代の創立70周年記念事業での多忙な日々や、学会活動、執筆活動、ゼミやクラブでの学生との旅行や酒宴の思い出話など、お話に熱が入って、いつものように予定時間を超過してしまいましたが、先生の誠実で一本気なお人柄を改めて感じました。渡邉先生、39年間本当にお疲れ様でした。

講演の後、出席者全員で記念撮影を行い総会は終了しました。

続いての懇親会では砂野君（42回生）の司会、千田さん（41回生）の開会ご挨拶、平岡さん（41回生）の乾杯のご発声により、和やかに始まり、再会を懐かしむ歓談の輪がいたる所にできました。

宴半ば、各年代別の近況報告に続き、市原会長より渡邉先生への記念品贈呈が行われ、栗原君（42回生）のリードで学歌・逍遥歌を全員で斉唱し、本学情報社会学部の小谷教授（41回生）ご挨拶、三好さん（41回生）の中締めと進みました。

渡邉先生は、大経大を去られますが、関西学院大学大学院に勤務される傍ら、引き続き日本会計研究学会監事として活動されるほか英文による出版準備もされるなど、益々意気軒昂です。参加者からも白水会存続の希望が多数寄せられたことから、新生“白水会“として改めて新会長に栗原君を指名し、3年後に渡邉先生ご夫妻ならびに白水会の皆さんとの再会を約して和やかにお開きとなりました。　田畑 宏（42回）

創部50周年パーティーに 140名が集まる

マンドリンクラブOB・OG会

平成25年9月21日（土）見事な秋晴れの下、大阪・中之島リーガロイヤルホテルにてマンドリンクラブ創部50周年の記念パーティーが開催されました。

大学からは勝田理事長、徳永学長、佐藤大樟会会長、竹中事務局長らの列席をいただき、総数約140名のOB・OG及び現役生が集まりました。

第1部はクラブ伝統の学歌演奏で幕を開け、ご来賓の方々の祝辞、佐藤大樟会会長と我がクラブの本当の意味での出発点である第1回定演のメンバーによる乾杯でスタート。第2部は第1回定演指揮者でもあり、現在フラメンコ界でも大活躍されています「東仲一矩氏」によるフラメンコ舞踏。次いで、3人の歴代技術講師による思い出・苦労話の後、現役生によるマンドリン演奏「夜曲」で会場は盛り上がりました。最後に、中島OB・OG会長による「今年10月19日、国際交流センターでの50周年記念定演にOB・OG全員が参加し、みんなでお祝いをしよう！」の力強い挨拶があり、伝統の閉会曲「第2応援歌」演奏、そして参加者全員で一つ輪になり、肩を組み「逍遥歌」を大合唱。100

周年への決意新たに散会しました。

会長　中島隆之(45回)

自転車部創部55周年の感謝

自転車部OB会

自転車部創部55周年OB総会を、7月20日に母校同窓会ホールで開催しました。

望月学生部長、下垣大樟体育会会長らのご臨席のもと、34名のOB·OG、現役学生を加えて総勢60名の盛大な記念総会となりました。

総会では役員改選などすべての議案が満場一致で承認されました。

続いて懇親会では、各年代のOBから厳しく辛かった練習の思い出などが語られる中、若手OB 2名(東中、田村「H9卒」)が登壇、漫才を披露しました。

コンクールにも入賞した実力の持ち主で、彼らの登場で大いに盛り上がり、親睦を深めることができました。

ところで、自転車部も幾度かの難局がありましたが、部創設者の故前川正博先輩の生涯をかけた情熱、若いOB・OGらの活躍に支えられ、55周年を迎えることができました。

これも大学及び同窓会本部の方々をはじめ関係各位のご指導、ご鞭撻の賜物と深く感謝しております。

今後ともよろしくお願いします

阪口 昇(39回)

健康第一に母校を支える

23期生会

私達が昭和32年3月に卒業してから平成25年で56年目になります。2月17日(日)に母校学生会館で開きました今年の集いは29回目となり、20名の23期生が出席されました。

皆様のお元気な姿を拝見し、色々と話し合いをされているのを拝見し、皆様が健康に気をつけていろいろと活動をされておられる事がよく分かりました。

来賓としてご出席いただいた崎田洋一事務局長から、大阪経済大学の現況と今後の計画等について色々お話をいただき、新しい取組みをしておられる事がよく分かりました。竹中 亨大樟会事務局長からも大樟会の現状と活動について色々とお話を聞き、私達も今後自信をもって頑張っていきたいと思います。

これからも、私達にとっては何よりも健康第一です。お互いに健康には充分注意をしてやっていきましょう。

また平成26年2月16日(日)には母校の同窓会ホールで楽しくお会いしましょう。お待ちしております。

酒井弘光(23回)

“あの時は面白かった” 今年も8名が青春時代へタイムスリップ

27期生会

2013年も澱江27期会(昭和36年卒)のお元気な面々8名が、暮春の4月19日(金)ホテルモントレー(大阪市北区)に揃いました。昭和36年の卒業ですから、実に今年で54年になります。昨年創立80周年を終えた母校の長い歴史に、今改めて感慨深い思いを皆さん感じられておられます。

出席者は、会長格の角本喜八郎さん(池田市)、車野修三さん(泉佐野市、現泉南支部長)、角田喬計さん(阪南市)、土屋徳治さん(阪南市)、岸野光雄さん(高槻市)、初参加の梶原晁さん(柏原市)と野田寛さん(豊中市)。当会事務局長の神代憲治さん(尼崎市)。

話題はいつもわが身の健康から始まり、学生の頃の思い出話になるとやはり皆さん「そーや、そや、あの時は面白かった」「喧嘩もあったしな」。大きく変わりゆく大学へは「やはり我々がおったからこそ今があるのとちゃうか」。「あの先生は今も元気かいな」。次第に話題は政治、経済から大阪の街論へと広がり、利害損得のない同期会は、青春時代へしばしタイムスリップ。「あの時のお前がここにいるンや」。「そうや」。予定の時間はあっという間にきます。

最後に、角本さんが「今回初めての方が2名来られた。これからも一人でも多くの方に参加していただくために元気にこの会を続けていこう」と締められ、次回も平成26年4月18日(金)同じ会場で会おう、と皆さん約束をされました。

広報部長　平田義行

平成26年は岡山で開催　三十五期会

35回同期会

経大三十五期生の同窓会を大阪で開く様になって、今年で4回目になるかと思います。 開催のキッカケは、毎年5月の支部長会で熊本の濵さんと知り合い、また昔からの友人であった髙本君が但馬の支部長となり、支部長会で会う様になりました。その席で濵さんから、「35期だけの同窓会をしょう」という相談があり、とり合えず大阪在住の方や、寄れる人だけでもと同期会を開くことになりました。その後口コミで、昨年は18名の方が、今年は5月25日の土曜日に、14名で大阪のホテルモントレ大阪で開催しました。寮仲間とか、ゼミの仲間が集まり、昔話に花が咲き、40数年の空白が一瞬にして蘇ってくるようでした。来年は岡山で開催しょうと話がまとまり、名残り惜しくも散会しました。

幹事　小野 隆(35回)

新会長に植村亮介氏を選出
平成25年度　柔道部OB会総会・懇親会並びに現役学生歓送迎会

柔道部OB会

平成25年3月20日(祝)、午後0時30分から、大阪経済大学同窓会館7階の同窓会ホールにおいて、吉田文雄相談役(24回卒)、逸見学相談役(26回卒)をはじめOB、来賓、現役学生60名が集い、平成25年度の柔道部OB会総会・懇親会並びに現役学生歓送迎会を開催した。

司会の石橋和幸事務局長(29回卒)が総会の開会宣言、OB会員の物故者に対し黙とうをささげたあと、下垣恒彦会長(36回卒)から開会の挨拶とともに、総会議事に入る前、3期9年を務めた会長職を勇退したい、と述べた。

会長勇退に関し審議した結果、まず、会長立候補者の有無を確認したが申し出がなかったため、会長選挙を行うことを承認、選挙の結果、植村亮介君(41回卒)を次期会長に選任した。植村新会長から、下垣前会長の「威風堂々」とした振る舞いを継承しつつ、大阪経済大学の「つながる力、No.1」をモットーに、OB相互の親睦を深めるとともに柔道部の発展に微力ながら貢献したい、と就任あいさつがあり総会議事に入った。

議事は、24年度事業報告、会計報告、監査報告、25年度事算案、予算案について各審議をした結果、いずれも異議なく承認された。

議事終了後、柔道部の現状について安田太監督から、これから活躍が期待できる新入生も加わりこれまで以上の戦績も期待ができる、と報告があった後、内田正副会長の閉会の辞をもって、総会は終了した。

引き続き、OB懇親会並びに現役学生歓送迎会に入り、大橋部長、西岡名誉師範、有川師範、竹中大樟会事務局長から、卒業する中井、高月、柳川、植松、細川の5名と藤田、椹木、浅井、中川の4名の新入生へ、これからの活躍・健闘を祈念するというお言葉をいただいた。

卒業していく学生からは、社会に出ても今まで培ってきた経大魂を発揮して邁進する決意が述べられた。また、新入生からは、一生懸命練習し、レギュラーの座をつかみたいとの抱負が述べられた。

懇親会では、乾杯を小林肇先輩(33回)の音頭で行い、歓談後、上地賛平先輩(32回)の万歳三唱を行ったあと、学歌、逍遙歌、柔道部遠征歌を斉唱し、佐々栄治副会長(34回卒)の閉会の辞をもって無事閉会した。

事務長　尾崎義廣(38回)

山本俊一郎准教授が部長に復帰
日本拳法部OB会総会

日本拳法部OB会

平成25年2月9日(土)梅田お初天神「鳥よし茶屋」にて平成24年度OB総会が開催されました。前年に創部55周年記念OB総会を開きましたので、参加者はOB 11名、学生20名となりました。山田副会長(議長)の進行で、山本会長の挨拶、拳法会の近況報告、学生連盟の状況報告があり、役員改選については全員が再選されました。山本会長から2年後の改選には若返りを図るように指示がありました。新たに常任理事に16代宮崎、24代田中、29代古隈の3氏が就任致しました。

留学先のポーランドから帰国され部長に復帰された山本俊一郎先生にご参加頂き、日頃、熱心に協力して頂いているOB会理事と大学、OB会、現役学生三位一体となって、日本拳法部の発展のため西日本大会1部リーグベスト4を目指すことを決定しました。その後、新卒業生のOB会入会式があり、山本会長からOB会バッチが贈呈されました。

新会員を含め若手OBの練習への参加、四段を取得して拳法会審判団へ入団する事。OB会が全面的に現役学生を指導、育成、援助していく事、その他4年後の創部60周年記念式典を盛大に開催出来る様に、若手OBの活動が積極的になるよう各代リーダーを再確認して、連絡網の確立が決議されました。

会長補佐　沼田悦男(37回)

金剛山でカモ鍋をつつく

経翔会
(ワンダーフォーゲル部OB会)

平成25年度経翔会(ワンダーフォーゲル部OB会)総会は6月15日～16日にかけ会員諸氏が現役の頃いろいろ思い出のある金剛山の“村営香楠荘”にて開催しました。今回の出席者は30名で例年よりやや少なかったですが、四国や千葉の遠方からも参加された会員もおられました。

6月15日は午後3時より総会。国西顧問、牧田会長挨拶のあと議事審議に入り午後5時40分に閉会いたしました。6時からは夕食、名物「カモ鍋」をつつきながら懇親会に入り8時過ぎ逍遥歌にて一応終了、その後は各自各部屋で2次会を催した様子。翌16日は8時朝食、10時より金剛山頂まで徒歩約40分、山頂には日曜日とあって多くの登山者が押し寄せ写真撮影や昼食を楽しんでおりました。我々も山頂にて記念撮影、昼食後解散となり25年度経翔会総会は無事終了いたしました。

会長　牧田征雄(31回)

会員も500名を越える

徳永ゼミ・野風草会

昨年3月に卒業した24期生で、野風草会は500名を越えました。2人のOGの結婚式に出席しました。いずれも相手は、同じクラブのOBでした。祝辞で、子供さんが出来たら、両親がOB・OGなんやから必ず大経大に入学させて下さいと述べました。5月には、東京でOBたちを集めて同窓会をしました。卒業以来20年ぶりのOBもいて、和やかに歓談しました。劇団四季で活躍するゼミ生がちょうど大阪で公演をしていましたので、同期生が集まって激励会もしました。大樟祭のホームカミングデーには、第5回の野風草会をしました。10数名が集まって、新しいD館のゼミ室で屋台を終えた4年生たちと懇談し、終了後は近くの居酒屋で2次会で盛り上がりました。

学長　徳永光俊

“創部60周年史を今秋発行”
硬式庭球部ＯＢ総会

硬式庭球部OB・OG会

5月26日12時より、総会を開催し、今回の議題は創部60年史を作成することを参加者全員の賛同を得ました。これからの世代に残したいと全員の思いが一つになり、総会を終了しました。当日はOB戦を朝から現役と一緒に終日楽しみました。

会長　秋山治信(37回)

上新庄駅前で懇親会

邦楽部OB会

邦楽部第4回OB会総会を平成25年4月6日(土)午後5時より本学J館で、さらに午後6時より懇親会を阪急上新庄駅前の居酒屋で盛大に開催しました。今回は新年度(新学期)早々のさらに足元の悪い豪雨の中、現役部員を含め出席は10数名でありましたが出席者のみなさんにOB会役員一同心より感謝申し上げます。特に関東さいたま市より初参加の第6代T君には遠くよりありがとうございました。

OB会総会では冒頭に恒例の住田名誉会長と尾上会長による尺八演奏のあと、(1) OB会規約の一部改正(慶弔の追加) (2)平成24年度事業報告及び決算報告 (3)平成25年度事業計画案及び予算案が会長より報告があり満場一致にて承認されました。

懇親会は阪急上新庄駅前の居酒屋で初の学外開催となり雰囲気も変わり、乾杯のあとOB・OG出席者全員による部活の思い出や近況報告等が和やかにありました。現役第48代幹部からは恒例の秋開催の第47回定期演奏会「響」の来場依頼の案内がありました。

楽しい3時間の懇親会があっとの間に過ぎ名残りを惜しみながらの解散となりました。次回邦楽部OB会は平成26年6月上旬とし、再会を約束し閉会としました。　会長　尾上眞己(36回)

同窓会ホームページもご覧ください!

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、HPを作成しています。年間行事予定などがあり、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。ご活用いただき、ご意見ご感想をお寄せ下さい。

HPアドレス
http://www.osaka-ue-denko.com

空手道部OB総会開催
1部昇格を全員で目指す

空手道部OB会

平成25年度OB総会を4月27日(土)に50周年記念館7階同窓会ホールにおいて開催する。

午後1時よりOB総会は佐藤武司OB会長の開会挨拶で始まり、2012年11月10日(土)に、関西学生空手道連盟関係者はじめ、大阪経済大学関係者をお迎えし、盛大に開催出来た創部60周年記念式典、祝賀会の総括及び24年度の事業報告、会計監査報告があり、いずれも異議なく承認された。

続いて25年度事業計画案、事業活動報告があり承認された。議題の内容は1部昇格であり、監督を核に指導体制を見直し、現役諸君が自ら考えて行動する事が肝心であること、全部員が練習時間に参加できる方策、幹部から1回生が一丸となり、意思疎通を図り、1部復帰する事を確認しました。

総会終了後、体育館で現役諸君の練習に合流したあと、50周年記念会館に移動し、懇親会に移りました。OBと孫の様な現役が一緒になって30数名が歓談し、和やかな楽しいひと時が始まりました。

懇親会では、2013年10月6日に開催される第56回関西学生空手道選手権大会で、2部優勝するには日々の練習内容と現役部員の意識改革が急務であることを感じた。

夏の強化合宿から全力で強化練習を行ない、2部優勝を目指して頑張ると現役の決意を確認し、最後に学歌、逍遥歌を斉唱して前田尚二副会長の閉会の挨拶で閉会した。

幹事長　與世田正雄(34回)

野上友一氏（常翔学園高校ラグビー部監督）を招き講演会、激励会を開く

ラグビー部OB会

平成25年9月8日（日）学生会館にて本学ラグビー部の激励会が開催されました。この激励会は、OB会と父母会の共催で現部員の慰労と激励を兼ねて開かれました。

大学から徳永学長ならびに望月学生部長、学生本部田淵会計補佐、大樟体育会下垣会長らが列席され総数85名の関係者が集まりました。

第1部は本学の卒業生でもある常翔学園高校ラグビー部監督の野上友一氏（50回卒）を講師としてお招きし現部員へ講演をしていただきました。講演内容は、ラグビーのルーツからご自身の指導方法やチーム内のコミュニケーション作りなど約1時間にわたりお話をされました。

第2部の懇親会では下垣会長の乾杯のご発声で始まり、各年代OB諸氏からの暖かい激励の言葉や今シーズンに望む部員の決意表明を行いました。

かって大経大ラグビー部は関西大学Aリーグに所属しており、OB会・父母会としては、Bリーグ入替戦に出場し近い将来、Aリーグ復帰を強く望んでいます。

今回の野上監督の講演が部員達への起爆剤となり今シーズンの活動に役立つものになればと願います。

事務局　森岡良介（45回）

35～38回卒12名が大阪樟葉に集う

珠算研究部OB会

平成25年10月19日（土）第35回～38回卒業生12名が大阪府枚方市樟葉「かごの屋」に集合。苦楽を共にした4

学年を対象にOB会を開催しました。

珠算研究部は53回卒業生を最後に廃部になりましたが、現在も珠算に関係した職業に就いてる者も何人かおり、今回参加者の当時を熱く語る言葉にも珠算の根強さを感じました。大学の珠算部員といえば全員有段者と思われがちですが、今回改めて参加者からの聞き取りでは有段者6名、有級者5名、無級者1名。特筆すべきは有級者全員が3級という驚くべき事実でした。

当時の珠算検定の内容は基本的に①見取り算②掛け算③割り算④暗算⑤伝票算でしたが、部員が心を一つにして真剣に算盤をはじいたのは「読み上げ算」でした。上級者は余裕を持ち、下級者は必死についていこうとする、その姿はみな真剣そのものです。その後は、入部の動機についての話に花が咲きました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、校歌・逍遥歌斉唱のあと来年は香川県琴平町こんぴら温泉での再会を約束し二次会と帰宅組に別れ散会となりました。二次会組はかごの屋より徒歩15分の山路君宅を貸与頂き、8名が昔の楽しい話やエピソードに花が咲き想い出を語り合いました。　坪田敏夫（36回）

人生は気合で勝負！人生を楽しく！

とりあえず34期会

D館8階での大樟会懇親会の後、場所を同窓会ホールに移し、「とりあえず34期会」を開催しました。第3回目となる今年は卒業後45年の節目の年になり、23名が元気に集いました。岐阜支部長の司会で始まり、合氣道部出身の淡路島洲本市長による高らかな乾杯の音頭でスタート。既に大樟会懇親会で皆さん出来上がっており、リラックスした中で昔話に花が咲き、笑い声があちらこちらであふれています。

出席者全員の近況報告を交えた自己紹介が始まりました。癌と闘病中にも拘らず、昨年同様に奥様とともに車椅子で出席してくれた友の、前向きに生きようとする強靭な精神力とその気迫に、現在も現役社長で頑張っている九州の友、北の地で教師をしたいとの希望を持ち経大に入学して教員免許を取り、見事若き青春の思いを遂げた友、鬱病になり見事立ち直った友、奥さんを亡くしたが、再婚し元気になり今は猫と、子犬と一緒に飼ってる少し寂しい友、シルバーセンターでアルバイトで働く友、趣味の旅行、ボランティア活動に励む友等々のこれからの人生に参考になる体験談が披露されました。「人生は前むきに気合だ！気合だ！」と「楽しく」の思いが皆さんに共通して言えます。

3時間の同期会は、あっという間に過ぎ最後はいつもの学歌と逍遥歌を全員で声高らかに歌い、「フレー、フレー経大、フレー、フレー経大」のエールでお開き。今年も経大の「繋がる力」の心を感じつつ、来年も元気に出会えることを約束して北は北海道、南は鹿児島へと帰って行きました。

34期の皆さん、この記事を見た同期生は来年には「気合で」是非とも参加して下さい。楽しみに待っております。人生に乾杯！押忍！

世話人代表　與世田正雄（34回）

広島県宮島に30名が集まる

第5期寮友会

第5期寮友会の皆さま、ご健勝のことと存じます。

今年の通算第4回5期寮友会は、平成25年10月27日・28日の両日、広島県

の宮島で開催しました。

当日は台風一過、秋晴れの中、全国から総勢30名のOB達が集い、和気あいあいと、いろいろな話をしながら、夜遅くまで語りあいました。

宴会の中では、お酒が進むにつれ、皆さんの現在の状況や、奥様達の紹介もあり、お酒が足りなくなるほど盛会となりました。

来年は北陸・和倉温泉で開く予定です。

最後に今回、開催にあたってご尽力いただいた幹事様はじめ、母校大樟会様にも暖かいご協力をいただき、紙面をお借りして感謝申し上げます。

角野迪彦(35回)

OB会の入会お待ちしています

Ⅱ部軽音楽部OB会

私たちはⅡ部軽音学部OB会です。私たちの現役時代の仲間も音信不通の方が多数おられ、なんとか連絡を取りたいと思いますが、離れてしまうと難しいものです。皆さんの卒業後は今の状況がいつまでも続く保証はなく、せっかくの楽器も5年後、10年後は埃にまみれ、気がつけば定年退職がまじかに迫っているかもしれません。学生時代、苦楽を共にしたクラブ仲間も卒業後は連絡が途絶え、懐かしい部室にいっても知らない顔ばかりではとてもツライですね。当会はOB会員の親睦、現役生の受け皿、同窓会との交流、消息不明の方や物故者家族への受け皿、Ⅱ部軽音学部の資料の保管や配布などを目的としています。ぜひOB会に入り、これからの人生を楽しみましょう。

連絡はお電話で。06-6384-6260

宮林 誠(40回)

2014年、米寿の方のお祝いを

14期生同期会

平成25年11月11日(月)、新阪急ホテル有馬に19名が集まり。おいしい料理と楽しいオシャベリで充実した3時間をすごしました。ここ数年身体の故障で出席者が減る状況です。私どもの学年は、昭和20年(戦争末期)に入学、この年は旧制女学校4年卒と5年卒が同時卒業のため、同学年で年齢に3才の幅があります。来年、年長者が米寿(88才)を迎えるので、それに合わせてみんなで米寿のお祝いをしようということになり、大いに盛り上がりました。

柴田悦子(14回)

今年も「ひでよし」で

29回同期生会

1963年の卒業から50年が経ちました。29期生会を今年も大樟会総会終了後、大学近くの居酒屋「ひでよし」で開催しました。毎回の参加者、久しぶりの参加者、初めての参加者等で今回は20名が集い、一献を交わしながら朋友と学生時代の語り口で語り合い、楽しい一時を過ごし、お開きは応援団で活躍した永田雅生、光畑滋両君の指揮により学園歌と逍遥歌を斉唱し、一年後にこの場所で元気な姿で再会すことを誓いお開きとなりました。

欠席通知の中で50名の方からは近況報告を頂きましたが、29期生会に行きたいが病気療養中、体調不良で参加出来ないのが残念との内容が多くあり、早く全快して元気になられ、来年は会えることを祈るばかりです。

現在、住所が分かっているのは257名です、多くの同朋に同窓会・同期会に参加してもらうには、互いに親しかった友に、近いエリアの友に「行こうや」と誘い掛けをすることが必要と思います。　　幹事　米村紀代孝(29回)

祝！古希　めざそう米寿

32期生会

早いもので、この集まりも5回目を迎えました。今年は真新しいシンボル棟となったピッカピカのD館で大樟会総会を終え、会場を変えました。今年は初参加の方12名を含む35名が一堂に集まり、あちこちで「よう、久しぶり！」「元気か？」の声が飛び交うなか、まずは記念の写真撮影、さらには名簿や記念グッズの配布を終えました。初参加の方より自己紹介・近況報告となりましたが、「古希のお祝い」を兼ねていたためでしょうか、話題は「健康」であったように思われます。

大病を患った方、先日まで入院していたという方、健康診断が怖い方等々、みんな70歳だから、どこか悪かって当たり前で一件落着。自己紹介が終ったころには、すでに閉会寸前。いつものことながら「喋るわ、喋るわ・・・！」(実はこれが健康にいいとか)まあとにかく元気な同期でした。

次回は、友達を誘ってこよう、記念樹を植えよう、文集を出そう、郷土の銘菓を持ち寄り交換しようなど、好きなことを言いたい放題、そしてまとめ

は竹中幹事長に丸投げということでお開き。にぎやかな32期生会でした。

まだ参加されてない方、次回はぜひ！みなで待っていま～す。

幹事　眞鍋一美(32回)

バドミントン部創部60周年記念式典
バドミントン部OB会

平成25年11月9日(土)大阪心斎橋のホテル日航でバドミントン部創部60周年記念式典を行ないました。大学からは勝田理事長、下垣大樟体育会会長、望月学生部長、バドミントン部部長の山本経済学部長、蛭谷体育会本部長、高校からの先生も列席いただき、総数74名のOB、現役生が集いました。OB会の西村副部長が開会を告げ、OB会葛輪会長の挨拶をいただきました。次いで勝田理事長、下垣大樟体育会会長からお祝いの言葉をいただき、祝電披露、今回参加OB最年長の北田浩之氏(昭和33年卒)が乾杯。式典はいっきょに盛り上がり、田島監督よりクラブの近況報告、現役生の自己紹介の後、全員が一つの輪になり、肩を抱きあって「学歌」を大合唱、OBによるエールがあり、それを受け、OB会川前副会長より、10年後に再度式典を行う、次回OB会は平成26年5月25日(日)大学にて行う、キャンパスが整備された大学を再度見に来てほしいと挨拶。再会を約し閉会した。　田島裕司(46回)

創部45周年式典、盛大に開く
少林寺拳法部OB樟拳会

少林寺拳法部は、創部45周年を迎え本学同窓会ホールにて、平成25年11月16日(土)記念式典を開催いたしました。

式典には大阪経済大学徳永学長、佐藤大樟会会長、下垣大樟体育会会長、望月学生部部長、体育会本部より3名の方々にご臨席いただきOB関係者共々盛大な懇親の場となりました。この式典を開催出来ましたのも、創部当時よりご支援いただきました学内関係者、同体育会、他クラブの方々のご協力のたまものであると心より御礼を申し上げます。

会は、来賓の方々よりご祝辞、歴代の顧問および監督からのお祝い・激励をいただき、乾杯の後は昔話や現況報告などで歓談が盛り上がり、現役による演武披露に続いて創部からの思い出を編集したスライドショー上映に至り会場は一つとなって大いに歓声が湧きました。

閉会後は現役主将の案内で新装なった新校舎の見学をさせていただき、見違えるような設備に久しぶりに訪れたOBは目を丸くしておりました。

私たちは「半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを」の教えに基づき今後ともより一層精進し、5年後に控えます創部50周年をより盛会に開催出来るように「つながる力」の発展に努めてまいります。　会長　三宅正剛(39回)

地域巡回同窓会を岡山で開催
園田ゼミ「樟々真情会」

昨年から各地域出身の担当による巡回同窓会を企画。その第1回目を平成25年5月25日(土) ～26日(日)に開催致しました。今回は塩尻・粉川の岡山出身両氏が地元の方々も探索しない岡山の名所旧跡案内で心のこもったおもてなしをされ、素晴らしい観光を堪能しました。

夜の懇親会は金井・粉川両君によるギターウクレレの生演奏で全員が45年前の青春時代に戻り、歌い・飲み・笑い・久し振りにお互いの人生の年輪を確認する事が出来ました。大経大の昭和の戦友すなわち仲間は"人生のほっとする樟の爽やかな木陰"である事を全員が心に刻み、次回26年5月の開催地「滋賀県(柴崎・古株氏担当)」での再会を楽しみに岡山にて解散致しました。

代表幹事　門永久彦(35回)

新会長に木岡良郎(36回)氏を選出
硬式野球部OB会

平成25年2月16日、今回は新フェスティバルホール(大阪市北区)の大湖で、平成25年度OB会を開催。大国幹事長代理の開会宣言と司会で議事に入る。まずOB会員物故者のご冥福を祈り黙祷の後、内田会長を議長に選出、内田会長の挨拶に続き、深谷幹事長から平成24年度事業報告、岡崎監査から会計報告、監査報告があり、いずれも出席者全員に承認された。引き続き、平成25年度役員改選に入り、木岡新会長、松崎副会長、富永副会長、田中副会長、河野幹事長が選出され、木岡新会長の議長で平成25年度事業計画、会計計画の説明が河野新幹事長よりあり、原案通り承認された。この後、赤井監督より「リーグ戦優勝」を合言葉に日々猛練習に励んでいるとの報告を受けた。親睦会ではOB会として、この歴史ある硬式野球部の益々の発展と現部に対する支援体制の強化とOB会員の交流、親睦をより一層深めることを誓い、大場顧問の締めで幕を閉じた。

会長　木岡良郎(36回)

50th おかげさまでクラギ株式会社設立50年

豊かなみのりにご奉仕する

農業と園芸、家庭菜園の専門店

農業と園芸 農業屋

つくる人とたべる人をつなぐ直売所
農家の産直市場 みのり

日本全国からご注文いただけます。
家庭菜園と農業用品の通販サイト
農業屋.com
http://www.nogyoya.com

クラギ株式会社
三重県松阪市川井町花田 539
電話：0598-26-1111（代）　FAX：0598-26-1113（代）
ホームページ　http://www.nogyoya.jp

ガンバレ 経大ラグビー部！

ACE GUARD SINCE 1992

あらゆる生活シーンで安心と安全を提供したい
それが私たちエース警備のテーマです。

株式会社 エース警備保障

本社　〒660-0815　尼崎市杭瀬北新町4丁目9-7　TEL 06-6481-0055　FAX 06-6481-0011
支店　大阪・神戸　URL：www.ace-guard.com　ISO 9001 認証　S55卒 ラグビー部　河内　龍澈

生活の快適創造

人間と自然のあり方をテーマに
豊かなアウトドアライフの実現に貢献する

ホームセンター カンセキ HOME CENTER kanseki

WILD-1 OUTDOOR LIFE STORE

http://www.kanseki.co.jp/ カンセキ 検索

株式会社カンセキ 栃木県宇都宮市西川田本町3丁目1番1号　TEL 028-658-8123（代表）

お世話になった先生からのお元気なお便り

（敬称略・順不同）

教員生活に終止符

重森　曉

2013年3月末をもって、大阪経済大学を定年退職しました。高知大学での11年間をふくめ、40年間にわたる大学教員生活に終止符をうつことになりました。これもひとえに、ともに学んだ学生諸君、公私にわたって支えていただいた教職員、同窓会のみなさんをはじめ、大学関係者の方々のおかげと、深く感謝しているところです。ありがとうございました。

退職後は、自宅で悠々自適といったところですが、いくつかの研究会には出席して、勉強はつづけていくつもりです。なによりも、時間的に余裕ができたので、これまで読めなかったようなものを、じっくり読むことができるのが幸いです。

デモクラシー：諦めない強さ

稲場　紀久雄

6月18日、衆議員本会議場。「ぎちょー」。甲高い声が響き渡った。水循環基本法案を議案とする緊急動議が出された瞬間だ。議長は、「総員賛成」を宣した。この7年間、成立を願い続けた基本法案は、いとも簡単に衆議院を通過した。6月26日参議院国交委。私は、委員会室の側で開会を待ち続けた。議運委はこの間に問責の上程を決め、本会議はこれを決議した。その瞬間、参議院にある法案は全て廃案になった。8月2日、水制度改革議員連盟総会は、基本法案再上程の方針を決めた。どんな事態にも諦めない強さだけがデモクラシーを支えている。

（2013年8月20日記）

ライフアイゼン博物館

田渕　進

真夏の盛りに避暑を兼ねてドイツへ旅行した。ボンから東へ車で約1時間のハムにあるライフアイゼン博物館を訪ねた。ライフアイゼンは農村信用組合生みの親である。産業革命の最中多くの農民が窮乏に陥った。農具・家畜・種・肥料等の買付に必要な貨幣は高利貸に依るしかなく、借金の返済ができず財産を失った。凶作の時にはその日のパンも事欠いた。町長役もした彼が考え付いたのが貸付金庫組合やパン組合であった。その背後にある自助・協力・平等の精神は今日の協同組合に根付いている。視力を失ったライフアイゼンは娘の助を借りながら一生協同組合組織のため働いた。国の支援制度のない時代に自らの力で組織を開拓した彼の心意気が感ぜられた。

巨（おお）きくなった元ゼミ生

上島　武

50にもなった大の大人をつかまえて大きくなったもないもので、第一、失礼な話だが、先日、ちょっとした機会があって久しぶりに私の書斎を訪れてくれた元のゼミ生、Aさん、Bさん、Cさんの3人と話をして本当にそう思った。しかし矢張り「大きくなった」はおかしいから、本来そうは読まない巨の字をあてることにする。当然話題は学生時代のことを中心に尽きることはなかったが、たまたま「今を時めく」評判の人物が話題にのぼった時、Aさんがしみじみと言った。あの方は自分の仕事ではなく自分の事だけを考えている、いずれそのうちに・・・。果たせるかな、この人物の口から世にも稀な醜言が飛び出したのはそれから半年もたたないころであった。

日本は大バクチに勝つことができるか？

松原　和男

満80歳になりましたが、先ずは元気です。このところ、本業の経済変動のほか、自然科学の分野にも関心をもっています。

東日本大震災は福島の原発に大きな被害をもたらした。地震国である日本では原発は無理だ、直ちに廃炉すべきだ、という声が出てきても不思議ではない。

しかし、経済・経営の観点からすれば、原発にはこれまでに数兆円の投資がなされているが、これがすべて失われる。さらに、廃炉には巨額の費用と時間が必要になる。原発に代わる原油・天然ガスの高騰、再生可能なエネルギーのコストも大きい。日本経済にとって大打撃になる。

とすると、東南海トラフの大地震がここ数十年間起きないことを願って、原発を続けるか。大地震が、起きるか起きないか、これはバクチである。日本はこの大バクチに勝つことができるだろうか？

老いを生きる

山本　晴義

緑の宝塚の山の中を散歩していて、突然、足の力が抜けた。2011年6月末だった。気がついたら市立病院のベッドにころがっていた。腎臓だった。現役の時から元気なことを自負していた私は80周年記念をめぐってにぎわう大阪経済大学の図書館・研究室・・・・に出入りできなくなってしまった。

先日米寿を迎えて、1980年頃から同僚の先生方、ゼミ生、卒業生らの要望、協力があって、毎月、大学や職業を超えて一般市民の日常生活の生き方を、自由に語り合うサークル「大阪哲学学校」が30周年に達し、会員の卒業生も世代を超えてひろがっている。今、私は顧問としてベッドの上で、“平和”のために、ともに歩んできた楽しい顔を想いうかべています。

ミャンマーを旅して

永野　仁

2013年4月下旬、ミャンマー(ビルマ)に旅した。4泊5日の駆け足旅行である。

驚いたのは寺院の大きいこととストウパの多さだ。どこででも、ぐるりと見渡せば20や30のストウパが目に入る。日本語では仏舎利塔という。本来お釈迦さまの骨を安置したが、今はこの国特産の宝石を用いるそうだ。奈良の大仏より大きい大仏がある。何しろ90パーセントが仏教徒の国である。

貧富の差ははなはだしい。寺院の入口には乞食がいる。子供の物売りがいる。たいていの子供は2か月から2年間、僧院に入って修行をする。毎日托鉢に出る。そこで「喜捨」の精神をしつけられる。乞食にもやさしく、あまり物を乞食に与える少年もいた。

お気軽にご相談ください

大阪経済大学生活協同組合
〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10
TEL.06- 6379- 2230 Fax.6379- 2232　URL.http://OK.osaka.coop/
e- mail Osakakeizaidai.Coop@ma4.seikyou.ne.jp

オフィス創りの総合商社
文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具
どんなことでも NIKKOへ！

NIKKO
株式会社日興商会　代表取締役社長　藤縄 健一（第37回卒）

コクヨ製品取扱高全国 No.1

本　社　〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel. 06・6487・1401 Fax. 06・6487・1414　ホームページ http://nikko.bunguclub.co.jp
支　店　大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島　他

ゼミ短信 先生方からのメッセージ

（敬称略・順不同）

「徳ちゃん亭」を今年も出店

徳永　光俊

新しいD館が出来て、キャンパスの雰囲気もおしゃれになりました。大樟祭でファッションショーが開かれたのには、びっくりです。ゼミでは慣例となった屋台「徳ちゃん亭」を出しました。すべてを4年生たちが取り仕切ってやりましたが、塩焼きそばの味が良くて大評判でした。3日目は生憎の雨模様でしたが、1，2日目と同様に売り切れごめんとなりました。3年生は、3人がゼミ1グランプリに出場しました。兵庫県豊岡の柳細工職人、奈良県三宅町のグラブ職人、島根県の伝統芸能である石見神楽。残念ながら決勝には進めませんでした。2年生のゼミは始まったばかりですが、城崎温泉へ行ってきました。テキストは、本川達雄『生物学的文明論』です。（学長）

知的財産は経営戦略の中心

眞島　宏明

私は、一昨年（2012年）の10月に大経大に着任しました。したがって、私のゼミからの卒業生はまだいませんが、同窓生とのつながりが深い大径大ですから、今後、皆さんと顔を合わせる機会もあると思い、この「ゼミ短信」に寄稿しました。

私の専門は知的財産法（特許・著作権など）です。平成3年に弁理士登録し、以来十数年、大阪の特許事務所で仕事をしましたが、今から10年前に大学教員（岡山県の私立大学）に転身し、一昨年、大経大に移籍したわけです。

同窓生の皆さんの多くはビジネス社会で活躍していると思います。知的財産は、これからの経営戦略の中心といわれていますので、皆さんにも知的財産に興味を持っていただけるとうれしいです。

（経営学部・ビジネス法学科准教授）

ゼミ同窓生一同様

伊藤　正之

早いもので、私も赴任して20年となりました。ゼミ一期生の山岸君や山元君、どうしてますか？相変らずですか？オッサンになったでしょうか？時々ふっとそんな事を想うようになりました。先日偶然に母校の同窓会主催のBBQ大会に参加したからかもしれません。知った顔は数名だったのに居心地が良かったんです。ちなみに、経大に来るなら今年がいいですよ。キャンパス内の建て替えが進んで、50周年記念のE館の他は、旧D館が残るのみ。これも間もなく姿を消します。全くの別世界になる前に、名残を惜しもうではありませんか。是非、皆さんの御来訪をお待ち申しております。（経営学部准教授）

タテにつながる力をモットーに

三島　重顕

三島ゼミは「縦につながる力」をモットーに、2年生から卒業生に至るまで、学年や所属組織を越えた人間関係を育んでいます。2013年6月には卒業生も招聘した交流会を開催し、60名ほどの在学生・社会人が楽しいひとときを過ごしました。また、8月には丹後で2～4年生の合同合宿を行い、スポーツやBBQ、あるいは大部屋・バス内での歓談を通じて、同学年のゼミ生同士はもちろん、先輩後輩の関係も強めています。こうしたゼミ活動は、たとえば、4年生が3年生の就活指導をするなど、学年を越えた助け合いの雰囲気の醸成につながっています。卒業後、当ゼミの出身者同士が助け合い、励ましあって社会に貢献してくれることを願っています。（経営学部・経営学科准教授）

還暦を迎えました

土居　充夫

2013年6月に、60歳になりました。あまり実感はないのですが、2点変わってきたように思います。一つ目に、過去を振り返ることが増えてきました。私が本学に赴任したのは1990年。3年生のゼミを担当しました。この1期生はもう40代半ば、大事な仕事を任されて一生懸命働いているのだろうな、家庭との両立をちゃんとしているかな、などと考えるようになりました。二つ目に、涙腺が緩くなってきたかも。この10月に、卒業生の結婚式に招待されたのですが、若い二人のけなげな姿に、不覚にも目頭が熱くなりました。

ともあれ、私は元気で仕事に励んでいます。卒業生の皆さんもどうぞお元気で。たまに研究室を訪ねてくれたらうれしいです。

（人間科学部長）

人生を豊かにするため学んでください

古宮　昇

「大学でもっと勉強しておけばよかった」

卒業生たち何人かからそんな声を聞きました。でも今のあなたの環境で、勉強や成長の機会はたくさんあります。セミナー、講演、本、講座、通信講座・・・

ぼくはずっとずっとたくさん学び続けているし、これからもそうするでしょう。あなたにも、ぜひ、たくさん学び続けてほしいな、と思います。

仕事に役立つこと、お金のこと、趣味や楽しみをもっと広げるため、人間関係を良くする方法などなど、あなたの興味あることを、人生をどんどん良くするために、学び続けてほしいです。

（人間科学部・人間科学科教授）

「男前・美人」から「いい男・いい女」に

井形　浩治

今夏の日本は、「これまで経験の無かった」自然の猛威にさらされた。この夏、3年次ゼミ生たちと2つの貴重な体験を持った。1つは、所属する実践経営学会全国大会を8月末に本学で開催し、ゼミ生の助けのもと大成功を収めたこと。2つめは、9月中旬にゼミ合宿を沖縄で行ったこと。ゼミ生全員は、自惚れかもしれないが、勉学熱心でまじめで心優しい「男前・美人」揃いである。7年後の東京五輪開催期には、一人前の社会人であろう。「男前・美人」のままでなく、「いい男・いい女」になって欲しい。「いい男・女」は、「これまで経験の無かった」困難に立ち向かい続けることからつくられないか。「還暦」間近の私は、その日を楽しみに待ちたい。

（経営学部教授）

長い人生で深く翫味できる知恵を

戸部　真澄

今年で着任から3年目を迎えました。初年度に私のゼミに参加した学生が今年で4年生になり、来年3月にようやく卒業生を送り出すことができそうです。「すぐに役に立つものは、すぐに役に立たなくなる」とは、私の好きな言葉の一つで、教育においてもこのことを常々気にかけています。一過性の話題や資格試験等に即効性があるだけの知識ではなく、学生が卒業後長らく経った後で「そういえば…」とふと思い出し、深く翫味できるような知恵を。今年卒業していく（であろう）彼も、数年後あるいは数十年後のふとしたときに、ゼミで学んだ何かを思い出し、その時に、本学で学んでよかったと得心してくれたらいいなと思います。

（経済学部准教授）

大経らしさを身につけ、飛翔の時を待つ

吉野　忠男

巷では「ゆとり教育」の最後の学年が、現在、高校3年生と言われますが、本学の新入生の意欲、能力は年々上昇しているように思えてなりません。講義に際して、回答を求めたところしっかりした返事とともに熟慮の形跡がみられること、そして講義終了後も数人の学生が質問に駆け寄ってきます。本学で学ぶことに明確な目標があるのではないかと学生たちの逞しさに目を細める日々が増えております。それでもしっかりした回答は女子学生に多く見られ、遠慮がちな男子学生がややかすむ場面もあり、学生への期待と不安が交錯もしておりますが、学生たちは「大経らしさ」をしっかり身にまとい飛翔の時を待っているものと確信しております。

（経営学部准教授）

消費者行動の課題で議論を

小松　亜紀子

「消費者行動の研究」をテーマとして、ゼミ活動を実施しています。従来は量的データの収集・分析に関する演習を中心に行ってきましたが、仮説構築力に課題があると感じていました。そこで、今年度の3回生のゼミは、グループ毎にディスカッションをしながら、若者の消費行動の特徴に関する調査仮説の構築、仮説を検証するための質問紙作成、結果分析までを一貫して実施する予定で進めております。今年度から2回生向けに「マーケティングリサーチ実習Ⅰ・Ⅱ」もスタートいたしました。消費者行動に関する課題をお持ちのOB・OGの方々がおられましたら、是非学生とともに議論や調査などをさせて頂きたく、ご連絡をお待ちしております。

（人間科学部准教授）

ゲーテの詩『魔法使いの弟子』を読んで

六浦　英文

魔法使いの弟子が、老先生の留守に呪文を唱えて、箒（ほうき）に命じ、水槽に水を貯めさせる。箒はせっせと水を汲んでくるので、水槽から水があふれる。しかし、弟子は水汲みを止める呪文を忘れてしまう。家が浸水しても箒は動きをやめない。弟子は焦って、おので箒を真二つにするが、箒は二倍になって水を運びつづける。弟子は悲鳴を上げる。そこへ老師匠が帰ってきて、呪文を唱えて箒の動きを止める。弟子は、己を過信し、「完璧に制御できない」のに、箒を「稼働」させたのだ。

半減期二万数千年ともいわれる猛毒の放射性廃棄物を「隔離保管」する場所に困る地震多発国がある。もし、その国でこのような「弟子」が増殖するとしたら……。

（経営学部教授）

ジョギングと足腰の鍛錬の日々

黒坂　真

卒業生の皆さん、お元気ですか。私は11年くらい前からジョギングを続けています。7年ほど前に加古川市のフルマラソンに参加し、なんとか完走しました。その後も10キロ走やハーフマラソンに年一回参加しています。最近は文学に凝り始め、ブログに遠藤周作や井上靖、アルベール・カミュの小説の感想などを載せています。当初、ブログは北朝鮮や中国、左翼批判のものだったのですが、日々心に浮かぶことを書き留めておくことにしました。何事も修行と思っています。母校に来られる機会がありましたら、一声かけてください。在学生諸君に、各界で活躍されているみなさんの姿を伝えていきたいと思っています。

（経済学部教授）

テクノツリーのタブレットソリューションで、現場業務の効率化を支援！

XC-Gate エクシーゲート Standard .STD

Microsoft Excel を、タブレット画面にすぐ変換！

XC-Gate エクシーゲート Enterprise .ENT

スタンダードがさらに使いやすく大規模向に進化！

XC-mini エクシーミニ

図面に写真や文字、手書きなどができるペーパレスアプリ！

Technotree　株式会社 テクノツリー

［本 社］　〒674-0074　兵庫県明石市魚住町清水534番地の7　TEL：078-948-2300

⬇⬇ WEBからもどうぞ！⬇⬇
http://www.technotree.com

80周年記念募金のご協力に感謝
佐藤武司募金委員長2013年度理事会で謝意
大学院同窓会を「大樟会」と統合

2013年度理事会

平成25年度大樟会理事会が5月25日(土)午後からJ館で、理事総数189名中、出席101名、委任状提出49名の計150名で開かれた。はじめに昨年の物故者へ全員で黙祷を行った。ついで田村正晴副会長が全理事の総数が卒業1回から今年卒業の78回まで各卒業回を代表する卒回理事139名、支部・各種団体理事50名の計189名との報告があり、その中で今年選出された23名が紹介された。事務局から常務理事の菊川和義氏(59回)、二宮勉氏(65回)の辞任に伴い内田敏雄氏(39回)、伊藤和人氏(67回)の新任紹介があった。

「陶板」を大学へ寄贈

はじめに80周年記念事業募金委員会委員長を兼ねる佐藤武司大樟会会長は「80周年記念募金は一応3月末で終了しました。募金金額は現在2億6千万ですが最終的には3億円は超えると思います。この間、皆さん方には母校を支援するお気持ちとしてご協力頂き厚く御礼申し上げます。また募金の使い方につきましては「ご寄付頂いた方の意向に沿う」というお約束で、半分の1億5千万円は新図書館の建設、あと半分は学術・芸術・スポーツ振興基金の創設に振り分けるということで大学と詰めています。

大樟会からは80周年を記念して『80』の文字が無限大を表すデザインをイメージし、幅3600㎜、高さ2060㎜の陶板レリーフを制作し、大学へ寄贈します。内容は創生期の大学、活躍する現在のスポーツクラブ、大阪市内の景観、躍動する大学を樟の木に思いを重ねた美術モニュメントです。9月に竣工しますキャンパス計画最終のシンボル棟の正面に設置される予定です。デザインは壁面に貼っています予想図をご覧ください。また10万円以上ご寄付頂いた同窓生企業、一般企業、全国の支部・各種団体、同窓生の皆さんなど約574名の方々のお名前をボードに刻印し、図書館の壁面に掲げ永久に顕彰します。

本日の理事会では大学院同窓会を私たちの大樟会と統合することで、これまで大学院同窓会と時間をかけ検討してまいりましたが、成案化できましたので提案します。皆さんのご審議をお願いしたいと思います。また、企業経営者を中心に組織しております春秋会の発展的拡大を進めることと大学院同窓会の業務の円滑化に向け事務局スタッフを1名増員する予定です。90周年を展望する中で同窓会として何ができるか。大学運営は同窓会が下から支えてこそできるものと存じます。小人数で大樟会を運営しておりますが、大学を良くしようと役員は頑張っています。引き続きご協力をお願いしたい」と述べた。

大学と緊密な協力体制を

次に議事に入り議長に進木伸次郎氏、副議長に廣野義直氏を選出審議に入った。

第1号議案の24度事業報告、収支計算書、監査報告が行われた。慶弔規程の扱い方、古い所有財産の見直しなどの意見があり、慶弔は自己申告、所有財産は事務局で精査することで承認された。

第2号議案では25年事業報告、収支報告が提案された。質問としては各部の活動と予算との関連が見えない。事業ごとの金額を示したらどうか。特に総務部の認定留学生奨学金授与や奨学論文表彰の予算の実態の説明が質問された。一方、学生が実行している大樟祭へは資金援助をしているにも関わらず案内チラシ1枚も回ってこない。援助は意味があるのか、と意見があった。

中村敏啓理事(31回)は同窓会と大学が将来的にも手を携えるには同窓会の組織と体制をどうするかが大切だ。例えば組織部が提案している大阪市支部の会員4千人の掘り起こしなど同窓会だけでは出来ない。大学と手を結ばないと同窓会は伸びない。また名簿管理などでスタッフ1名増やしても効果は考えられない。同窓会も地域支部にこだわることなく、もっとマルチ的組織にしていく必要があると思う」と提案した。

第3号議案では大学院同窓会の大樟会統合が提案された。田村副会長が提案趣旨として

①大学院の卒業生は現在672人で3分の1が中国系、3分の1が企業派遣、残りが本学の卒業生

②卒業後の住所などの追跡ができない

③現在の役員では会員の把握、財政の確立、事業の推進など不可能に近い

④大樟会と一体となったオール大経大として大樟会の傘下に入りたい。このため7～8回の会合を重ね統合の道を探り、成案化ができたと述べた。続いて統合の条件として大樟会内で

の位置付け、会員資格、会費の徴収などが説明され「対等合併」という基本路線で理事会の承認を得た。合わせて大樟会では「大学院部会」と称され、これを機に各種団体も「～部会」と改称することで承認された。大学院部会を代表」して川口正義氏がお礼のあいさつをした。

徳永学長　「ゼミ・就職・マナーの経大を目指す」

第2部では来賓あいさつで徳永光俊学長が「大学はスポーツをする選手を応援しています。選手は大経大のプライドを持って頑張っています。80周年ではハード面は整いました。これからは教育の中味を充実させます。学生は確実に力をつけてきています。英語カフェの開店を学内で計画しています。将来、大経大を出て良かったという学生を出し、隠れ経大生はいなくなります。「ゼミ」「就職」「マナーの経大」で私大系学生№1を目指します」。勝田泰久理事長からは「80周年、盛況裡に終了しました。これからは語学、留学生、スポーツを督励しグローバル人材の

育成に資金を使います。就職の強化では皆さまの後方支援を今後ともお願いします」と髙塚邦夫常務理事が代読した。この後入試、就職状況を担当部長が説明した。

第3部は100名以上の参加者で懇親会が始まり大いに盛り上がり、理事会は午後5時終了した。　（広報部長＝平田義行）

休眠支部の再興を進める

2013年度全国支部長会議を開く

2013年度全国支部長会議が5月25日、理事会にさきがけ午前中に開かれた。当会議は全国50支部と7職域･団体の支部長、会長で構成されており、活動や近況報告をする中で本部、支部、職域団体の運営に役立てることを目的としており、議案審議や議決などは行わない。今年は60名が出席した。

佐藤武司大樟会会長は「創立80周年記念募金は個人を除き46支部と各種団体からご寄付を頂きました。金額は約1億4千万を超えました。ありがとうございます。10万円以上の方につきましてはお名前をボードに刻印し図書館の壁面に掲出、顕彰します。また「Jump up　80周年」を記念した陶板を作成、大学へ寄贈します。今年の9月、本館シンボル棟に掲出される予定です。大樟会員も8万9千人に数え10年後には10万人に達します。この財産をどう生かすか、同窓会のあり方を含め大学へ対応せねばなりません。一方、スポーツクラブも強化され井高野にあります摂津グランドには公式戦も使えます弓道場が新設されます」と述べた。次いで支部長が交代した岐阜、滋賀、丹有、姫路と春秋会の会長さんが紹介された。以下、各支部からの意見、提案など。

【休眠支部の取り扱い】

大分、三重について。

北九州支部長＝大分については現場では解決しない。北九州か熊本に併合するなど方向性を探りたい。

本部＝三重は再興支部に入っている。

【四国４支部の会合】

愛媛支部＝4県の支部が一堂に集められないか前向きに考えている。

【本部への要望】

京都＝各界で活躍しているOBを同窓会が顕彰する制度を作ったらどうか。

本部＝学生などへはすでに実施している。長年務められた支部長さんを顕彰していくことを考えたい。

堺＝澱江で紹介されているズームアップ経大人の登場人物は皆さん今回の寄付はされておりますか。

本部＝寄付された方のお名前はすべて大学にいきます。ご指摘の件聞いてみます。

福井＝受験生募集の広告をもっと打ち出せないのか。北陸3県で経大の字が載ることがない。

本部＝大学のＰＲについては投資効果をまず重視しています。

徳島＝卒業生が減っている一因に徳島では受験地がない。受験地を拡大して欲しい。

本部＝同窓会から大学へ要望します。

本部だより

本部役員一覧

平成26年1月10日現在

氏　名	役　職	卒回	氏　名	役　職	卒回	氏　名	役　職	卒回
佐藤　武司	会長	30	平田　義行	広報部長	31	中坪　健治	財務部長	41
田村　正晴	副会長	30	小林　真人	広報部	32	伊藤　和人	財務部	67
竹中　亨	事務局長	32	秋山　治信	広報部	37	植村　祐三	監事	32
梶村　貞男	事務局次長	37	大谷　忠久	広報部	51	大西　健介	監事	35
進木伸次郎	総務部長	33	廣野　義直	組織部長	34	山内　淳子	監事	47
齋　貞文	総務部	30	石橋　隆夫	組織部	32			
内田　敏雄	総務部	39	下垣　恒彦	組織部	36			
福地　利仁	総務部	39	田中　伸治	組織部	45			
上田敬二郎	総務部	52						

平成24年度収支決算書

自　平成24年4月1日　　至　平成25年3月31日

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	12,406,066	12,406,066	総会費	3,259,997	3,000,000
会費収入	57,033,000	56,500,000	役員会費	993,330	1,000,000
総会収入	1,263,000	1,000,000	支部費	10,421,704	12,000,000
利息収入	681,955	800,000	事務費	1,530,204	1,000,000
澱江収入	829,440	1,000,000	人件費	5,858,870	6,000,000
広告料収入	1,443,750	1,200,000	旅費交通費	2,193,080	2,500,000
雑収入	27,200	0	広報活動費	13,839,672	12,000,000
			名簿調査費	263,375	300,000
			学対費	11,937,342	15,000,000
			諸会助成費	1,387,538	1,300,000
			慶弔費	166,745	500,000
			特別基金繰入金支出	10,000,000	10,000,000
			予備費	0	2,000,000
			次期繰越金	11,832,554	6,306,066
合計	73,684,411	72,906,066	合計	73,684,411	72,906,066

平成25年度収支予算書

自　平成25年4月1日　　至　平成26年3月31日

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	11,832,554		総会費	3,000,000	
会費収入	57,500,000		役員会費	1,000,000	理事会・常務理事会・各部会
総会収入	1,000,000		支部費	11,000,000	運営費・支部総会援助
利息収入	800,000		事務費	1,000,000	
澱江収入	1,000,000		人件費	7,800,000	事務局人件費
広告料収入	1,000,000		旅費交通費	2,200,000	
			広報活動費	10,000,000	
			名簿調査費	300,000	
			学対費	12,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
			諸会助成費	1,300,000	諸会援助
			慶弔費	500,000	
			80周年記念事業費	15,000,000	
			予備費	2,000,000	
			次期繰越金	6,032,554	
合計	73,132,554		合計	73,132,554	

大樟会支部長・各種部会会長一覧

平成 26 年 1 月 10 日 現在

支部・部会名	氏　名	卒回	現　住　所	電　話
北海道	池田　正勝	34	[illegible]	[illegible]
東京	藤本　二郎	34	[illegible]	[illegible]
富山	安田　秀雄	31	[illegible]	[illegible]
石川	鍛治　一英	36	[illegible]	[illegible]
福井	石橋　隆夫	32	[illegible]	[illegible]
岐阜	浅野　四郎	35	[illegible]	[illegible]
静岡	大塩　博喜	40	[illegible]	[illegible]
愛知	五十棲 保彦	32	[illegible]	[illegible]
三重	池山　英典	57	[illegible]	[illegible]
滋賀	橋本　庫一	30	[illegible]	[illegible]
京都	田中　伸治	45	[illegible]	[illegible]
大阪市	春木　洋次	32	[illegible]	[illegible]
大阪市役所	南　正治	43	[illegible]	[illegible]
北大阪	平田　義行	31	[illegible]	[illegible]
北摂	大門　壽郎	29	[illegible]	[illegible]
北河内	森川　義一	25	[illegible]	[illegible]
豊中	植田　富雄	38	[illegible]	[illegible]
池田	中　一正	27	[illegible]	[illegible]
箕面・豊能	木谷　正雄	31	[illegible]	[illegible]
泉南	塩谷 善一郎	39	[illegible]	[illegible]
堺	堀本　修	24	[illegible]	[illegible]
尼崎	久保　太郎	31	[illegible]	[illegible]
伊丹	竹中　亨	32	[illegible]	[illegible]
阪神	進木 伸次郎	33	[illegible]	[illegible]
神戸	下土井 康晴	25	[illegible]	[illegible]
丹有	足立 徳太郎	36	[illegible]	[illegible]
明石	佐藤　武司	30	[illegible]	[illegible]
北播磨	伊藤　俊博	32	[illegible]	[illegible]
但馬	髙本　勲	35	[illegible]	[illegible]
東播磨	山本　憲章	35	[illegible]	[illegible]
姫路	永井　孝治	37	[illegible]	[illegible]
淡路島	竹内　通弘	34	[illegible]	[illegible]
奈良	西本　集一	23	[illegible]	[illegible]
和歌山	新田　和弘	32	[illegible]	[illegible]
鳥取	秋口　政俊	39	[illegible]	[illegible]
島根	浅原　宏	22	[illegible]	[illegible]
岡山	松永　清彦	41	[illegible]	[illegible]
津山	竹本　巧	37	[illegible]	[illegible]
備後	小池　勝章	32	[illegible]	[illegible]
広島	陰山　秀明	44	[illegible]	[illegible]
山口	小林　真人	32	[illegible]	[illegible]
徳島	樫本　孝	35	[illegible]	[illegible]
香川	鈴木　澄夫	36	[illegible]	[illegible]
愛媛	眞鍋　一美	32	[illegible]	[illegible]
高知	南　宏道	52	[illegible]	[illegible]
北九州	植田　達三	52	[illegible]	[illegible]
大分	寒田　陽	40	[illegible]	[illegible]
熊本	濵　忍	35	[illegible]	[illegible]
宮崎	福田　俊彦	32	[illegible]	[illegible]
南九州	前薗　博隆	34	[illegible]	[illegible]
大樟春秋会	矢倉　英一	39	[illegible]	
大樟体育会	下垣　恒彦	36	[illegible]	[illegible]
池田泉州銀行経友会	田中　寛	37	[illegible]	[illegible]
日立大樟会	山下　徹男	37	[illegible]	[illegible]
税理士大樟会	三木　泰	35	[illegible]	[illegible]
大樟教育研究会	眞鍋　一美	32	[illegible]	[illegible]
社労士大樟会	久保　太郎	31	[illegible]	[illegible]
★大学院大樟会	川口　正義	院	[illegible]	[illegible]

★新設支部・部会

ズームアップ経大人

Zoom Up Keidaijin

（順不同）

シンガーソングライターとして34年

“オンチコーラス”入部が人生を決める

「にんげんのうた」シンガー

鮫島　まさみ 氏（45回卒）

略歴…1956年生まれ。鹿児島県出身。1979年2部経済学部卒業。‘80年から音楽活動、フォークグループ参加。ここで作詞作曲、創作など学ぶ。ソロシンガーを経たのち‘87年「にんげんのうた」コンサートを開始。‘93年さめしままさみWith Dear Friends」を結成。’95年CD（夢追い人の子守唄）発表、同年3月「にんげんのうた企画」設立。以降CDを4枚発表した。大阪市淀川区在住。

○…“季節の風を感じながら”をテーマに「にんげんのうた」コンサートも昨年の8月で27回目を数えた。思えば人生の半分をこのコンサートとともに歩んできた。鹿児島県種子島生まれの鮫島まさみさん。小さいころから歌うことが好きで、田舎の草むらで寝転んでは大きな声で歌い、いつかは歌手になれたらという夢を持ち続けた。高校卒業後、大阪で就職。同時に本学の2部経済学部に入学、‘75年の春だ。入学式で誘われるままにコーラス部に入りフォークソングに出会った。当時のコーラス部の名前は“オンチコーラス”。すでに廃部となったが歴史もあり結構有名だった。ここでの歌と人との出会いが、鮫島さんのライフワークの原点となる。「フォークソングはメデイアから流れる歌謡曲と違い、働きながら学ぶ私を励まし勇気づけてくれる歌でした」。

○…卒業と同時に音楽活動を本格的に始める。最初、フォークグループ「民唄開拓者」に参加、コーラスを担当しながら約6年間にわたり仲間から創作活動を学ぶ。そして‘86年、待望のソロ活動を始めた。一人で作詞、作曲さらにギターを弾きながら心のままに歌う。ライブは数え切れないぐらいほどやってきた。そんな努力と経験が実を結び’87年7月第1回さめしままさみ「にんげんのうた」コンサートを大阪・十三の生協会館で開いた。

‘92年、同じシンガーソングライターで長野県出身の井口善夫さんとの結婚を機にコンサート、創作活動、演奏活動を本格化し翌年、さめしまさんのバックユニット「さめじままさみWith Dear Friends」（（男女6人）を結成、以降今日まで20年間、1月の「新年会ライブ」、8月の「にんげんのうた」コンサートを定期開催している。

○…鮫島さんの歌はすべてオリジナル曲だ。書き上げた詩に感動することはあっても、同時に曲にも納得できないと素晴らしい歌はできない。瞬時に詩を書き、詩の感情に曲が誘われるように入ってくる時こそ、人の耳に残る歌となる。人に上手く伝えようと手をこまねいても、本当の感情でなければ曲はのってこない。感情移入があればいい曲は一気にできる。鮫島さんが井口善夫氏とこれまで書きあげたオリジナル曲を含めてもそう多くはないが、今もいつ聴いても歌っても曲と一体になっている自分を感じるという。

人々の毎日の生活、明日への希望などありふれた日常の中に感じることが多い。自然体の中の生きる喜び、一人でも多くの人に元気を与えたい。「にんげんのうた」というテーマはまさにスケールの大きい“人生讃歌”なのだ。

○…感性豊かな若い時代、郵便局へ荷物を持って歩いていたら、車イスに乗ったおばあさんがほんの少しの坂道を上がろうとしている。が、上がらない。通り過ぎようとした鮫島さん、思わずかけより車イスを押して上げた。その瞬間の、お礼を言うおばあさんのはじけるような笑顔に“ぐっと”きた。その時の数分の交流が帰りの電車の中で高まるように鮮やかに思い出され、その感情が詩となり曲となって何と3番まで口ずさんでいた。駅に着くなり家に走って帰りすぐ音符に書きとめた。その曲名は「私にとっては」。今も一番納得のできる曲という。1番を紹介してみよう。

朝日のあたるビルの谷間で　　☆（繰り返し）
車いすの人に会った　　私にとってはなんでもない道
苦しそうに顔を赤らめ　　私にとってはなんでもない坂
坂の道を登り始めた　　けれどあなたにとっては
　　苦しい道なのですね

○…さてこれからも、将来のプロシンガーを夢見ながら、“自然を見つめ、暮らしを見つめ、人を見つめ、平和と愛を語る…”そんな心に響く歌を作り、いつまでも歌い続けたい。そしてクラブと出会わせてくれた、大学やOB・OGの皆さんに歌の恩返しをしたい、と鮫島さん。

取材を終え、ぜひ一度、母校でフォークソングを聴いてみたい思いに駆られた。

（聞き手=編集委員・平田義行）

プロ野球・オリックス・バファローズで活躍する

山本　和作（かずなり）氏（75回卒）

略歴…1986年9月21日生まれ、27歳、兵庫県川西市出身、兄の影響を受けて幼いころからボールを手にしていたが、小学校3年生の時から明峰少年野球クラブで軟式野球を始め、中学時代に兵庫川西で全国大会に出る。兵庫県立尼崎工業高校に進み、1年生からベンチ入りしたが、3年生の夏、4回戦で敗れ甲子園出場は叶わなかった。

しかし「将来はプロ野球選手に」という夢は衰えることはなかった。2005年本学入学と同時にショートのレギュラーを獲得、その年の秋の関西6大学リーグ戦では、打率4割3分7厘で史上初の1年生首位打者、ベストナインを獲得、2年後の春にもベストナインに選ばれた。2年生の秋から三塁手に転向、4年生の時には大学通産100安打を達成し特別表彰を受ける。

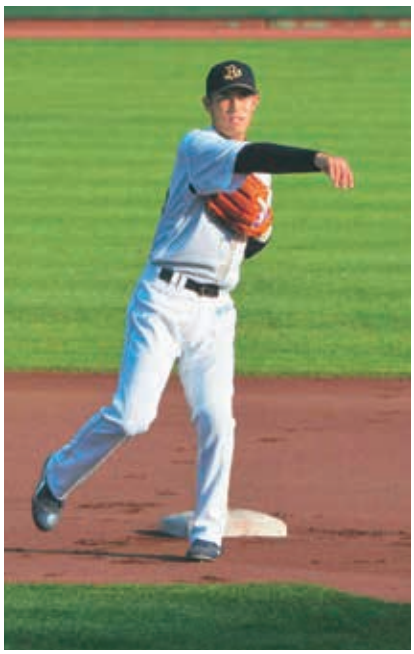
リーグ通算、83試合出場、329打数、101安打、打率、307、4本塁打、42打点の活躍が認められ、2008年のプロ野球ドラフト会議において読売ジャイアンツから育成ドラフト3位で指名された。こうして彼自身のプロ野球選手になりたいという夢は実現し、本学としても初めて読売ジャイアンツ入りの卒業生が誕生したのだ。

2011年春からプロ野球選手としての生活が始まった。2軍の遊撃手として定着、支配下選手とし登録され、背番号「91」を貰った。その後1軍登録はされなかったものの、打率、281、本塁打、打点はチームトップの-9本と45打点を記録、勝負強いバッターとして評価されていた。しかし残念なことに練習中、自打球を左足に受け、再度育成選手に戻されるという不幸に見舞われたが、2012年7月、再度支配下登録され、背番号「91」に戻った。

ここからが彼自身の野球人生の幕開きともいえる。ジャイアンツ時代2軍のコーチだった現オリックスの森脇監督から「僕の指名だよ」と声をかけられ、2012年11月5日、オリックスにトレードされ背番号「66」を頂戴した。

そしてあの場面が登場する。2013年5月9日、ソフトバンク戦の9回2死からサヨナラ打を、その同じ5月9日DeNA戦で同点の場面から決勝打となるプロ入り初の本塁打を放ち、初のお立ち台に立つことになる。「あの時は興奮しすぎて、何も言えない状況でした。」と、当時を振り返り「野球を続けてきてよかったです」と、喜びをかみしめる。だが、シーズン後半から打撃不振に陥り2軍生活が続くようになったが、ジャイアンツ時代の2軍コーチとして教えを受けた恩師、森脇監督への恩返しをしなければいけない。「年明けから巨人の亀井選手と宮崎で自主トレに入り、もう一度身体を鍛え直し、私の売り物である打撃に磨きをかけ、チームの優勝に貢献したい」と新たな決意を聞かせてくれた。平成26年度のオリックスの優勝と山本和作選手の活躍に大きな声援を送ろうではありませんか。

（聞き手=編集委員・森川義一）



大阪府社労士3836名の頂点に立つ

大阪府社会保険労務士会会長　飯田労務事務所所長
飯田　政信 氏（35回卒）

略歴…昭和22年1月22日大阪市住吉区生まれ。67歳。大阪商大付属高校から本学経営学部入学。昭和44年4月同学部卒業と同時に木村化工機へ就職。6年間勤務後昭和50年独立、飯田労政事務所開設後現在に至る。平成20年7月、社労士大樟会設立に加わり、初代事務局長に就任。実家は雀荘を経営していたが、本人は点数さえ数え切れないくらいの腕前だとか。

事務所は大阪市中央区船場のビル8階にある。従業員は飯田氏を含めて6名。

これまで地道に活動してきた飯田氏は大阪府社会保険労務士会3,846名の頂点に上り詰めた。全国では約38,000名が登録されている国家資格者集団なのだ。

税理士、会計士が企業の金銭部門を管理するのに対し社会保険労務士(以下社労士)は人の管理、つまり労務管理を担当するだけにその仕事内容も企業の就業規則の作成、人事･賃金･労働時間、雇用管理、人材育成、個別労働紛争の未然防止など内容は多岐にわたる。この職種の最終目的は労使双方への法令遵守の指導である。飯田氏は学生のころから「中小企業の労務管理、経営指導に興味があり、好きな世界で仕事が出来て幸せに思っている」とこの仕事に誇りを持つ。

大阪府社労士会が開設した民間型ADR機関「社労士会労働紛争解決センター大阪」では無料相談を受け付けているが、最近は労働組合に加入していない個人労働者から不当解雇、残業代未払いなどの相談が多く寄せられているが、裁判などに持ち込む前の裁判外紛争を和解に持っていくのが社労士の大きな仕事のひとつだ。これまで認知度の低かった社労士も「消えた年金5,000万件問題」が浮上して以来、国の機関だけでは処理仕切れないため日本年金機構からの委託を受けて社労士会も担当することになりこの職種も一躍脚光を浴びることに。飯田氏は平成21年から年金問題を担当する総務省の第3委員会委員も務める。飯田氏は、ご子息が資格を取得したことから、会長として対外的に活動の場を広げているが、「労使の紛争が大きくなる前に未然に解決し、双方から感謝された時にこの仕事を選んで良かったと思う」と言う。

さて、大阪府社労士の頂点に立った飯田さん、大きな仕事を始める前に社労士大樟会の皆さんのご支援が何より大切とおっしゃった。

（聞き手=編集委員･小林真人）

富山湾の天然“キトキトの魚”と銘酒“立山”を

株式会社　千鳥　代表取締役
中村　勝治 氏（38回卒）

略歴…昭和24年7月30日生まれ　64歳　富山県立高岡高校卒業　本学経営学部卒業後、日本料理を修業　高岡帰郷後、両親が経営する割烹料理店千鳥へ入社　平成12年社長に就任　千鳥･いろりの里･陣太鼓の3店を経営

加賀百万石二代目藩主、前田利長が開封した高岡市。人口17万2千人を誇る富山県第2の都市だ。静かな街並みに多くの文化遺産を残すこの街に生まれ、育った中村勝治さん。祖父母が始めた料亭を、両親が食の広がりに合わせた居酒屋を次々と開業、しっかりと基礎を固めたあと3代目を引き継いだ。中村さんは地元特産の食材と富山県の風味を生かした創作メニューを続々と開発。これがお客さんにブレーク、大人気となり、創業80年を迎えた今、客数･売上高とも市内で有数の優良店として評判が高い。

元来料理が好きで学生のころから手伝っていたが、卒業後京都長岡天神の「錦水亭」で日本料理の基礎を1年間修業、帰郷後「板前人生」を本格的に歩み始めた。現在経営するお店は割烹「千鳥」、民芸風食べ処「いろりの里」、炉ばた焼「陣太鼓」の3店で同一ビル内にあり、席数は全部で300～350席あるだけに入店客が座れないということはまずなく、料理の注文は刺身、揚げ物、焼き物、お鍋など、どの店から注文がきても各店にいわばお料理別調理場があるためお客に出すのも実に早い。

食材は何と言っても“キトキトの魚”といわれるぐらい、冬は寒ブリ、白エビ、のど黒、春はフグ。天然のイケスといわれる富山湾からの新鮮な海の幸が毎日届く。加えて趣味の域を越えている中村さんの「アユ釣り」は夏、近くの川で日によっては100匹の釣果を超える。一方、山の幸も山菜やキノコ採りにご自身山に入り収穫してくる。タケノコは竹林ひと山を買った。いずれも「お客様に旬を召し上がっていただきたい」というプロの料理人の思いがにじむ。

そして酒通の期待に応えるのも中村さんの腕だ。地元銘酒「立山」は北陸になくてはならない辛口の酒で、飲み飽きないといわれる。店では富山県で作られる全23蔵からの清酒が揃っており、今の時期全国から辛口ファンが訪れる。

学生時代、簿記会計研究部に所属、将来に備え管理会計を学んだ。お影で勉強の成果は十分役立っている。53才の時、親父を引き継ぎ社長になったがお店の経営は実に40年を超える。長い経験の中で『「味」「サービス」「値段」がいつまでたってもお客さんとの約束です。そして“継続は力なり”。これを大経大の後輩へ伝えて下さい』とおっしゃった。

取材を終え表にでると、白いものが舞っていた。キトキトの魚と立山を訪ねもう一度来てみたい気にさせた。　（聞き手=編集委員･平田義行）

業界のリーダー的企業として日本一の園芸会社に成長する

株式会社ユニバーサル園芸社　取締役関西事業統括本部長
西川　道広 氏（54回卒）

略歴…昭和41年生まれ　昭和63年本学経営学部卒業、同年入社。大阪府出身48歳

大阪府茨木市の山間部に位置する株式会社ユニバーサル園芸社は、本社建物が360度緑に囲まれ、来訪者がホッとする緑のオアシスだ。取締役関西事業統括部長を務める西川道広さんは今や、従業員200名超を動かす社長の片腕として入社以来26年間の「番頭役」。もともと旅行が好きでその方面を希望していたがレンタルグリーン（観葉植物）を中心とした園芸関連事業がこれから伸びる業種だろう、と考え「来る人拒まず、大卒を採用したい、5年は我慢してくれ」という社長面接で入社を即決した。昭和から平成へ、20年の歴史をもつ会社にも時代環境は大きく変わろうとしていた。

しかし仕事は観葉植物を借りてくれるお客様をさがす、まさに飛び込み営業の日々が続く。ビルが建ちテナントが入ったらオフィスの付加価値を高めるツールとして植物のレイアウトを提案する。取引が成約すると、植物の交換、水やり等のメンテナンスに月2回訪問する。最初は友だちから「なんや植木屋か」と言われもしたが、小さな一本の植物に人と自然が共生する環境づくりは今の時代、市民生活のニーズとしてしっかり定着していますと西川さん。

ユニバーサル園芸社の事業はレンタルプランツやギフト商品、フラワー販売などのグリーン・卸売・ネット通販・造園事業の4部門。全社の前年売上高は34億でその内グリーン事業が84,5%を占めた。しかし同事業の市場規模は1兆322億円といわれており国内シェアを考えると、拡大余地は十分あると見ている。戦略商品として高年齢化による家庭向け市場開拓として生花店、ガーデンショップ、園芸雑貨店の店舗数を増やすほか、環境改善や省エネ向けにビルや建物、家屋などの壁面緑化、屋上緑化を進める。また「パズルグリーン」といわれる緑化家具も楽しみな商品だ。

「2012年ジャスダックに上場してから当社を見る世間の目は変わってきました。業界のリーダー的企業として、世界に目を向け、売上100億、経常10億を達成し、日本一の園芸会社へ成長させるのが、私の使命です」。ビジネスのプロとして夢はでっかい。　（聞き手=編集委員・平田義行）

将来は関東地区へもエリア拡大を

ブンセン株式会社　取締役副社長
田中　智樹 氏（61回卒）

略歴…1972年（昭和47年）8月28日兵庫県揖保郡新宮町（現たつの市新宮町）生まれ、41歳。兵庫県立龍野高校から本学経営学部入学。1995年（平成7年）3月卒業後、1998年（平成10年）3月株式会社イトーヨーカ堂入社。2001年（平成13年）同社退職後、平成14年（2002年）9月ブンセン株式会社入社。この間、平成15年2003年4月阪大大学院経済研究科入学、平成17年（2005年）3月同大学修士（経営学）取得。平成18年（2006年）10月同社理事、ブンセンキッチン株式会社社長就任、平成21年（2009）年8月取締役就任、平成24年（2012年）8月から取締役副社長。

ブンセン本社があるたつの市は、兵庫県姫路市の北西20kmに位置し、揖保川を挟み、中心部は脇坂藩5万3000石の城下町。「播磨の小京都」といわれている。揖保川の豊富な水、播磨平野で栽培される大豆、近くの赤穂では塩が生産されていたことなど醤油製造の環境が整っていたことから古くから醤油の製造が盛んで、現在も市内に約10社の醤油メーカーがある。同じ小麦、塩、豊富な水を原料とする手延べそうめんは全国シェアの約半分を占める。社名の「ブンセン」は寛永通宝の「文銭」に由来するものだが、田中副社長によれば「数百年の歴史を誇る醸造業界にあっては昭和9年の創業は新参者」だそうだ。

だから戦後、同社は醤油一筋から醤油をベースにした佃煮、塩昆布などの加工食品や惣菜部門にいち早く方向転換した。現在同社の販売量で醤油の占める割合は数%。海苔つくだ煮の「アラ!」、塩吹昆布の「塩っぺ」などは同社の主力商品で関西以西ではおなじみである。「新参者だからいち早く発想の転換が出来たのだろう」と田中副社長は言う。消費者の意表をつくといえば同じ佃煮でも「商品名」を付けたのは同社が業界に先駆けて差別化をはかったものだが、他にも今でこそ醤油容器はペットボトルが主流だが、樽や瓶からこうしたプラスティック容器を取り入れたのも同社が最初なのだ。

時代の変遷と共に共働きが増えて、家庭での煮炊きの機会が減ったため、醤油の消費量も減り、逆に惣菜の利用量が増えたことで同社は、日持ちのしない惣菜部門を拡大するため大消費地近くに惣菜工場を建設した。田中副社長は「今後も総合食品メーカーとしてお客様に毎日食べていただける商品を提案していき、将来は関東地区にも販路を広げていきたい」と、若い経営者の夢は膨らむ。

（聞き手=編集委員・小林真人）

気持ち一つで、すべては変わる
NZ遠征で楽しむラグビーを知る

常翔学園高校　教諭　ラグビー部部長・監督
野上　友一 氏（50回卒）

ラグビーとの出会いは小学6年生の時、父親に当時羽衣にあった大阪ラグビースクールにつれて行かれた際、何となく興味を感じたことに始まる。以来今日までラグビー一筋の人生だったが、「母校大工大高校の恩師、荒川先生の存在なくして今日の私はありません」と言う。

それは母校の教諭への道を切り開いてもらったこともさることながら、「ラグビーとは何ぞや」という、その原点を教わったからだ。「ラグビーというゲームを楽しむためには、その本質を知ることが大切だと教えられたのです」と。

だから今、「生徒たちには楽しむためにラグビーをする。そのためには楽をして楽しいことはなく、人とのかかわりなくしてゲームも出来ない、といったことをまず教えます。コミュニケーションの大切さと、人の話を聞く。他人を変えることはできないが、自分は変えられる、といったことはラグビーに限ったことではなく、一般社会人としても大切なことでしょう」と続く。「すべては気持ち一つですべては変わると言うことを徹底してやってきました」という。

とは云うものの、そう簡単に全国制覇をできるほど甘いものではない。現場に立って「何故云った通りにやらんのか」と怒鳴る日々が続いたが、3年前はじめてニュージランドに遠征した際、現地のコーチの「うまくいったプレーがいいプレーだ」という言葉が胸に響き、「ふと我に返ったかのように考え方が変わりました」と。それ以来「バカたれ」の口癖も影をひそめ、選手も片手でボールを持ったり、視線を外してパスを出したり、楽しむラグビーに変身、そして17年ぶりの全国制覇に結びつけた。90名を超える部員も全員自宅から通学し、その活き活きした姿が、良い後輩を引き寄せる。全国制覇を狙う学校だが、人材集めもリラックスムードが漂っている。

略歴…昭和33年6月16日生まれ、55歳、大阪府出身、昭和51年3月大阪工業大学高等学校（現常翔学園高校）卒業後、本学経営学部に入学、大学時代はラグビー部のキャプテンとして活躍、同志社大、天理大などAリーグの上位校と全国大会出場を競っていた。昭和60年4月、教員免許を取得し母校大阪工業大学高校の社会科教諭として奉職。同時に同校ラグビー部コーチを勤め、平成2年4月監督に就任した。5年後の平成7年の第75回全国高校ラグビー大会と平成24年3月、第92回大会の2度の優勝監督となった。

ただ、第93回全国高校ラクビーフットボール大会出場をかけた大阪大会決勝戦で惜しくも東海大仰星高校に敗れ、全国大会2連覇の夢は破れ、新たな挑戦への道を歩むことになった。

（聞き手=編集委員・森川義一）

東海大仰星高校との決勝戦でスクラムを組む常翔学園高校ＦＷ

ハーフタイムに選手に檄を飛ばす野上友一監督

For a Lively World

大成建設の技術で実現する未来都市

わたしたちは“人がいきいきとする環境を創造する”というグループ理念のもと、
自然との調和の中で、安全・安心で魅力ある空間と豊かな価値を生み出してきました。
For a Lively World…この思いとともに、これまで育んできた技術を、さらに高め次の世代へ。
わたしたちは、夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。

地球がいきいき、人もいきいき。大成建設がめざす未来です。

TAISEI 大成建設株式会社

Our Best Solution for Your Best Smile

レストランの『ソムリエ』はオーダーや好み、予算などを考えて、
最適なワインを選んでくれます。
私たちも知識、技術の全てを使い、まごころをこめて
お客様に満足いただける製品を提供したい。
カッコよくいえば
『**ものづくりのソムリエ**』でありたいと思っています。

お客様の『最高の笑顔』のために。

KONOIKE
KONOIKE CONSTRUCTION CO.,LTD.

Daiwa Lease®
大和ハウスグループ

未来を、つなごう

大和リースは、大和ハウスグループの中核企業として、社会や環境におけるさまざまな課題と向き合い、それらを解決する商品やサービスを提供する４つの事業を通じて、未来永劫に続く次世代の豊かな暮らしを守るために貢献いたします。

■ 規格建築事業

■ 流通建築リース事業

■ リーシング ソリューション事業

■ 環境緑化事業

大和リース株式会社　www.daiwalease.co.jp
大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ピップビル　〒540-0011
Tel 06-6942-8011　Fax 06-6942-8051

建設業許可番号・国土交通大臣許可（特22）第5903号
宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(7)第3836号

本店営業部	大阪市中央区北浜2丁目5番4号	TEL.(06)6231-2881
中之島支店	大阪市北区中之島1（大阪市役所内）	TEL.(06)6202-0891
西支店	大阪市西区九条南1丁目10番17号	TEL.(06)6581-2421
阿倍野支店	大阪市阿倍野区阪南町1丁目48番1号	TEL.(06)6622-0671
生野支店	大阪市生野区桃谷2丁目23番32号	TEL.(06)6718-1121
福島支店	大阪市福島区野田3丁目1番18号	TEL.(06)6462-3621
住吉支店	大阪市住吉区東粉浜3丁目23番8号	TEL.(06)6673-8371
城東支店	大阪市城東区今福西1丁目9番6号	TEL.(06)6939-5131
東成支店	大阪市東成区東中本1丁目15番27号	TEL.(06)6971-2401
都島本通支店	大阪市都島区都島北通2丁目3番19号	TEL.(06)6924-1171
布施西支店	東大阪市岸田堂西2丁目3番6号	TEL.(06)6728-3301
南田辺支店	大阪市東住吉区田辺3丁目25番20号	TEL.(06)6628-0581
門真支店	門真市本町30番3号	TEL.(06)6909-7451
住道支店	大東市扇町16番7号	TEL.(072)872-4881
八尾西支店	八尾市久宝寺2丁目4番57号	TEL.(072)992-0081
若江岩田支店	東大阪市岩田町3丁目10番17号	TEL.(072)963-2151
たつみ支店	大阪市生野区巽中3丁目9番2号	TEL.(06)6751-1281
生野中支店	大阪市生野区中川東2丁目4番6号	TEL.(06)6754-1811
高井田支店	東大阪市西堤1丁目13番4号	TEL.(06)6788-2821
つるみ支店	大阪市鶴見区横堤3丁目6番52号	TEL.(06)6912-8861
加美中支店	大阪市平野区加美鞍作1丁目9番24号	TEL.(06)6794-3931
生野南支店	大阪市生野区舎利寺3丁目5番28号	TEL.(06)6718-2181
桃谷駅前支店	大阪市天王寺区堂ヶ芝1丁目9番3号	TEL.(06)6771-4881
鴻池支店	東大阪市中鴻池町3丁目4番5号	TEL.(06)6745-2811
加美北支店	大阪市平野区加美北3丁目12番1号	TEL.(06)6794-3121
中津支店	大阪市北区中津1丁目17番26号	TEL.(06)6376-3071
吉田駅前支店	東大阪市島之内2丁目13番9号	TEL.(072)964-8641
森ノ宮支店	大阪市中央区森ノ宮中央1丁目8番1号	TEL.(06)6946-1081
谷町支店	大阪市天王寺区生玉前町1番18号	TEL.(06)6775-0751
大東北支店	門真市江端町9番23号	TEL.(072)882-1661
北支店	大阪市北区末広町3番3号	TEL.(06)6365-7801
岸の里支店	大阪市西成区千本中2丁目2番21号	TEL.(06)6659-6522
桜川支店	大阪市浪速区幸町2丁目3番22号	TEL.(06)6562-3224
上小阪支店	東大阪市上小阪3丁目1番6号	TEL.(06)6730-1281
江戸堀支店	大阪市西区江戸堀3丁目1番25号	TEL.(06)6447-7881
関目支店	大阪市旭区高殿4丁目22番40号	TEL.(06)6954-0374
平野上町支店	大阪市平野区平野上町2丁目7番18号	TEL.(06)6791-1804
日本橋支店	大阪市中央区日本橋2丁目6番1号	TEL.(06)6641-8131
萩之茶屋支店	大阪市西成区花園南1丁目3番15号	TEL.(06)6661-6031
梅田支店	大阪市北区梅田1丁目3番1号100	TEL.(06)6341-6434
加島支店	大阪市淀川区加島4丁目2番46号	TEL.(06)6309-7821
御厨支店	東大阪市御厨中2丁目5番6号	TEL.(06)6788-5181
港支店	大阪市港区三先1丁目10番28号	TEL.(06)6573-6261
長吉支店	大阪市平野区長吉長原東1丁目2番73号	TEL.(06)6708-9001
恩加島支店	大阪市大正区平尾4丁目21番8号	TEL.(06)6554-1351
北加賀屋支店	大阪市住之江区北加賀屋1丁目1番26号	TEL.(06)6683-6551
姫島支店	大阪市西淀川区姫島5丁目2番1号	TEL.(06)6475-3231
西九条支店	大阪市此花区梅香3丁目33番9号	TEL.(06)6464-0621
東淀川支店	大阪市東淀川区豊新5丁目14番30号	TEL.(06)6327-8861
守口支店	守口市京阪本通1丁目4番12号	TEL.(06)6993-8541
市大病院出張所	大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号	TEL.(06)6633-1321
豊中支店	豊中市服部南町4丁目1番25号	TEL.(06)6864-7471
堺支店	堺市堺区大町西3丁2番1号	TEL.(072)232-7601
八尾営業部	八尾市本町2丁目8番1号	TEL.(072)923-1988
平野支店	大阪市平野区加美西2丁目1番3号	TEL.(06)6791-9871
山本支店	八尾市山本町1丁目8番3号	TEL.(072)922-7666
柏原支店	柏原市本郷2丁目5番27号	TEL.(072)972-3181
松原支店	松原市上田1丁目7番3号	TEL.(072)332-1700
国分支店	柏原市国分本町1丁目4番1号	TEL.(072)978-6161
古市支店	羽曳野市栄町4番11号	TEL.(072)956-0485
吉田支店	東大阪市今米1丁目5番37号	TEL.(072)963-4312
初芝支店	堺市東区日置荘西町1丁53番32号	TEL.(072)285-2893
小阪駅前支店	東大阪市小阪本町1丁目6番20号	TEL.(06)6722-0666
弥刀支店	東大阪市大蓮北1丁目9番9号	TEL.(06)6728-8484
深江橋支店	大阪市東成区深江北2丁目2番8号	TEL.(06)6972-8131
寝屋川支店	寝屋川市萱島本町12番5号	TEL.(072)823-3021
河内長野支店	河内長野市楠町東1651番地の3	TEL.(0721)53-8412
長原支店	大阪市平野区長吉長原東3丁目13番3号	TEL.(06)6790-1581
恵我之荘支店	羽曳野市恵我之荘3丁目1番1号	TEL.(072)953-1201
八尾北支店	八尾市光町2丁目9番地	TEL.(072)998-0888
山本支店 北山本出張所	八尾市上之島町北1丁目16番地の2	TEL.(072)923-3741
恩智支店	八尾市恩智中町1丁目77番地の2	TEL.(072)941-0241
道明寺支店	藤井寺市沢田3丁目6番39号	TEL.(072)952-4351
久宝寺口支店	八尾市末広町4丁目8番16号	TEL.(072)924-8080
東花園支店	東大阪市花園東町2丁目2番15号	TEL.(072)966-0180
JR八尾駅前支店	八尾市安中町3丁目2番40号	TEL.(072)924-8100
八尾南支店	八尾市若林町1丁目87番地	TEL.(072)948-7781
志紀支店	八尾市志紀町2丁目45番地	TEL.(072)949-3881
本町支店	大阪市西区立売堀1丁目2番14号	TEL.(06)6532-1501
我孫子支店	大阪市住吉区我孫子西2丁目4番27号	TEL.(06)6694-8600
横堤支店	大阪市鶴見区横堤3丁目10番17号	TEL.(06)6911-0661
枚岡支店	東大阪市西石切町3丁目4番1号	TEL.(072)982-1150
河内支店	東大阪市岩田町4丁目3番33号	TEL.(072)962-2181
瓢箪山支店	東大阪市昭和町2番3号	TEL.(072)982-1414
大東支店	大東市赤井1丁目3番12号	TEL.(072)871-3591
鴻池新田支店	東大阪市鴻池町2丁目1番23号	TEL.(06)6744-8101
枚岡支店 豊浦出張所	東大阪市豊浦町13番4号	TEL.(072)981-5801
法善寺支店	柏原市法善寺4丁目2番1号	TEL.(072)973-0701
長田支店	東大阪市長田東2丁目2番1号	TEL.(06)6745-2511
中野支店	東大阪市角田2丁目10番9号	TEL.(072)963-2100
布施支店	東大阪市足代2丁目3番4号	TEL.(06)6722-1101
永和支店	東大阪市荒川2丁目26番12号	TEL.(06)6722-2001
北たつみ支店	大阪市生野区巽中1丁目8番5号	TEL.(06)6757-3171
中央市場営業部	大阪市福島区野田1丁目1番86号	TEL.(06)6469-7361
下福島支店	大阪市福島区野田2丁目1番80号	TEL.(06)6468-8781
阿波座支店	大阪市西区靭本町3丁目8番11号	TEL.(06)6443-6701
東部市場支店	大阪市東住吉区今林1丁目2番68号	TEL.(06)6756-3540
中道支店	大阪市東成区中道1丁目9番14号	TEL.(06)6975-2711
塚本支店	大阪市西淀川区柏里3丁目1番10号	TEL.(06)6473-6491
北部市場支店	茨木市宮島1丁目1番1号	TEL.(072)636-2075

■テレフォンダイレクト支店　夢ふくらむ支店　大阪市中央区北浜2-5-4　0120-77-2976

大阪シティ信用金庫

名誉会長　**新　堂　友　衛**

（第21回卒　本学理事）

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4　TEL.（06）6201-2881（代表）

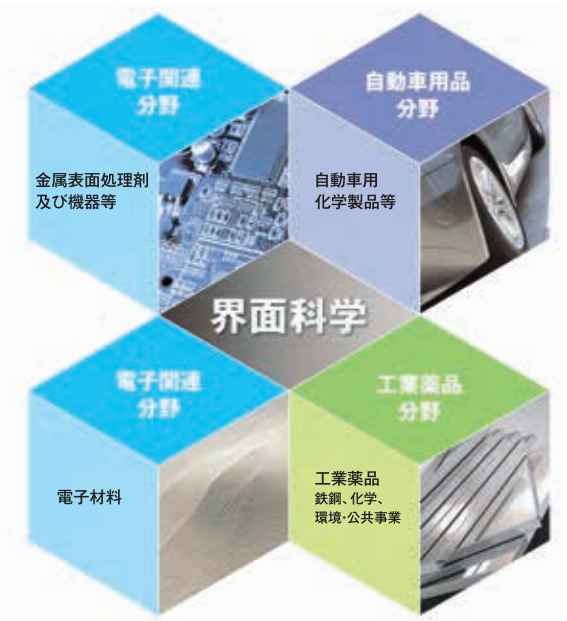
大阪市内全24区に店舗（府下全101カ店）を有する唯一の地域金融機関です。

インターネットアドレス　http://www.osaka-city-shinkin.co.jp/

UNiCON

表面の機能を創造する

私たちは「電子関連」「自動車用品」「工業薬品」の3つの分野で、4つの事業を展開し、その事業領域は電子部品用の金属表面処理剤や電子材料をはじめ、自動車用化学製品、工業薬品、さらには化成処理液管理装置にいたるまで、時代の変化とともに拡がり続けています。これからも、表面の機能を創造するプロフェッショナルとして、私たち「石原ケミカル株式会社」は、斬新な発想と独自の視点で、未来を創造していきます。



石原ケミカル株式会社

本　　社　〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原町5番26号　TEL.(078)681-4801(代表)
東京支店　〒110-0016 東京都台東区台東2丁目26番11号　TEL.(03)3832-1531(代表)
滋賀工場　〒520-1642 滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1　TEL.(0740)24-0151(代表)
神戸工場　〒651-2241 神戸市西区室谷1丁目6番2　TEL.(078)275-3031(代表)

http://www.unicon.co.jp/

私たちは、セラミックの創造性を追求して、
生活に感動と潤いと安全を提供いたします。

創立80周年を記念し、製作させて頂きました。

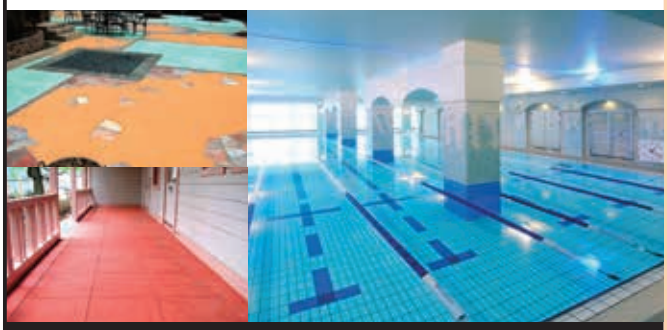
大塚オーミ陶業株式会社　http://www.ohmi.co.jp/

本社／大阪支店：〒540-0021　大阪市中央区大手通3-2-21　TEL.06(6943)6695／FAX.06(6943)6487
東京支店：〒101-0048　東京都千代田区神田司町2-2大塚製薬神田第二ビル　TEL.03(5295)3555／FAX.03(5295)3556
信楽工場：〒529-1836　滋賀県甲賀市信楽町柞原926（ISO9001認定工場）　TEL.0748(82)3001／FAX.0748(82)2125

EVER ONWARD

新たな時代を彩る、

カラーモルタル誕生！



イメージひろがる！ テクノカラーは、アイデアしだいで使い方いろいろ…

ColorMortar

［特徴］ ●豊富なカラーバリエーション（全カラー66色）で自在の色の組合せが可能です。 ●プレミックスモルタル製品ですので、硬化物は接着性に優れ、かつ高い強度を発揮し、耐久性に優れています。 ●白華現象のおこりにくい配合設計になっています。 ●用途目的に合わせて多種の組合せが可能です。

［種類］
- ●テクノカラーSK（厚塗り用）
- ●テクノカラーMU（薄塗り用）
- ●テクノカラーNS（洗い出し及びコンクリート用）

色・カタチ思いのまま
スタンダードをめざす
業界初の新発想モルタル

TechnoColor

業界初

テクノカラー66

〈受注生産型〉

機能性モルタル類の総合メーカー

テクノスジャパン株式会社

代表取締役 社長 佐藤武司

（昭和39年 30回卒業 大樟会会長）

○お問い合せは
TEL／078-924-1234 FAX／078-924-0050
http://www.attack-pro.com

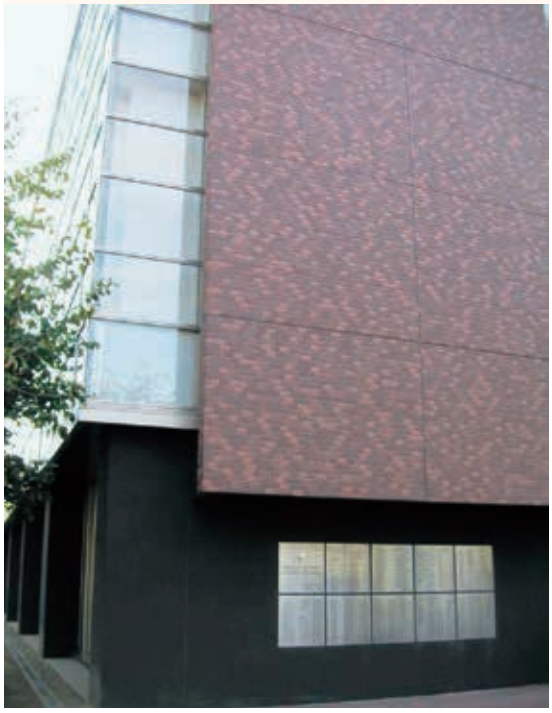
■本社・工場／〒673-0028 兵庫県明石市硯町3丁目4番7号
■東京支店／〒130-0012 東京都墨田区太平3丁目11番10号

関連会社

日本ジッコウ株式会社 | エースコンサルタント株式会社

創立80周年記念事業募金
寄付者銘板が完成

図書館前に掲出されました



創立80周年記念事業募金として同窓生・支部・各種団体をはじめ各界から10万円以上ご寄付いただいた方のお名前を記した「銘板」が平成25年10月に完成、図書館前に掲出されました。

●編 集 後 記●

◇…母校の創立80周年記念事業が滞りなく終了して今年で2年目に入る。90周年や100周年をはるか先だと追いやっていたが、あと8年で90周年が来る。

◇…日本の政治、経済、文化の変わりようは予見できないが、母校の変わりようや変わるべき姿は描かねばならない。そのキックオフが80周年であった。

◇…大学のキャンパスは“最高学府”にふさわしい整備がされ、2018年から始まる「大学全入時代」には中堅大学としての教育力が問われる。まさに“量”から“質”への転換が実践される。母校の近くに2015年、学生数6千人規模で開校する他大学とどう対峙するか。

◇…改革に向けて大学のスピードは速い。入試、就職、4年間のカリキュラムなど教職員の足並みがそろってきたようだ。

◇…現在、8万7千人を超す同窓会員が90周年では9万人を超える。この先、大学運営に有益な母校支援はどうすればいいか。支部会員やOB・OGは何をせねばならないか―
各地域やOB・OG会で大いに話し合ってください。

◇…そして、皆さんの忌憚のないご意見をお寄せください。

（広報部長＝平田　義行）

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS
でんこう
激江
2014

■発行日　2014年2月15日(土)
■編　集　大阪経済大学大樟会 広報部
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8　電話06-6328-2431
メール denko@osaka-ue.ac.jp　URL http://www.osaka-ue-denko.com/
■印　刷　株式会社 廣済堂
〒560-8567　大阪府豊中市蛍池西町2-2-1　電話06-6855-9241